

第九十回帝國議會 院 勞働關係調整法案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
勞働關係調整法案(政府提出)

昭和二十一年八月五日(月曜日)午前十時四十三分開議

出席委員

委員長 逢澤 寛君

理事 江崎 眞澄君 理事 岡部 得三君

理事 伊藤卯四郎君 理事 竹田 儀一君

理事 古賀喜太郎君 理事 松岡 駒吉君

飯田壯三郎君 原 侑君

山本 勝市君 橋 直治君

中原 健次君 木下 榮君

今井 はつ君 村上 勇君

川崎 秀二君 仲川房次郎君

辻井民之助君 山下 榮二君

杉田 馨子君 山田 善三君

關谷 勝利君 山下 春江君

今村 等君 東 隆君

八月三日委員長尾達生君辭任ニ付其ノ補闕トシテ仲川房次郎君ヲ議

長ニ於テ選定シタ

八月五日委員赤松勇君辭任ニ付其ノ補闕トシテ荒畑勝三君ヲ議長ニ

於テ選定シタ

出席國務大臣

文部大臣 田中耕太郎君

厚生大臣 河合 良成君

出席府政務委員

內務事務官 谷川 昇君

司法事務官 佐藤 藤佐君

文部政務官 長野 長廣君

厚生事務官 吉武 惠市君
厚生事務官 富樫 總一君
商工政務次官 小林 銆君
石炭廳次長 岡松成太郎君
運輸事務官 大久保武雄君
運輸事務官 滿尾 君亮君

本日ノ會議ニ付シタル議案
勞働關係調整法案(政府提出)

○逢澤委員長 ソレデハ前日ニ引續キ是ヨリ會議ヲ始メマス、通告順ニ依リマシテ杉田馨子君ニ之ヲ

○杉田(馨)委員 私ハ現下ノ日本ノ狀勢ハ終戰以來最惡ナ段階ニ立ツテ居ルと思フノデアリマス、

「インフレ」ノ惡化ニ伴フテ勞働攻勢ハ日ニ激シクナツテ參リマス、而モ生産ノ増大ト云フモノ

ガ焦眉ノ急ヲ告ゲテ居ル時ニ、此ノ勞働關係ノ調整法案ハ非常ニ重大ナ意義ヲ持ツと思フノデアリマス、ソレデ厚生大臣ニ質問致シマ

シテ、併セテ私ノ一、二ノ卑見ヲ申述ベマシテ其ノ御所見ヲ伺ヒタ

イト存ジマス

先ツ第一ニ御尋ネ致シタイノハ、本法案ノ目的ニ付テデゴザイマス、敗戦ニ依ツテ産業ガ衰退致シマシテ、國民大衆ガ塗炭ノ窮乏

ノ中ニアリマス時ニ、最モ重大ナノハ生産力ノ増大ト國民生活ノ安

定デアルコトハ申スマデモゴザイマセス、本法案ハ産業ノ平和ト發展トヲ目標トシテ制定サレタモノト存ジマスガ、其ノ爲ニハ勞働者ノ生活保護、ソレカラ生産力ノ擴大ニ對スル勞資ノ協調、ソレカラ

根本ノ原因ヲ除去スルコト云フコトガ、此ノ第一條ノ目的ノ中ニ明文

化サレル必要ガアルと思フノデアリマス、現段階ニ於ケル爭議ノ發生原因ハ、資本家ノ搾取や或ハ分配論ニアルノデハナクテ、勞働者

ノ生活困難ニアルノヲ見マシテモ、是ハ現在ノ社會的、經濟的情勢ガ爭議ノ原因ニナツテ居ルと思

フノデゴザイマス、隨テ現在ノ爭議ハ單ナル局部的ナ情勢ニ依ツテ解決スルコトハ困難ナコトハ明カ

デゴザイマス、又本法案ハ官公吏ノ爭議ヲ禁止致シテ居リマス、又公益事業ノ爭議モ制限シテ居ル

ノデアリマスガ、此ノ爭議發生ノ原因ヲ除去スルコト云フコトガ、最モ必要デアルト共ニ、勞働階級ノ生活條件ヲ改善致シマシテ、爭議ヲ

シナクテモ済ムヤウナ生活狀態ニ置クコトガ先ツ先決問題ダと思フ

ノデゴザイマス、爭議ヲシテハナラナイト云フ代リニ、爭議ヲ起サ

ナクテモ済ムト云フ風ナ生活條件ヲ與ヘテ行クコトガ必要ダと思ヒ

マス、隨テ此ノ第一條ノ目的條文ノ中ニ勞働階級ノ生活ノ維持ト勞資ノ協力ニ依ル生産力ノ發展ヲ圖リ、勞働爭議ヲ豫防解決シ、又其

ノ因ツテ來ル原因ノ除去ニ努メ、産業ノ平和ト發展ヲ期シ、以テ國民經濟ノ安定興隆ニ寄與スルコト

ヲ目的トスルト、斯ウ云フ風ニ其ノ發展ノ目的ヲ明文化シテハ如何

カト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒ

マス

第二ニ御尋ネ致シタイノハ、此ノ目的ノ中ニ勞働爭議ヲ豫防シテ

ゴザイマスガ、是ハ具體的ニ誰ガ豫防スルノデゴザイマセウカ、勞

働委員會ガ此ノ責務ニ任ズルノカ、又ハ調停委員會ニアルノカ、

或ハ警察官廳ガ豫防スルノデアリマセウカ、豫防ニ名ヲ藉ツテ爭議

彈壓ニナラナイヤウニ注意スルコトガ最モ必要デアルト思ヒマス、

現在我ガ國ハ産業再整理時代ニ入

ツテ居リマスガ、殊ニ軍需補償打

切ノ爲ニ産業整理ハ必然的トナリ

マシテ、勞働者ノ大量解雇ガ豫想

サレテ居リマス、之ニ依ル失業

者ヲドノ程度ニ政府ハ見テ居リマス

カオ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ

産業整理ニ對シテ勞働爭議ハ全國

的ニ起ルと思ヒマスガ、政府ハ之

ニ對シテモドウ云フヤウナ豫防處

置ヲ御執リニナリマスガ、ソレカ

ラ其ノ際ニ勞働階級ハ全國的「ゼ

ネスト」ヲ以テ大量解雇ニ反對ス

ルト思ヒマスガ、之ニ對シテモド

ウ云フヤウナ豫防方策ヲ御執リニ

ナリマスガ、具體的措置ヲ伺ヒタ

イト思ヒマス

第三ニ御尋ネ致シタイノハ、本

法案ノ方針並ニ原則ニ付テデゴザ

イマス、本法案ハ爭議解決ノ骨子

トシテ、斡旋、調停、仲裁ノ三方

式ヲ執ツテ居リマスガ、是ハ形式

的三段論法ニ過ギマセス、現在ノ

爭議ハ個々ノ經營者ト勞働者ト單

ナル經濟的ナル爭議デハアリマセ

スデ、戰ニ依ル「インフレ」ト産

業整理ニ依ル國家ノ全體的情勢カ

ヲ起ツテ來ル爭議デアリマスガ

ラ、此ノ方法デハ解決サレナイト

思ヒマス、本法案ノ致命ナ缺點

ガ茲ニアルノデアリマスガ、形式

論デハナクシテ、爭議解決ノ具體

的方針ト原則ヲ明瞭ニサレル必要

ガアルト思ヒマス、米國ニ於テハ

勞働者ノ賃金値上ヲスル場合ニハ

資本家ハ其ノ損失ヲ補填スル爲

メ、生産物ノ價格ヲ値上デサセル

ト云フ方法ヲ執ツテ居リマスガ、

本法ニ於テモ幾多ノ方針ガ採用サ

レベキデアルト思ヒマスガ、政府

ハ之ニ對シテドウ云フ風ニ御考ヘ

ニナツテ居リマセウカ

次ニ第四ニ御尋ネ致シタイノハ

第六類第十一號 勞働關係調整法案委員會會議錄 第九回 昭和二十一年八月五日

二二三

争議ノ本質ニ付テデゴザイマス、
本法案ノ第五條ト第六條ニ勞働争議ト其ノ争議行爲ニ對シテ定義ヲ與ヘテ居リマスガ、其ノ本質ニ針テハ觸レテ居リマセヌ、私ハ勞働争議ハ其ノ本質ニ於テ勞働階級ノ生活維持ヲ目的トスル經濟的要求ニ限定サルベキモノデアルト思ヒマス、ソコニ政治的ノ目的ヲ以テ行ハレテハナラナイト思ヒマス、例ヘバ反動内閣打倒或ハ社會主義政府樹立等ヲ根本目的ニシテ争議ヲ行フト云フコトハ政治的目的追求手段トシテ争議ガ行ハレルコトデアリマシテ、是ハ問題デアルト思ヒマス、之ニ對シテ政府ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマセウカ

次ニ御尋ネ致シタイノハ本法案ノ實行ニ當リマシテ其ノ根幹ヲナス所ノ勞働委員及ビ調停委員ノ政治的性格デゴザイマス、現在我が國ノ勞働組合ハ七千三百五十七組合アリマシテ、約二百七十萬ノ組織勞働者ノ六割ガ共產黨ニ屬シテ居ルト言ハレテ居リマスガ、此ノ事實ハ現在ノ聯合軍占領下ニアリマス我ガ國ニ取ツテ重大ナ意義ヲ持ツモノダト思フノデゴザイマス、對日理事會議長「アチソン」氏ガ七月十日ノ理事會ノ席上デ、我が國ノ勞働問題ニ言及致シマシテ、共產主義者ハ勞働指導ノ資格ナシト強調シテ居リマス「ボツダム」宣言ヲ忠實ニ履行シテ、行カナケレバナライ立場ニアリマス我

ガ國ト致シマシテハ、此ノ言明ヲ信奉スルコトガ必要デアルト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ勞働委員又ハ調停委員ニハ共產主義者ヲ參畫セシメテハナラヌト思フノデゴザイマスガ、政府ハ之ニ對シテドウヤウナ御考ヘヲ持ツテイラウシヤルノデゴザイマセウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

次ニ、婦人ノ勞働賃金ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス、婦人勞働者ハ男子ヨリ遙カニ低イ賃金デ今日マデ働イテ参リマシタガ、殊ニ纖維工業ノ勞働者ハ農村ノ婦女子ガ製糸女工トシテ極メテ低イ賃金デ以テ慘澹タル生活ヲ續ケテ参リマシタ、會テ「女工哀史」ト云フ本ニ其ノ悲惨ナ狀態ガ暴露サレタゴトガゴザイマスガ、爭議防止ト、産業ノ發展ノ爲ニハ此ノ狀態ハ直チニ改善サレナケレバナラナイト思ヒマス、婦人ノ勞働者ガ男子ト等シイ技能ヲ持ツテ居タ場合ニハ、男子ト同等ノ賃金ヲ與ヘルベキダト思ヒマスガ、ソレニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

次ニ御伺ヒ致シマスノハ、最低賃金制ハ爭議防止ニ最モ關係ガ深い、此ノ最低賃金制ニ付テデゴザイマス、現段階ニ於テ政府ハ勞働者ノ最低賃金ヲドウ程度ニ考ヘテ居リマスカ、又官吏ト一般會社員、技術者等ノ職員組合ノ最低賃金ト、勞働者ノ最低賃金ト同様ニ

スル御積リガアリマスカ、此ノ最低賃金ハ何ヲ規準ニシテ御決メニナラレマスカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

次ニ、本法案ヲ如何ナル立場ニ於テ御作りニナリマシタカ、其ノ根本的立場ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、本法案ハ勞働階級カラハ、資本主義ヲ守ツテ勞働争議ヲ彈壓スル法案デアルト言ハレテ居リマスシ、又經營者側カラハ金融資本家ニ從屬スル爲ニ、企業整理ヲ前提トスル法案デアルト言ハレテ居リマス、政府ガ今回産業ノ再開、封鎖資金引出ヲ嚴禁致シマシテ、銀行カラオカ金ヲ借りルト云フ原則ヲ定メラレマシタノハ、産業資本家ヲ金融資本家ニ屈服サセ

タモノト言ハレテ居リマス、斯ウ云フ點カラ此ノ法案ハ金融資本家ト官僚ノ抱合ヒ政治ノ立場カラ作ラレタモノデハナイカト思フノデゴザイマスガ、之ニ對シテ如何デゴザイマセウカ、我が國ノ經濟的現段階カラスレバ、金融資本主義ヲ打破シテ其ノ矛盾ヲ除去スルコトガ必要デゴザイマシテ、資本主義デモ社會主義デモナク、社會主義ト資本主義トノ中間ニ立ツ進步的資本主義即チ修正資本主義ノ立場ニ立ツコトガ必要ダト思フノデゴザイマス、此ノ修正資本主義ハ資本主義ノ缺陷デアリマス無政府的ナ生産ト、資本家ノ擄取の利潤ヲ排除致シマシテ、資本主義ノ長

所ヲ發揮サセタモノデ、根幹ニハ計畫經濟ヲ採用シ、末端ニ自由經濟ヲ採入レルト云フ特長デアリマスガ、本案モ金融資本家擁護ノ立場ニ立タナイデ、修正資本主義ノ立場ニ立ツテ國民大衆ノ利益ヲ擁護スル爲ニ此ノ法案ヲ作ルベキ必要ガアルト思フノデゴザイマスガ、之ニ對シテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○河合國務大臣 只今七、八箇條ニ亘ツテ色々御質問デアリマシタガ、大體ノコトヲ御答ヘ致シマス、若シ私ノ御答辯ガ一寸或ハ聴キ漏ラシタ點モアルカモ知レマセヌカラ、不足ノヤウデゴザイマシタラ又御尋ネヲ願ヒタイト思ヒマス

第一ノ問題ハ、勞働爭議ニ付テ此ノ法律デ色々規定シテ居ルケレドモ、勞働爭議ト云フモノハ生活問題ガ原因ニナツテ居ルデヤナイカ、ソレダカラ生活問題ノ原因ヲ除去スルト云フコトヲ目的トシ、且ツ其ノ旨ヲ此ノ法案ニ明記シタラドウカト云フ御趣旨ト非承致シマスガ、是ハ御話ノ通り勞働爭議ノ一番重大ナ原因ハ生活問題デア

ルコトハ言フヲ俟タヌコトデアリマス、ソレデ政府モ之ニ對シマシテハ凡ユル方法ヲ以テ是ガ解決ヲ企テテ居ル譯デアリマス、一ツハ物ヲ増産スル、或ハ又「インフレーション」ヲ防止スル、或ハ日本ノ經濟ノ再建ヲ圖ルト云フヤウナ實質的

ノ問題ヲ凡ユル方面デ企圖シテ居ルノハ、國民全般ガ生活ガ出來ルヤウニナルコトヲ目標トシテ居ル譯デアリマシテ、勿論勞働者、勤勞者ハ其ノ中ノ非常ニ大キナ部分デアリマスルカラ、其ノ面ニ對シテモ生活ガヤツテ行ケルヤウニヤツテ居ルコトハ問題ナイコトデアリマス、此ノ問題ハ恐ラク政府全體ノ目的ト言ウタラ宜イト思ヒマスノデ、單ニ勞資ノ調整ヲ目的トスル法案ダケノ問題デアリマセヌ、憲法ニ明示サレ、ソレニ基イテ大部分ノ法律ト云フモノガ其ノ線ニ沿ウテ行ツテ居ル譯デアリマス、此ノ法律ハ爭議ガ起キントスル場合ニドウスルカ、起キタラドウスルカト云フ現實ノ問題ヲ寧ロ捉ヘタ專門的ノ法律デアリマスカラ、此ノ法律ニハ一般ノ生活ヲ安易ニスル爲ニ、其ノ根本原因ヲ除去スルト云フ所マデ行ク必要ヲ認メマセヌ、結局專門的ノ法律ナルガ故ニ專門ノ範圍ニ止メテ置クト云フノガ、大體此ノ法律ノ立法ノ趣旨ダト解釋シテ宜イト思ヒマス、勿論經濟ノ興隆ト云フヤウナコトモ抽象的デハナイカト云フ御議論モ出マセウガ、サウナリマスルト是ハ五十歩百歩ノ問題ニナル譯デアリマス、組合法ニ於テ經濟ノ興隆ト云フコトヲ強ク掲ゲテ居リマス關係モアルシ、是ハ全く同一系統ノ法律、姉妹系統ノ法律デア

アル、別ニ勞働者ヲ彈壓スルト

カ、或ハ資本家ヲ擁護スルトカ、
ドウトカ、ソシナヤウナ意思ヲ持
ツタモノデハナイ、全ク組合法ノ
延長ノ意味ニ於キマシテ作ツテ
居ルト云フ趣旨ヲ明カニスル爲
ニ、經濟ノ興隆ト云フ同一ノ理念
ヲ用ヒテ居リマスケレドモ、生活
ト云フ一般ノ政府全般ノ問題マデ
モ之ニ明示スル必要ハナカラウト
云フ位ノ常識ノ意味ヲ以テソレ
ガ掲ゲラレテナイト云フ風ニ御諒
承願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ第二ノ問題ハ、爭議ノ
具體的豫防處置即チ是カラ軍需補
償ノ打切り其ノ他ニ依ツテ大量解
雇モ出來ルドラウガ、斯ウ云フ問
題ニ對シテドウ云フ風ニ考ヘテ行
クカ、此ノ法律ノ條文バカリデナ
ク、政府ハドウ云フ風ニシテ「ス
トライキ」ニ對處シテ行クカト云
フ意味ノ御質問思ヒマスガ、此
ノ點ニ付キマシテハ出來ルダケ爭
議ノ起キナイヤウニ總テノ方法ハ
勿論油斷ナクヤツテ行ハ積リデア
リマスルガ、大體軍需補償ノ打切
リナドニ依ツテ大量ノ失業者ノ出
來ルコトモハドウモ已ムヲ得ヌ
コトデアリマシテ、サウシマスル
ト爭議ガ或ハ起ルドラウト云フ豫
想ハ勿論付キマス、併シ爭議ノ性
質モ、前々カラ申上ゲテ居ル通り
ニ段々前ト多少變化ヲシテ來ヌ
カ、一面ニ於テハ勞働ノ機會ガ非
常ニ減ルト云フ問題カラ爭議ガ特
別ノ性格ヲ持ツテ來ルドラウ、結

局生活ガ出來ルト云フコトハ、今
マデノ爭議ト同ジ線ニ沿ウタ問題
ハ勿論重大デアリマスケレドモ、
其ノ他ニ勞働ノ「チャンス」ガ減
ルト云フ問題ガ起キテ來マシテ、

是ハ結局爭議ヲシテデモ其ノ主張
ヲ貫カナケレバナラヌト云フ主張
モ一面ニ出マスルガ、又失業者ノ
量ガ非常ニ多クナリマスカラ、爭
議ニ依ツテ又失業シテモ困ルト云
フヤウナ杞憂ノ念モ起キテ來ルト
云フコトニ於テ、特質ヲ持ツタモ
ノデナカラウカ、其ノ他一面カラ
言ヒマスルト、退職慰勞金其ノ他
殊ニ補償打切りニ依ツテ、銀行預金
其ノ他ノ影響ヲ受ケマシテ、工業
會社、産業會社法人等ガ、資金支
拂ナドニ困難ヲ來シハセヌカト云
フヤウナ問題モ想像サレルノデア
リマシテ、サウ云フ面ニ付キマシ
テハ、金融措置其ノ他ニ於テ政府
ハ萬全ヲ期シテ行キタイト云フ積
リデ、只今研究ヲ進メテ居ル次第
デアリマス、出來ルダケノ方法ヲ
以テ對處致シマスガ、「ストライ
キ」ヲ今全般的ニ止メルト云フヤ
ウナコトハ、到底出來ルコトデア
アリマセズ、又之ヲ政府ダケノ意
思ヲ以テヤルト云フヤウナ考ヘハ
一ツモ持ツテ居リマセヌ、併シ或
ハ勞資ノ懇談會ヲ開キマシテ、政
府モ之ニ介在シテ、サウシテ合意
ノ上デ、何トカ日本將來ノ爲ニ一
ツ考ヘテ行カウデハナイカト云フ
ヤウナ問題ノ餘地ハ、私ハアルト

思ツテ居リマスガ、併シナガラサ
ウ云フ問題ニ對シテドウト云フコ
トノ具體的ナ考ヘハ、マダ決マツ
テ居リマセヌ

ソレカラ全國的「ゼネスト」ト
云フヤウナ問題モアリマシタガ、
國家ノ斯ウ云フ危機ノ際ニ、一面
ニ於テハ、生活權ヲ擁護スル爲ニ
已ムヲ得ヌ事情モアリマセウケレ
ドモ、一面ニ於テハ、國方はデ旨
ク行カヌト云フコトニナルト、是
ハ共倒レノ悲境ニ陥ルトデアリ
マスルカラ、其ノ點ハ組合員諸君
ノ十分ナ御考ヘヲ期待シタイト云
フ積リデ居リマス

第三ノ問題ハ、本法ニ於テハ韓
旋、調停、仲裁ノ三方法ヲ執ツテ
居ルガ、新ウ云フ形式的デナク、
具體的ニ爭議ヲドウスルカト云
フ、具體的ノ原則ヲ、何カ法律デ
明瞭ニ出來ヌカト云フ問題デアリ
マスガ、是ハ例ヘバ御指摘ノヤウ
ニ、先進國ニ於キマシテハ勞働爭
議ノ色々ナ經驗カラ、ソコニ爭議
ヲ解決スル方法ヲ色々案出サレテ
居ル實例モ多少アルヤウデアリマ
スケレドモ、マダ日本ノ現在ノ狀
態ニ於キマシテハ、ソコマデノ階
段ニ勞働問題ハ發達シテ居リマセ
ヌ、ソレヤマハリ原則的、抽象的
ノ方法ヲ以テヤルヨリ、今日ノ狀
態ニ於テハ仕方ガナイ、併シ是ハ
段々組合モ發達シ、又經營者側ニ
於テモ之ニ對スル十分ナ理解ガ出
來マスレバ、ソコニ又一ツノ自ラ

原則的ノモノガ發生シ、具體的ノ
方法ガ考案サレルト思ヒマスガ、
マダ其ノ時期ニ達シテ居リマセ
ヌ、其ノ上只今ノ色々混亂時期ノ
經濟狀態ニ於キマシテハ、物價ト
カ或ハ賃金ナドニ一ツノ基準ヲ設
ケルト云フコトニ非常ナ困難性ガ
アリマシテ、早急ニハ具體的ノ問
題ハ掲ゲルコトガ出來ナイト云フ
風ニ考ヘテ居リマス、ダカラ理論
トシテ之ヲ掲ゲルコトガイカヌト
云フノデハナク、マダ其ノ掲ゲル
ヤウナ狀態ニ達シテ居ラス、又今
其ノヤウナ經濟狀態デナイト言ウ
タ方ガ適當ダト思ヒマス

ソレカラ第四番目ニ、組合ガ、
内閣ヲ反動的デアルトカ、其ノ他
ノ理由ヲ掲ゲテ、政治的ノ目的ヲ
持ツト云フコトハ、宜クナイデハ
ナイカト云フヤウナ意味ノ御質問
ト拜承致シマスガ、大體「デモク
ラシー」ノ原則ハ「ヴォー」ノ
多數、投票ノ多數ト云フコトガ原
則デアリマスカラ、今日ノ政府ハ
國民ノ多數ノ投票ニ依ツタ政黨カ
ラ成立ツテ居ルト云フコトデ、國
民多數ノ信頼ヲ受ケテ居ル、是ガ
總選舉デモヤリ直シテ今度又別ニ
ナレバ兎モ角モ、總選舉ヤルマ
デハ其ノ前提ニ於テ立ツテ居ルト
云フコトガ、是ガ民主主義ノ國家
ニ於ケル議會政治ノ本體デアリマ
ス、ソレデスカラ、斯ウ云フ政府
ガ一部ノ少數ノ人ニ依ツテ打倒サ
レル、覆サレルトカ云フコトハ勿

論希望致シテ居リマセヌ、官吏ノ
罷免權、爭議行爲ヲ禁止シタノモ
其ノ趣旨デアリマス、官吏ト云フ
モノハ、全體ニ於テ國民ノ數カラ
見ルト一部ノ數ニ過ギマセヌ、ソ
レガ「ストライキ」ヲヤリマス
ト、國務ガ遂行サレヌ爲ニ、國民
多數ノ支持ヲ受ケテ居ル所ノ政府
ガ顛覆スルト云フヤウナコトガア
ツテハ困ルノダ、ソレハ「デモク
ラシー」デナイノダト云フ趣旨ニ
於テ、官吏ノ爭議ヲ禁止シテ居ル
ヤウナ趣旨デアリマスカラ、御論
旨ノコトハ私共全ク同感デ居リマ
ス、併シナガラ勞働組合ニ政治的
ノ目的ヲ全然持タセルナト云フヤ
ウナコトニ付テハ、勞働組合ハ言
フマデモナク經濟上ノ目的ヲ主ナ
モノニシテ居リマスカラ、政治上
ノ目的ヲ主ナモノニスレバ、ソレ
ハ勞働組合デアリマセヌケレド
モ、大體ニ於テ主要線ハ經濟上ノ
目的デアルガ、經濟ト政治トハ言
フマデモナク密接ナ關係ガアリマ
スカラ、勞働組合ガ政治ニ關係ヲ
持ツテ來ルト云フコトノ意味ニ於
テ、之ヲサウ云フコトハイカヌノ
ダト云フ風ニ取締ル考ヘハ、只今
ノ所デハ持チマセヌ、サウ云フ意
味ニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ其ノ次ノ問題ハ、調停
委員ニ共產主義者ヲ除外シテハド
ウカト云フコトデ、「アチソン」
大使ノ主張ナドヲ引イテノ御意見
デアリマシタガ、此ノ點ニ付キマ

シテハ、大體私共勞働問題ニ對シテ「アチソン」大使ノ「アチソン・ライン」ト云フモノニ全面的ニ沿ウテ行クコトハ言フマデモナイコトデアリマスガ、此ノ勞働委員トカ、調停委員ニドウ云フ人ガ行カト云フ所マデ干涉スル氣持ハ持チマセヌ、ト申スノハ、勞働委員ナリ、調停委員ハ、是ハ勞働者ガ自ラ決定シテ來ルコトデアリマスカラ、ソレハ政府トシテソレヲ干涉スルト云フ考ヘハ持チマセヌ、併シナガラ大體勞働運動ニ對シテドウ云フ考ヘハ持ツテ居ルカト云フデアレバ、「アチソン・ライン」ニ沿ウタ線ニ考ヘテ居ルト云フコトハ、申上ゲテ差支ヘナイト思ツテ居リマス

ノ他カラ考ヘマシテ、技能ト云フコトヲ中心ニシテ、技能ノ立派ナ者ハ男デモ女デモ餘計賃金ヲ拂フト云フ方向ヲ以テ進ムト云フ考ヘデ居リマス

第七ノ點ハ、最低賃金ノ問題ニ付テノ御尋ネデアリマシタ、最低賃金及ビ官公吏ト一般勞働者トノ賃金ノ多寡ニ付テノ御尋ネデゴザイマシタガ、是ハ一般官公吏ト勞働者トノ賃金ハ成ベク差異ノナイヤウニシタイト云フ目標ヲ以テ進デ居リマス、併シ是ハ財政上ノ都合モアリマスシ、從來ノ長イ間ノ沿革モアリマスノデ、一時ニ是ガ出來ルト云フ所マデハ確信ハ持チマセヌガ、其ノ線ニ沿ウテ出來ルダケノコトヲヤツテ行クト云フ考ヘデ居リマス、ソレカラ最低賃金ノ問題デアリマスルガ、是ハ結局ニ於テ最低賃金ハ規定セヌトイカヌト云フ氣持デアリマスルガ、只今ノ物價ノ變動ガ非常ニ激シイ時ニ、殊ニ通貨ノ購買力ノ動搖ノ非常ニ激シイ時ニハ、是ハ中中實際問題トシテハ定メニクイ、定メテモ直グ動搖ヲ來スヤウナ狀況デアリマシテ、モウ少シ經濟界ノ安定ヲ俟ツテ處理シタイト云フ考ヘデ居リマス、其ノ場合ニ於テニ付キマシテハ、具體的ニハマダ何ト／＼ヲドウスルト云フコトマデハ明確ニ御答ヘ出來マセヌガ、ヤハリ大體巴生活費、特ニ最低生

活費ト云フモノヲ睨ミ合セマシテ之ヲ決ムベキモノダト云フ風ニ考ヘテ居ルデアリマス、併シナガラ最低生活費ト云フモノハ、生活保護法ニ於ケル最低生活費ナドヨリモ多少意味ノ違ツタ最低生活費ト云フモノヲ採ルベキモノデアツテ、ヤハリ相當ノ文化ト云フ面モ入レナクチャイカヌノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ最後ニ、本法ガ金融資本擁護ノ立場カラ作ラレテ居リハセヌカ、又大體進歩的ノ資本主義、即チ修正資本主義ノ立場ニ立ツベキモノデハナカラウカト云フ議論ガアリマシタガ、是ハドノ階級ヲ擁護スルト云フヤウナ意味ハ一ツモ置イテ居リマセヌ、若シ擁護スルト云フ意味ヲ持ツテ居ルナラバ、國民大衆、國民一般ヲ擁護スル立場カラ「スタート」シテ居ル、此ノ點ハハツキリト私ハ申上ゲテ宜イト思ヒマス、ト申スノハ此ノ法律ハ何處モ御話シマスル通りニ、初メハ調停仲裁等ノ面ハ是ハ手續上ノ問題デアリ、官吏ノ爭議禁止ハ少數ヲ以テ、多數ニ依ツテ成立シテ居ル、「バック」ヲ持ツテ居ル政府ヲ顛覆サシテハ、是ハ「デモクラシー」デナイト云フ意味デアリマス、結局最大多數、國民全般ノ公益ヲ擁護スルト云フ意味デアリマス

ソレカラ公益事業ノ拔打禁止ト云フノハ、是ハ國民一般ノ日常生活ヲ保護スルト云フ意味デアリマス、其ノ以外ニハ何ノ意味モ、何ノ意思モ持ツテ居リマセヌ、是ハ明瞭ニ御答ヘシマス、色々是ガ「ストライキ」ノ理由ナドニ算ヘラレテ居ルノハ、私バドウ考ヘテモ分リマセヌ、ドウ云フ譯デアアルカ、況ヤ此ノ法律ハ政府ガ自ラ作ツタモノデアリマセヌ、勞働者ノ意見ヲ聽キ、勞働組合ノ意見ヲ聽キ、公聽會ヲ開キ、審議會ニ掛ケ、サウシテ出來タ輿論ノ結晶ダト私ハ思ツテ居リマス、ソレガドウ云フ譯デ只今組合ノ目標ニナツテ、「ストライキ」ノ理由ニナツテ居ルカ、ドウシテモ不肖私ハ頭ニ理解スルコトガ出來ナイ問題デアリマス、ソレデ勿論時ハ足リマセヌ、ト云フノハ、是ハ敗戦後ノ斯ウ云フ狀況デ、非常ニ複雑多岐ノ問題ガ世間ニ續々起キテ居ル時デアリマスカラ、斯ウ云フ問題ニ對シテ一般ノ徹底ヲ缺イタ、是ハ當時ノ關係、ソコヘ政變其ノ他デ二箇月モハツキリセヌヤウナ時モアリマシタ、サウウフコトノ怨ミハ私ハアルト思ヒマス、アルト思ヒマスケレドモ、此問題自體ニ付テ只今ノ如ク御質問ヲ受ケルノハ甚ダ意外デアリマス、是ガ金融資本家ヲ擁護スルト云フコトハ何處ラドウ叩イテモ出テ來ルコトハ絕對ニアリマセヌ、國民大衆ヲ保護シテ居ル、國民一般ヲ保護シテ居ル、ソレ以外ニ何ノ意圖モナイト

云フコトヲ私ハハツキリ申上ゲテ宜イト思ヒマス、先程、是ハ別ノコトニ入リマスケレドモ、軍需補償ノ打切りハ産業資本家ヲ屈服セシメテ、金融資本家ノ方ヘ權利ヲ與ヘタモノデハナイカト云フヤウナ御尋ネモアリマシタガ、是ハ何モ金融資本家ヲ擁護スル必要モ何モアリマセヌノデスケレドモ、是ナドモ私共ニハチツトモ、理解出來ヌ御尋ネデアリマシテ、今日ハ恐ラク軍需補償ノ爲ニ困ルノハ産業資本家デス、ケレドモ其ノ煽リヲ食ツテ最モ困ルノハ金融資本家デス、サウシテ其ノ中デ最モ困ルノハ、例ノ追放令ト同ジク大キナ方ガ一番困ルト云フ實體ニナツテ居リマシテ、是デ日本ノ金融資本家ト云フ階級ハ殆ドモウ起ツ能ハザル打撃ヲ受ケルノデハナイカト最後ハ私ハ考ヘテ居ル問題デアリマス、勿論其ノ後ハ工場ハ金融資本家ノ擔保ニ入ル、擔保ニ入リマスケレドモ今日金融資本家ノ擔保ニ入ツタ其ノ工場ヲ金融資本家ガ勝手ニ處分シテ、サウシテ利益ノアル所ニ賣ルト云フヤウナ措置ハ執レルヤウナ事情デアリマセヌ、是ハ國家産業トシテ必要ノモノハ、産業トシテヤツテ行カナケレバナラス、ソレハモウ今日ノ國家政策ノ公益性ト云フモノカラ見マシテ、例ノ物資調整法ト云フヤウナ法律モ、モウ提案シマシタ

ソレカラ第六ノ問題ハ、製絲女工ナドノ例ヲ御引キニナリマシテ、技能ヲ持ツテ居ル婦人勞働者ハ、其ノ技能ト云フコトヲ標準トシテ、男子ト同ジ賃金ヲ拂フベキデナイト云フヤウナ意味ノ御主張ト思ヒマスガ、是ハ全ク同感デアリマシテ、政府ハ專ラ今其ノ線ニ沿ウテ萬端ノ政策ヲ推進サセテ居リマス、殊ニ御指摘ノ製絲女工ノ如キハ、戰爭前ノ實情ニ於キマシテモ、賃金ガ甚ダ安カツタ、男子ノ賃金ニ比シテ、技能ノ割ニ比較的低廉デアツタト云フ事實ハ、私共モ同様ニ感ジテ居ル次第デアリマシテ、斯ウ云フ點ハ、今後ノ見返物資トシテノ蠶絲ノ重要性其

ノ他カラ考ヘマシテ、技能ト云フコトヲ中心ニシテ、技能ノ立派ナ者ハ男デモ女デモ餘計賃金ヲ拂フト云フ方向ヲ以テ進ムト云フ考ヘデ居リマス

ソレカラ公益事業ノ拔打禁止ト云フノハ、是ハ國民一般ノ日常生活ヲ保護スルト云フ意味デアリマス、其ノ以外ニハ何ノ意味モ、何ノ意思モ持ツテ居リマセヌ、是ハ明瞭ニ御答ヘシマス、色々是ガ「ストライキ」ノ理由ナドニ算ヘラレテ居ルノハ、私バドウ考ヘテモ分リマセヌ、ドウ云フ譯デアアルカ、況ヤ此ノ法律ハ政府ガ自ラ作ツタモノデアリマセヌ、勞働者ノ意見ヲ聽キ、勞働組合ノ意見ヲ聽キ、公聽會ヲ開キ、審議會ニ掛ケ、サウシテ出來タ輿論ノ結晶ダト私ハ思ツテ居リマス、ソレガドウ云フ譯デ只今組合ノ目標ニナツテ、「ストライキ」ノ理由ニナツテ居ルカ、ドウシテモ不肖私ハ頭ニ理解スルコトガ出來ナイ問題デアリマス、ソレデ勿論時ハ足リマセヌ、ト云フノハ、是ハ敗戦後ノ斯ウ云フ狀況デ、非常ニ複雑多岐ノ問題ガ世間ニ續々起キテ居ル時デアリマスカラ、斯ウ云フ問題ニ對シテ一般ノ徹底ヲ缺イタ、是ハ當時ノ關係、ソコヘ政變其ノ他デ二箇月モハツキリセヌヤウナ時モアリマシタ、サウウフコトノ怨ミハ私ハアルト思ヒマス、アルト思ヒマスケレドモ、此問題自體ニ付テ只今ノ如ク御質問ヲ受ケルノハ甚ダ意外デアリマス、是ガ金融資本家ヲ擁護スルト云フコトハ何處ラドウ叩イテモ出テ來ルコトハ絕對ニアリマセヌ、國民大衆ヲ保護シテ居ル、國民一般ヲ保護シテ居ル、ソレ以外ニ何ノ意圖モナイト

云フコトヲ私ハハツキリ申上ゲテ宜イト思ヒマス、先程、是ハ別ノコトニ入リマスケレドモ、軍需補償ノ打切りハ産業資本家ヲ屈服セシメテ、金融資本家ノ方ヘ權利ヲ與ヘタモノデハナイカト云フヤウナ御尋ネモアリマシタガ、是ハ何モ金融資本家ヲ擁護スル必要モ何モアリマセヌノデスケレドモ、是ナドモ私共ニハチツトモ、理解出來ヌ御尋ネデアリマシテ、今日ハ恐ラク軍需補償ノ爲ニ困ルノハ産業資本家デス、ケレドモ其ノ煽リヲ食ツテ最モ困ルノハ金融資本家デス、サウシテ其ノ中デ最モ困ルノハ、例ノ追放令ト同ジク大キナ方ガ一番困ルト云フ實體ニナツテ居リマシテ、是デ日本ノ金融資本家ト云フ階級ハ殆ドモウ起ツ能ハザル打撃ヲ受ケルノデハナイカト最後ハ私ハ考ヘテ居ル問題デアリマス、勿論其ノ後ハ工場ハ金融資本家ノ擔保ニ入ル、擔保ニ入リマスケレドモ今日金融資本家ノ擔保ニ入ツタ其ノ工場ヲ金融資本家ガ勝手ニ處分シテ、サウシテ利益ノアル所ニ賣ルト云フヤウナ措置ハ執レルヤウナ事情デアリマセヌ、是ハ國家産業トシテ必要ノモノハ、産業トシテヤツテ行カナケレバナラス、ソレハモウ今日ノ國家政策ノ公益性ト云フモノカラ見マシテ、例ノ物資調整法ト云フヤウナ法律モ、モウ提案シマシタ

云フコトヲ私ハハツキリ申上ゲテ宜イト思ヒマス、先程、是ハ別ノコトニ入リマスケレドモ、軍需補償ノ打切りハ産業資本家ヲ屈服セシメテ、金融資本家ノ方ヘ權利ヲ與ヘタモノデハナイカト云フヤウナ御尋ネモアリマシタガ、是ハ何モ金融資本家ヲ擁護スル必要モ何モアリマセヌノデスケレドモ、是ナドモ私共ニハチツトモ、理解出來ヌ御尋ネデアリマシテ、今日ハ恐ラク軍需補償ノ爲ニ困ルノハ産業資本家デス、ケレドモ其ノ煽リヲ食ツテ最モ困ルノハ金融資本家デス、サウシテ其ノ中デ最モ困ルノハ、例ノ追放令ト同ジク大キナ方ガ一番困ルト云フ實體ニナツテ居リマシテ、是デ日本ノ金融資本家ト云フ階級ハ殆ドモウ起ツ能ハザル打撃ヲ受ケルノデハナイカト最後ハ私ハ考ヘテ居ル問題デアリマス、勿論其ノ後ハ工場ハ金融資本家ノ擔保ニ入ル、擔保ニ入リマスケレドモ今日金融資本家ノ擔保ニ入ツタ其ノ工場ヲ金融資本家ガ勝手ニ處分シテ、サウシテ利益ノアル所ニ賣ルト云フヤウナ措置ハ執レルヤウナ事情デアリマセヌ、是ハ國家産業トシテ必要ノモノハ、産業トシテヤツテ行カナケレバナラス、ソレハモウ今日ノ國家政策ノ公益性ト云フモノカラ見マシテ、例ノ物資調整法ト云フヤウナ法律モ、モウ提案シマシタ

カ、政府カラ提案スル積リデアリ
マスルガ、ソレナド御覽ニナツテ
モ分ル通り、必ズソレハ國家目

標、又大衆ノ利益ト云フ目標ニ向
ツテサウ云フモノハ處理サレルト
云フコトハハ一點ノ疑ヒナイコ
トデアリマシテ、軍需補償打切り
ト云フモノハ金融資本家ヲ擁護ス
ルモノダト云フコトハ勿論間違ヒ
デアリマシテ、況ヤ此ノ法律ハ金
融資本家ヲ擁護スルト云フヤウナ
コトハ其ノ句ヒダニ嗅グコトハ出
來ナイ、是ハハツキリ私申上ゲタ
イト思ヒマス、又是ガ修正資本主
義ノ立場ニ依ツテヤツテ宜イデヤ
ナイカト云フコト、是ハ御議論ハ
御尤モデアリマスルガ、私共ハ今
ドノ主義、ドノ「イズム」ト云フ
モノハ考ヘテ居リマセヌ、國家ノ
現情ニ即シテ、善イコトハ善イ、
何デモ採ツテ行キマス、惡イコト
ハ惡イ、何デモ捨テテ行クト何フ
考ヘノ下ニ何デモ採リ、何デモ捨
テル「イズム」ト云フヤウニ御考
ヘ下サレバ宜イと思ツテ居リマス

○杉田(警委員) 只今第一條ノ厚
生大臣ノ御説明ガゴザイマシタ
ガ、今度ノ勞働關係ノ調整法案ハ
勞働階級カラ爭議彈壓ノ法案デア
ルト去ツテ大反對ガ起サレテ居リ
マシテ、全國的ノ爭議ニモナラウ
トシテ居ル現在ノ狀態デゴザイマ
スカラ、ヤハリ勞働階級ノ生活ノ
維持ト勞働爭議ノ起ツテ來ル所ノ
原因除去ト云フコトヲハツキリト

明文化シテ行クト云フコトガ私ハ
必要ダト思ヒマス

ソレカラ第二第三ノ點ニ付テ
ノ御説明ハ、私ノ期待シタヤウナ
説明デハナクハツキリ致シマセヌ
ガ、是ハ現在ノ情勢ハ個々ノ資本
家ト勞働者ノ爭議デナク、是ガ全
國的規模ヲ持ツタモノニナツテ
行カウトシテ居リマス、サウ云フ
狀態デゴザイマスカラ、ヤハリ爭
議ノ解決ノ方法ト致シマシテ、又
爭議ノ豫防ト云フヤウナ點ニ付テ
モツト具體的ニ其ノ方針、原則ト
云フモノヲ明カニシテ行クトガ
調停委員會ニ於テモ非常ニ都合ガ
好イノデヤナイカト思フデゴザ
イマス、時間ヲ取リマスカラ……

○達澤委員長 杉田サンニ申上ゲ
マス、文部大臣ガ見エテ居リマス
カラ、文部大臣ニ對スル質問ヲ繼
續シテ戴キマス
○杉田(警委員) 文部大臣ニ御尋
ネ致シタイノハ、教員ノ爭議ニ付
テデゴザイマス、政府ハ一時教員
ノ爭議ヲ禁止サレマシテ、後ニ之
ヲ禁止シナイコトニナリマシタノ
ハドウ云フ理由デゴザイマセウ
カ、教員ノ爭議ガ少年兒童ニ與ヘ
ル影響ハ非常ニ甚大デアリマス
ガ、教員ガ爭議ニ當ツテ、其ノ生
徒ヲ爭議ノ手段ニ使フト云フコト
ハ、是ハ一番重大ナ問題ダト思フ
ノデゴザイマス、ハツノ例ヲ學ゲ
マス、最近茨城縣ノ土浦市ニ起
リマシタ事件デゴザイマスガ、第

一高等女學校ト云フ學校ニ爭議ガ
起リマシテ、是ハ非常ニ深刻デゴ
ザイマシタ、此ノ女學校ハ校長ガ
私財ヲ投ジテ建築致シマシテ、認
可マデ取ツテ經營シテ居タモノデ
ゴザイマスガ、此ノ學校ノ教員三
名ガ爭議ヲ起シマシテ……是ハ共
産黨ノ指導ヲ受ケテ爭議ヲ起シタ
ノデゴザイマス、爭議ハ一部ノ父
兄ヲ動かシマシテ、父兄會ノ名デ
以テ女學校ノ入學試験ヲ行ヒマシ
タ、一方校長側ノ方モ入學試験ヲ
行ヒマシタ所ガ、爭議團側デハ生
徒ヲ街ノ要所々々、ソレカラ停車
場ニ立タセテ、校長側ノ試験ヲ受
ケニ來ル兒童ヲ全部追ヒ返シタノ
デアリマス、サウシテ女生徒ヲ、
「トラック」ニ乗セマシテ縣廳ニ
「デモ」ヲ行ヒ、知事ニ面會ヲ強
要シ、坐リ込ミ戰術ヲ行ツタノデ
アリマス、知事ハ此ノ時ニ共產黨
ヲ恐レタモノデアリマセウカ、爭
議團側ニ有利ナ解決策ヲ講ジマシ
テ校長ハ引退スルコトニナリマシ
タ、此ノ第一高等女學校ノ經營ノ
母校デアアル霞ヶ浦學園ト云フモノ
ガアリマス、其ノ理事長モ此ノ校
長ガ兼ネテ居ツタノデアリマス
ガ、爭議團側ガ勝利ヲ得マシタカ
ラ、兩方トモ校長ト理事長ノ職ヲ
追放サレマシテ、折角自分デ私財
ヲ投ジテ努力シテ建設シタモノヲ
爭議團側ニ依ツテ乗取ラレタ、是
ハ他ニ見ナイコトデアリマシテ、
知事ノ裁定ガ穩當デナカツタ原因

ハ共產黨ヲ恐レタモノト思フノデ
ゴザイマスガ、此ノ爭議ヲ起シタ
教員ヲ縣ノ勞働委員會ニ任命シテ居
ルノデゴザイマス、而モ此ノ三名
ノ教員ハ「マッカーサー」司令部ノ
追放令ニ該當シテ、最近追放ニナ
ツタノデゴザイマス、此ノ事件デ
問題ガ如何ニ解決シタカト云フコ
トデハナクテ、教員ガ爭議ノ場合
ニ生徒ヲ爭議目的ノ手段ニ使フコ
トガ、兒童ニ精神的影響ヲ與ヘル
コトガ非常ニ大キイト思フノデゴ
ザイマス、此ノ生徒ヲ「トラック」
ニ乗セテ「デモ」ヲ行ツタ結果、二
名ノ生徒ガ共產黨ニ入黨シタト云
フ話ガゴザイマス、私ハ此ノ爭議
ガ教員自體デ行ハレル場合ニハ宜
シイノデスガ生徒ヲ目的ノ手段ニ
使フト云フコトハ、非常ニ是ハ宜
ケナイコトダト思ヒマス、此ノ意
味ニ於テ教員ノ爭議ニ制限ガ加ヘ
ラルベキダト思フノデゴザイマス
ガ、之ニ對シテ文部大臣ノ御所見
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○田中國務大臣 教員ノ爭議ノ問
題ハ根本的ニ考ヘテ見マスト、甚
ダ複雑ナル點ガ存在致シテ居ル譯
デゴザイマス、政府トシテモ此ノ
問題ニ付キマシテハ色々熟慮致シ
マシテ、結局本案ノヤウナ形ニナ
ツタノデアリマス、此ノ熟慮ヲ致
シマシタ其ノ經過ニ付キマシテ
ハ、巷間傳ヘラレテ居ル所必ズシ
モ正確トハ申シ得ナイノデアリマ
ス、然ラバドウ云フ經過デアルカ

ト申シマスト、是ハ内部ノ事情デ
ゴザイマスカラ申上ゲ兼ネル次第
デゴザイマス、唯結論ハ教員ハ其
ノ本來ノ使命、特ニ教職者ノ被教
育者ニ對スル人格的訓育ハ教育ノ
關係ニ基キマシテ、他ノ仕事トハ
違フト云フ建前カラ致シマシテ、
教員ニ付キマシテハ爭議行爲ハ好
マシクナイモノノ中ノ最モ好マシ
クナイト云フ立場ヲ堅持致シテ居
ル次第デゴザイマス、併シ又他ノ
爭議ノ場合ニ、先程厚生大臣ガ言
ハレマシタヤウナ理由デ以テ法文
デ好マシクナイカラト云ツテ教員
ノ爭議ヲ禁止スルト云フコトハ是
レ亦甚ダ好マシイコトデアルトモ
言ヘナイト云フヤウナ譯デアリマ
シテ、詰リ教員ニ對スル尊重ノ
念、又信頼ノ念カラシテ、ワザワ
ザ法文ニ書カナカツタ次第デゴザ
イマス、法律ト雖モ萬能デハアリ
マセヌ、或ル場合ニハ事柄ガソレ
程宜クナイコトデアツテモ法律ニ
書現ハスコトハ、人ノ氣持ノ「デ
リカシー」ヲ尊バナイト云フ意味
カラ云ツテ、其ノ效果ガ又宜クナ
イト云フコトモアリ得ルノデアリ
マス、併シ是ハ色々議論モ立チ得
ルコトデアリマシテ、イヤ是ハハ
ツキリ書イタ方ガ明瞭ニナツテ宜
イト云フ御説モアリ得ルト思ヒマ
ス、併シ法案ノ立場ハ只今申上ゲ
マスヤウナ意味デアルト存ジマ
ス、教員ハ爭議行爲ヲ普通ノ現業
者ト同ジヤウナ意味デ以テヤツテ

ハ共產黨ヲ恐レタモノト思フノデ
ゴザイマスガ、此ノ爭議ヲ起シタ
教員ヲ縣ノ勞働委員會ニ任命シテ居
ルノデゴザイマス、而モ此ノ三名
ノ教員ハ「マッカーサー」司令部ノ
追放令ニ該當シテ、最近追放ニナ
ツタノデゴザイマス、此ノ事件デ
問題ガ如何ニ解決シタカト云フコ
トデハナクテ、教員ガ爭議ノ場合
ニ生徒ヲ爭議目的ノ手段ニ使フコ
トガ、兒童ニ精神的影響ヲ與ヘル
コトガ非常ニ大キイト思フノデゴ
ザイマス、此ノ生徒ヲ「トラック」
ニ乗セテ「デモ」ヲ行ツタ結果、二
名ノ生徒ガ共產黨ニ入黨シタト云
フ話ガゴザイマス、私ハ此ノ爭議
ガ教員自體デ行ハレル場合ニハ宜
シイノデスガ生徒ヲ目的ノ手段ニ
使フト云フコトハ、非常ニ是ハ宜
ケナイコトダト思ヒマス、此ノ意
味ニ於テ教員ノ爭議ニ制限ガ加ヘ
ラルベキダト思フノデゴザイマス
ガ、之ニ對シテ文部大臣ノ御所見
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○田中國務大臣 教員ノ爭議ノ問
題ハ根本的ニ考ヘテ見マスト、甚
ダ複雑ナル點ガ存在致シテ居ル譯
デゴザイマス、政府トシテモ此ノ
問題ニ付キマシテハ色々熟慮致シ
マシテ、結局本案ノヤウナ形ニナ
ツタノデアリマス、此ノ熟慮ヲ致
シマシタ其ノ經過ニ付キマシテ
ハ、巷間傳ヘラレテ居ル所必ズシ
モ正確トハ申シ得ナイノデアリマ
ス、然ラバドウ云フ經過デアルカ

ト申シマスト、是ハ内部ノ事情デ
ゴザイマスカラ申上ゲ兼ネル次第
デゴザイマス、唯結論ハ教員ハ其
ノ本來ノ使命、特ニ教職者ノ被教
育者ニ對スル人格的訓育ハ教育ノ
關係ニ基キマシテ、他ノ仕事トハ
違フト云フ建前カラ致シマシテ、
教員ニ付キマシテハ爭議行爲ハ好
マシクナイモノノ中ノ最モ好マシ
クナイト云フ立場ヲ堅持致シテ居
ル次第デゴザイマス、併シ又他ノ
爭議ノ場合ニ、先程厚生大臣ガ言
ハレマシタヤウナ理由デ以テ法文
デ好マシクナイカラト云ツテ教員
ノ爭議ヲ禁止スルト云フコトハ是
レ亦甚ダ好マシイコトデアルトモ
言ヘナイト云フヤウナ譯デアリマ
シテ、詰リ教員ニ對スル尊重ノ
念、又信頼ノ念カラシテ、ワザワ
ザ法文ニ書カナカツタ次第デゴザ
イマス、法律ト雖モ萬能デハアリ
マセヌ、或ル場合ニハ事柄ガソレ
程宜クナイコトデアツテモ法律ニ
書現ハスコトハ、人ノ氣持ノ「デ
リカシー」ヲ尊バナイト云フ意味
カラ云ツテ、其ノ效果ガ又宜クナ
イト云フコトモアリ得ルノデアリ
マス、併シ是ハ色々議論モ立チ得
ルコトデアリマシテ、イヤ是ハハ
ツキリ書イタ方ガ明瞭ニナツテ宜
イト云フ御説モアリ得ルト思ヒマ
ス、併シ法案ノ立場ハ只今申上ゲ
マスヤウナ意味デアルト存ジマ
ス、教員ハ爭議行爲ヲ普通ノ現業
者ト同ジヤウナ意味デ以テヤツテ

宜イト云フヤウナ意味合ヲ、文部省トシテハ少クトモ持ツテ居ラヌノデアリマス

ソレカラ第二ノ先程御指摘ニナリマシタ土浦ノ問題デゴザイマスガ、是モ私が學校局長時代以來承知シテ居リマス所デハ、事情甚ダ複雑ナヤウニ存ジマス、唯併シ其ノ點ハ具體的事實ニ付テ御質問ガアツタ譯デハアリマセヌノデ

詰リ要スルニ生徒ヲ爭議ノ目的ニ使用スルコトハ宜クナイデハナイカト云フ御質問、其ノ點ニ付テド

ウ思フカト云フ御質問デゴザイマシタ、此ノ點ハ全ク御同感至極デアリマシテ、文部省ト致シマシテハ所謂學校管理ナル現象、其ノ内容ハ色々アルカモ存ジマセヌガ、併シナガラ先程御話ノヤウナ事實アリトスルナラバ、詰リ教員ガ校長ニ對抗シテ入學試験ヲ別ニヤル、或ハ學材全體ノ經營ヲ自分ノ手ニ引取ツテヤル、殊ニ生徒マデ使フト云フヤウナコトハ、是ハ文部省トシテハ決シテ是認シテ居ナ

イ次第デゴザイマシテ、學校經營管理ハ終始一貫否認シテ居ル態度ニ出テ居ルコトヲ御承知置キテ願ヒタイト思フノデゴザイマス

○河合國務大臣 只今ノ第一ト第二ノ點、是ハ私手アトデ考ヘテ一寸不十分ナ點ガアリマスノデ補足致シマス、第一ノ方ハ此ノ法律ハ爭議ノ原因ヲ除去スルト云フコトヲ目標トシテ居ラヌノデアリマ

ス、ト申スノハ、勞働關係ノ公正ナ調整ヲ圖リ、勞働爭議ヲ豫防シ、又ハ解決シテ、サウシテ産業ノ平和ヲ維持シ、以テ經濟ノ興隆ニ寄與スルト云フノデアリマスカラ、斯ウ云フ範圍ニ於ケル目的デアリマスカラ、茲ニ原因ヲ除去スルト云フコトニナルト此ノ法律デ原因ヲ除去スルコトヲ書カネバナラス、ソレハ政府ノ目的デアツテ法律ノ目標デナイカラ、此ノ原因ヲ除去スルト云フコトハ妥當デナイ、サウ云フ意味ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

第二ノ點ハ、質問ノ趣旨ヲ取違ヘタ點ガアリマスカラ明瞭ニ御答ヘ申上ゲマスガ、「ゼネスト」トカ色々軍需補償打切りノ爲ニ爭議ガ起ルカモ知レナイガ、ソレニ對シテドウ云フ處置ヲ執ルカト云フ御尋ネノヤウデスガ、是ハ大體爭議ト云フモノニ對シテ政府ハ、爭議ヲ起スベカラズト云フヤウナ強壓的ノコトハ出來ナイノデス、勞働爭議ト云フモノハ生活權カラ、「スタート」シタモノデアリマシテ、爭議權ヲ認メタ以上ハ、ソレト一般ノ困ルト云フコトト併行的ニ行ツテ、自ラソコヲ調整シテ行クト云フモノデアリマシテ、之ヲキチリトスウスル、ア、スルト云フコトノ出來ル性質ノモノデナイコト、徹底的ニドウスルト云フ性質ノモノデナイコトヲ先ヅ第一ニ御承知願ヒマス

ソレカラ第二ニソレデハドウ云フ方法ヲ執ツテ成ベクソレガ起ラヌヤウニスルカト云フコトニ付キマシテハ、色々ノ方法ヲ考ヘテ居リマス、先ヅ當面ノ問題トシテハ退職手當ノ問題ヲ何時モ考ヘテ居ル、是ハ又軍需補償ノ打切り煽ラ喰ツテ吹飛ンデシマフト云フコトガアツテハ大變ダカラ、之ヲ如何ニ擁護スルカト云フコトヲ考ヘテ、勞働者ニ如何ニ安心ヲ與ヘルカト云フコトヲ具體的ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ第二番目トシテ是カラ會社ガ仕事ヲ續ケテ行カウト思フガ、會社デハ預金モナクナツテシマツタト云フヤウナコトデ、月給ガ拂ヘヌデヤナイカ、サウスルト勞働者モ勤人モ困ルデヤナイカト云フヤウナ問題モ起キマス、斯ウ云フ問題ニ對シテドウ云フ風ニ之ヲ處置スルカト云フコトヲ具體的ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第三番目トシテハ銀行ノ融通ガ餘リ付カナクナツテ來ルト産業ガ困ルデヤナイカ、ソレニ對スル金融ノ途モ十分付ケテ置カストイカヌデヤナイカト云フコトデ、是モ政府トシテ出來ルダケ金融ヲ付ケテ、ソコニ脈絡、血管ガ「ストップ」シテハ困リマスカラ、「ストップ」シシナイヤウナ方法ヲ講ジテ、勞働者ガ一生懸命仕事ガヤツテ行ケルヤウナ方法ヲ出來ルダケ執ラウデヤナイカト云フコトヲ考ヘテ居リ

マス、斯ウ云フヤウナ問題ハ今補償打切ニ當面シテ直接關係シタ問題デアリマス、ソレガ今度ヤツテ來ルト整理ハ當然行ハレル、整理ガ行ハレルコトヲ目標トシテ擬制資本ノ切捨ヤルノダカラ、是ハ整理ハ出テ來ヌトハ言ハレマセヌ、ドウモ失業者ガ出テ來ルコトハ已ムヲ得ヌ、國家再建途上ニ於ケル一ツノ已ムヲ得ザル必要ナ罪惡デアル、是ハドウシテモ起キテ來ル、ソレニ對シテハ今マデ申上ゲテ居リマス失業對策、或ハ生活保護ノ面ニ於テ行カウデヤナイカ、ソレデハ失業對策ブドウ云フ風ニスルカト云フコトニナリマス

ト、是ハ先ヅ中小工業ナリ或ハ石炭ノ増産ト云フ大切ナ方面ニ出來ルダケ新興工業ヲ興シテ行カナケレバナリマセヌ、ソレカラ終戰事務費百四十億ト云フモノデ聯合軍家屋ノ建築問題、斯ウ云フ問題デモ大分救ハレマス、六十億ノ公共事業ノ面ノ土木ノ問題、治水、道路、港灣ト云フヤウナ問題、サウ云フ公共事業ノ面モアリマス、ソレカラ戰災地ノ處理或ハ復興ト云フ問題モ勿論是ハ強力ニヤツテ行ク積リデアル、ソレカラ都會中心ニ浮イテ來ル勞働者ガ必ズアル、ソレヲ機動的ニ集メテ、機動的ニ公共事業ヲヤツテ行クト云フヤウナ問題モ起キテ來マス、ソレカラ補導機關ヲ出來ルダケ強化シテ行ク、ソレカラ授産所ヲ出來ルダケ

ヤツテ行ク、ソレカラ共同作業所、工場「アパート」ト云フヤウナモノヲ作ル積リデアリマス、ソレカラ賠償物資ノ撤去ノ問題モ中努力ガ要リマス、例ヘバ兵器ノ除去、破壊ノ問題モアラウト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ方面ニ向ツテ失業對策ノ一ツノ構想ヲ描キマシテ、ソレデ出來ルダケ之ヲ救ツテ行ク、ソレデモ尙ホ困ルト云フ人ガアリマセウ、ソレハ社會保護法救ツテ行クト云フコトニスル、社會保護ハ社會保護法ヲ中心ニシマシテ現ニ其ノ中ノ三億バカリハ既ニ庶民金融庫ニ出シマシタ、十億ノ金ガ十億ニナリマシタ、十億ニナルト三十三萬世帯ニ三千圓ノ金ガ貸付ケラレル、其ノ外ニ一家族三百圓、或ハ醫療助産ノ補助ヲヤツテ、失業シタ方ヲ成ベク生産面ニ向ケ、ソレヲ救フト云フコトデ、今申シマシタ通りニ第一ハ補償打切ニ直接ノ問題、第二番目ハ失業對策ノ面、第三番目ハ生活保護ノ面、斯ウ云フ三段構ヘヲ以テ、豫算ガ足りナケレバ國家ハ當然豫備費、追加豫算ガ出セルモノダト思ヒマス、是ハ恐ラク日本トシテハ劃期的ナ計畫デセウ、斯ウ云フ風ニシテ國民生活ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトハ出來ルダケ徹底的ニヤル肚デ居リマス、斯ウ云フ意味ニ於テ勞働者ガ「ストライキ」ナドヲ起シテ賞ツテハ國ノ爲ニ困ル、其ノ爲ニ

斯ウ云フコトモ講ジテ居ルカラ我
慢シテ吳レト云フコトデ、ヤツテ
行クト云フヤウニ御諒承ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○達澤委員長 文部大臣ニ對スル
質疑ハアリマスカ

○杉田(馨)委員 是デ打切りマス
○達澤委員長 此ノ際委員諸君ニ

モ一寸御諮リ致シマス、實ハ理事
諸君ニハ御相談申上ゲタノデアリ
マスガ、文部大臣ガ今見エテ居リ
マスノデ、吉田總理大臣並ニ文部
大臣ニ委員長ト致シマシテ一ツ要
望スルコトガアリマス、此ノ際要
望シテ置キタイト思ヒマス、御許
シ願ヒタイト思ヒマス

吉田總理大臣ガ見エテ居リマセ
スガ、閣僚カラ御傳ヘ願ヒタイト
思ヒマス、我方國ノ資源地帯デア
ツタ朝鮮、滿洲、樺太、臺灣等ヲ
失ツタ此ノ狭キ面積ノ上ニ多數ノ
人民ヲ擁シテ、食糧及ビ各種ノ生
産資源ガ又著シク貧弱ニナツタ此
ノ苦境ノ現在カラ出發シテ、平和
ト文化ノ高い日本ヲ建設スルニ
ハ、ドウシテモ無カラ有ラ生ズル
コトニ努力スルヨリ外ニ名案ハア
リマセヌ、結局國民ノ大多數ガ勞
働スルコトデアリマス、勞働ハ
全産業ノ基本デアリ、無カラ有ニ
導ク所ノ崇高ナル行デアリマス、
國民ノ大多數ガ喜ンデ勞働ニ精進
精勵スルコトニナレバ、現在ノ日
本ヲ覆フテ居ル所ノ幾多ノ問題ハ
解消サレ明朗ナ平和ノ日本ガ必ズ

實現スルデアリマセウ、政府ハ既
ニ勞働ノ重要ナルコトヲ是認シ
テ、新シク出來ル所ノ憲法ノ條章
ノ中ニモ是等ニ關スル字句ヲ明記
スル由デアリマスガ、本委員會ハ
更ニ進ンデ國民學校ノ教科書ノ一
部ノ中ニ、勞働ノ重要性及ビ其ノ
意欲ノ昂揚ヲ圖ル文章、實例ナド
ヲ書カレテ、小國民時代カラシテ
其ノ教育ヲナシ、旺盛ナル勞働精
心ト道義ノ涵養ニ資スベキデア
ル存ズルノデアリマス、此ノ點ヲ
實行シテ載キタイコトヲ要望致シ
タイノデアリマス

序デアリマスカラ、一寸厚生
大臣ニモ立ツタ序デアリマス、上
ガテ置キマス、ソレハ世界勞働組
合參加ニ關スル件デアリマス、資
本ト資源ノナイ日本ノ勞働ノ重要
性ヲ確認シテ居ル所ノ政府ハ、是
ガ發達ノ爲ニ總テ來ルベキ所ノ平
和會議ガ終了シテ後ニ我方國カラ
世界勞働組合聯盟ニ速カニ參加ス
ベキデアルト思フノデアリマス
ガ、政府トシテハ如何ナル準備ヲ
ナシテ居ルカ、又ドウ云フ用意ガ
アルカラ御伺ヒシテ置キタイト思
ヒマス

ソレデハ通告順ニ依リマシテ今
井ハツサンニ之ヲ許シマス、警保
局關係ノコトヲオヤリヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○今井(は)委員 私ハ敗戦日本ノ
産業振興ハ國家建設上最重要ナ
ル基本ト存ジマシテ、ソレニ參加

致シマスル勤勞者ノ待遇改善、優
遇ヲ心ヨリ願フモノデアリマス
ガ、併シ同情ガ過ギマシテハ此ノ
結果ハ如何ニナルコトカト憂フル
モノデアリマスノデ、公平ナル立
場ニ於テ所見ヲ申上ゲ、政府ノ御
意見ヲ承リタイト思ヒマス

衆議院議員ハ凡ユル階級ノ代表
者デアリマスカラ、一方ニ偏ルコ
トナク、嚴正ナ立場ニ於テ國事ニ
參與シ、國民ノ正シイ要望ヲ政府
ニ傳達、而シテ政策ノ檢討ニ臨ム
ベキハ私ガ全更申スマデモナイコ
トデアリマスガ、過日來議員諸氏
ノ政府ニ對スル御質問ヲ拜聴致シ
マスニ、中ニハ御熱心ノ餘リ聞キ
方ニ依レバ一方ノ偏レル感ジ
抱カセラレ、恰モ母親ガ愛ニ盲目
ナ爲メ愛兒ノ前途ヲ誤ラスニ似タ
感ジヲ抱スノデアリマスガ、我が
日本ハ今敗戦占領下ニアリ、明朗
ナ文化國家再建ニハ總テノコトガ
友愛精神ニ基ク民主主義ニ依リテ
行ハレナクテハ相成ラヌコトハ國
民周知ノコトデアアルニモ拘ハラ
ズ、民主主義ト自己主義ノ履違ヒ
ニ及リ道義モナケレバ德義モナ
ク、隨テ國家ノ思フノ念ハ亡却サ
レタ形デアリマス、茲ニ於テ民主
主義ノ根本ヲ正シク國民ニ理解セ
シムルノ方途ヲ取り誤マテル見解
ノ是正ヲセシメナクテハ明朗日本
ノ建設ハ覺束ナイト思慮サレルノ
デアリマス、此ノ見地カラ國民ニ
對シ民主主義ノ正シイ理解ヲ普及

スル必要アリト私ハ思ヒマスノ
デ、民主主義ノ正シイ理解ノ普及
ヲ政府ニ要望スル意味ニ於テ質問
致シタイト思ヒマスガ、私ノ御聽
キ致シタイコトハ、大體ニ於テ他
ノ委員ニ依ツテ既ニ御質問サレマ
シタノデ成ルベク重複ヲ避ケ私見
ノ一端ヲ述ベテ御伺ヒ致スコトニ
致シマス

我が國ノ再建ハ種々ノ點カラ考
察致シマシテ、生産ノ速カナル實
現デアリマスコトハ今更ラ私ガ申
上ゲルマデモモトコトデアリマ
ス、人間最上ノ仕合せハ全心全力
仕事ニ傾注愉快ニソレニ打込ミ得
ルコトデアリマスガ、仕事ニ全力
ヲ打込ミ得テ生活出來得ルノハ勤
勞者デアリマス、此ノ勤勞者ノ心
持如何デ仕事ノ能率ガ上下サレル
ノデアリマス、隨テ勤勞者自ラハ
勿論ノコト、企業ノ經營者ノ立場
ニアル者ハ如何ニスレバ仕事ニ全
身全力ヲ打込ミ得ルカト互ヒニ自
諭自覺爲シ、再建ノ重責ヲ擔フ
「ブライド」ノ下ニ行動シテコソ
國家更生ノ偉業ハ達成サレルノデ
アリマス、故ニ兩者ニシテ此ノ面
ヲ重要ナ目標トスルナレバ、政府
提出ノ勞働關係調整法案モ必要ノ
ナイモノト相成ルノデアリマス
ガ、今日ノ勞働運動ヲ見マスニ、
自己ノ主張ノミニ走り、職場ノ神
聖ヲ忘レ、大衆ノ迷惑ヲ考慮セザ
ル非民主主義的ノ行動ト看做サレ
ル嫌ヒガアリマス、某新聞社ノ如

ク僥倖ニ依ツテ乘取り得タ營業ヲ
繞リ今日未ダ爭議ヲ續ケテ居ル有
様ヲ見マシテモ、勞働組合法ニ對
シ勞働關係調整法ハ國家治安ノ建
前カラ必要ナ法案デアルト公平ナ
立場ニ依リ思考致シマス、私達日
本國民ハ永年ノ戰爭ニ及リ心身共
ニ疲レ果テ、鬭爭行為ハ好マナイ
ノハ勿論忌避スル所デアリマス、
隨テ鬭爭性ノナイ明朗平和ナル友
愛精神ヲ要望スル民衆ニ於テハ、
勞働關係調整法ノ實施ニハ理解ヲ
持チ反對ハナイノデアリマスガ、
勤勞者ガ身ヲ仕事ニ打込ムニハ生
活ノ安定ガ前提デナクテハ相成ラ
ヌノデアリマスガ、今日ノ如ク物
價ガ天井知ラズニ上ガル狀態デハ
薄給者ハ生活困難デ仕事ニ打込メ
ナイノデアリマシテ、給料ノ上ル
ヨリ物價ノ下ルノヲ望ンデ止マナ
イノデアリマス、故ニ政府ハ此ノ
物價高ヲ低物價策ニ轉換サス意思
アリヤ、第一ニ御聽キ致シタイノ
デアリマス

第二ハ既ニ他ノ委員ニ依リ質問
セラレタ爭議行為ノ出來得ナイ職
域ニ在ル官公吏ニ對スル件デアリ
マスガ、元來地方ノ官公吏ハ薄給
ノ餘德ト申シマセウカ、職權ヲ惡
用致シテ參リマシタ者ガ多ク、都
會ノ官公吏ガ生活困難ノ悲鳴ヲ上
ゲルニ拘ラズ、地方ノ官公吏ノ生
活難ハ餘リ耳ニシナイノデアリマ
シテ、終戦後ニ至リマシタ今日、
尙ホ依然トシテ改マラヌ傾向ガア

二二九

リマス、長崎縣ノ警察署及ビ檢事局ノ如キハ、殺人未遂告訴ヲ本年三月ニ出シマシタノニ對シ、五箇月後ノ八月ノ今日未ダ加害者ヲ一回ノ取調モ行ハナイ怠慢ナル狀態デアリマス、又或ル地方デハアルベカラザル所ニ肥料ガ山積ナシ居ル事實ヲ知リナガラ摘發出來得ナイ警察署モアルト聞キマス、地方ニハ斯カル好マシカラザル官公吏ガ多イノデアリマスガ、ソレモ生活ノ爲ニ行ヒ、生キガ爲ノ行爲ナレバ許スコトモ出來マセウガ、中ニハ相當ノ蓄財ヲヤツテ居ル者ガ多イサウデアリマス、斯ウシタ官公吏ノ肅清ヲ斷行セスコトニハ明朗日本ノ再建ハ覺束ナイノデアリマス、官公吏ノ生活ノ保障、待遇ノ向上ト相並行シ警察官ノ素質ノ向上淨化ヲ日本再建ノ爲ニ要望致シマスガ、内務大臣、司法大臣ニ其ノ御英斷ガアリマスヤ否ヤ御伺ヒ致シタイノデアリマス

次ニ封建思想ノ根強イ地方ノ勞務者ハ種々ノ環境ニ依リ爭議行爲ノ出來得ナイ弱イ立場ニアリマシテ、經營者中ニハ之ヲ幸ヒトシ、無理解ニモ自己ノ利益ノミヲ圖リ勞務者ニハ物價高ノ今日ニ於テ男子日給五圓、女子二圓程度ナルモノガ尙ホ現存シテ居ル有様デアリマス、今日ノ物價高デハ主食ノ配給ヲ受ケルニサヘ困難デ、働ケド働ケド食フヲ得ズ、已ムヲ得ズ職場ヲ休ミ、野ヤ山ニ食糧ヲ探

シ、辛ウジテ飢餓ヲ凌ギ行ク者ガ數知レナイノデアリマス、是ハ勞務者ノ「サボタージュ」ニ見エマシマスガ、眞實ニ於テハ經營者ノ利己的經營ノ犠牲デアリマス、是等ノ人々ノ保護對策トシテ適正ナル勞働賃金ノ制定ヲ要望致シマスガ、其ノ御意見アリヤ

第四ハ勤勞婦女子ノ待遇改善デアリマス、特ニ地方ノ勤勞婦女子ノ待遇ハ低調デアリマスガ、之ヲ是正シ向上セシメナクテハ生産ニ大ナル影響ヲ來スハ固ヨリ、壯健ナ子孫ハ望メナイノデアリマシテ、地方ノ勤勞婦女子ノ中ニ結核者ガ多イコトヲ見マシテモ分ルコトデアリマス、故ニ次ノ通り待遇ノ改善同上ヲ願フモノデアリマス

一、努力ヲ要スル仕事ヲ除キ他ノ業務ニ關係スル勤勞賃金ハ男女平等ニスルコト
二、毎月三日間ノ生理休暇ヲ與ヘルコト
三、産前三箇月、産後一箇月ノ保養休暇ヲ與ヘルコト
ソレニ對スル賃金ノ付與

一、冬期ニ於テハ暖房設備ヲ確實ニスルコト
二、文化國家建設ノ意味ニ於テモ勤勞婦女子ノ素質及ビ教養ヲ高メルノ要アリト認メマシテ、五十人以上ノ従業員ヲ擁スル職場ニ於テハ文庫ノ設備ヲナスコト
一、月一回産業、政治ノ講座ヲ

開クコト
一、月一回懇親會、座談會等ヲ開催スルコト
一、保育所、託兒所ヲ増設スルコト
前述ノ八項目ハ婦人ノ要望希望ヲ最小限度ニ縮小致シマシタ要目デアリマシテ、決シテ無理ナ主張デハアリマセウカラ、日本再建ノ一端ヲ擔フ婦人勤勞者ノ爲ニ是ガ非デモ實現ヲ願フ所デアリマス、厚生大臣ハ宜シク御採用ノ御意思アリヤ否ヤ、右御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○河合國務大臣 只今ノ第一ノ質問ノ物價ヲ下ゲル意思ガアルト云フ點デアリマスガ、是ハ主トシテ大藏省ノ方ノ所管ニナリマスケレドモ、私共ノ方ノ立場カラシマシテモ、生活安定ノ面カラ低物價ヲ非常ニ希望シテ居リマス、政府モ大體此ノ線ニ於テ進ンデ居ルコトハ疑ヒナイ所デアリマスガ、併シ是ハ中々困難ナ問題デアリマシテ、只今ノ所デハ先ツ物價ヲ上げナイト云フコトガ中心ニナリマシテ、ソレカラ物價低落ト云フ面ニ行クベキモノト思ヒマスルガ、唯食糧關係等ガ段々解決ノ曙光ヲ認メテ來マシタノデ、食糧面ナドガ幸ヒニ都合好ク行キマスレバ、全體ノ物價ノ上ニ於テモ非常ニ好影響ヲ及ボスト云フコトヲ考ヘテ居リマス——尙ホ今大藏省ト申シマ

シタガ、經濟安定本部ガ此ノ中心ノ主體ニナツテ居リマス——私共ノ方面カラ申シマシタ意味ニ於テサウ云フコトヲ希望シ、サウ云フ方向ニ行ツテ居ルト云フコトヲ御答ヘ致シマス
ソレカラ其ノ次ニ、地方ニ封建的勞働體制ガマダ殘ツテ居ル、ソレニ對シテ賃金ヲ上ゲルヤウナ措置ヲ執ラナケレバイカヌノデハナイカト云フ御話デゴザイマシテ、是ハ段々サウ云フコトハ拂拭サレツ、アルト云フ現狀デアリマス、ガ將來又失業者ナドガ非常ニ出マスト、サウ云フコトニナラヌトモ限ラヌ狀態デアリマスガ、唯先程申シマシタ通りニマダ通貨購買力ノ安定性ヲ缺イテ居リマスル現狀ニ於キマシテハ、最低賃金ヲ以テソレヲ規律シテ行クト云フ風ナ所マデハマダ進ンデ居リマセヌ、甚ダ遺憾ナコトデスケレドモ、ヤハリ或ル程度ハ自然ニ見テ行キ、指導的ニ之ヲヤツテ行クト云フヨリ外ニ仕方ガナイ、法律デキチント決メルト云フ所マデハ行ツテ居リマセヌ

ソレカラ其ノ次ノ問題、勤勞婦女子ノ狀態カラ考ヘマシテ、勞務賃金ヲ男子ト同様ニト云フ御話デアリマシタガ、是ハ同様デナイモノニ付テハ、ヤハリ能力技術ヲ中心ニ考ヘテ公平ナ措置ヲ執ツテ行クト云フコトデ、男ト女ト同ジト云フ原則デハナク、能率、能力

ヲ中心ニ、公平ニヤツテ行クト云フ見地ヨリ外ニ途ハナイト考ヘテ居リマス、其ノ外、三日ノ生理的ノ休暇、産前産後ノ問題、暖房ノ設備ノ問題、文化的色々ナ方法ノ問題等モアリマスルガ、是ハ此ノ次ノ議會ニ出シマスル勞働保護法、或ハ勞働基準法トナリマスルカ、サウ云フ方面ニ付テ出來ルダケ今ノ御議論ノヤウナ風ニ採上ゲタイ氣持デ居リマス

ソレカラ保育所、托兒所ノ制度ニ付キマシテハ、只今モ相當程度ヤツテ居リマスガ、是ハ更ニ擴張シテ、強化シテ行ク積リデゴザイマス
○谷川政府委員 御尋ネノ第二ノ點ニ付テ御答ヘラ申上ゲマス、官公吏、殊ニ警察官ガ其ノ職務執行ノ點ニ付テ待遇問題ト非常ニ密接ナ相關關係ヲ持ツテ居リマスルコトハ御指摘ノ通りデアリマス、政府ト致シマシテハ先ツ警察官ニ對シマシテハ、物心兩方カラ此ノ問題ノ解決ニ當リタイト思ヒマシテ、色々施策ヲ練ツテ居リマスシ、既ニ皆様ノ御審議ヲ煩ハスベク提案シテ居ルモノモアルノデアリマス、今日マデノ警察官ノ待遇ハ何ト致シマシテモ、非常ニミデメナモノデアツタノデアリマス、併シナガラ今日ノ再建ノ時期ニ當ツテ、警察官ニ負荷カレテ居リマスル國家的職責ノ重大サカラ考ヘマシテ、斯様ナ狀態ニ置クコトハ

ヲ中心ニ、公平ニヤツテ行クト云フ見地ヨリ外ニ途ハナイト考ヘテ居リマス、其ノ外、三日ノ生理的ノ休暇、産前産後ノ問題、暖房ノ設備ノ問題、文化的色々ナ方法ノ問題等モアリマスルガ、是ハ此ノ次ノ議會ニ出シマスル勞働保護法、或ハ勞働基準法トナリマスルカ、サウ云フ方面ニ付テ出來ルダケ今ノ御議論ノヤウナ風ニ採上ゲタイ氣持デ居リマス

許スコトノ出来ナイコトデアリマシテ、一日モ早ク是ガ是正ヲ致シタイト存ジマシテ、最近ノ處置ニ於テ他ノ官公吏ト同ジ程度ニ改善ヲ致シ、或ハ多少ノ色モ着ケラレテ居ルト云フ所デアリノデアリマシテ、更ニ警察官ノ職務ノ性質ニ鑑ミマシテ、特別ナ考慮ヲ拂ヒタイト思ヒマシテ、今大藏省ト交渉ヲ進メテ居ルヤウナ次第ナデアリマス、待遇ノ問題ニ付キマシテハ、斯様ナ方針ノ下ニ進ンデ居リマス、更ニ一方精神ノ方面ニ於キマシテハ出来ルガ健全ナ社會人的ナ人格、識見、素養ヲ持ツテ居ル者ヲ警察官ノ職ニ就カシメタ

マシテ、之ニ依ツテ警察ノ幹部ヲ養成致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、色々御指摘ニナリマシタヤウナ不屈ノ點ノアリマスコトハ、我々トシテハ實ニ残念ニ思フノデアリマスガ、斯様ナ手段方法ニ依リマシテ、一日モ早ク現在ノ警察官ト云フモノニ、國家ノ要請ニ應ジマシテ、十二分ノ機能ヲ發揮致サシメタイト折角努力致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

アリマス、告訴告發ガ正式ニナサレルト云フヤウナ場合ニハ、勿論早速取調ニ着手シナケレバナラヌト思ヒマス、何等カノ手違ヒデ左様ナコトガ假ニアリト致シマスレバ、此方モ注意致シマシテ、早速取調ヲ開始致シタイト思フテ居ルノデアリマス

ナリ長クソレノ實問サレテ居リマスシ、又ソレニ對スル答辯モアリマシタノデ、私ハ成ベク重複ヲ避ケマシテ、厚生大臣ノ答辯デ満足スルコトノ出来得ナイ點等ニ付テ質問致シタイト思ヒマス、本法

和的ニ再建復興スルコトハ出来得ナイデアラウヘ思フ、更ニ又資本主義的、營利追求主義的ニ産業經營ヲヤルトスルナラバ、勞資間ニ於テ自ラ深刻ナル社會問題ガ惹キ起シテ來ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、又サウ云フヤリ方デハ到底日本ノ全勤勞勞働者ヲシテ希望ヲ持チ、其ノ再建ニ熱意ヲ感じ、其ノ事業ニ自ラ責任ヲ感じテ起チ上ツテ、此ノ國ヲ平和的ニ復興再建スルコトハ出来得ナイ、私ハ根本的ナ點ヲ深ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ産業經濟ニ對スル一ツノ思想、觀念ヲ明確ニ先

居ル者ヲ警察官ノ職ニ就カシメタ、又職ニアル者モサウ云フ教養訓練ヲ致サシメタイト考ヘテ居リマシテ、之ニ依ツテ計畫ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、戰爭中ハ色々人ノ不足ノ爲ニ、程度ノ低イ者ヲ採用シテ、缺員ヲ充足セザルヲ得ナイ狀態ニアツタノデアリマスガ、今日ハ非常ニ世ノ中モ變

マシタノデ御答ヘ致シタイト考ヘマス、長崎縣下ニ於ケル或ル殺人事件ニ付テ此ノ春頃告訴シタケレドモ、全然捜査ノ手ヲ付ケラレナイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、サウ云フ具體的ナ事件ニ付テハマダ本省ニ報告ガゴザイマセヌノデ、全然内容ハ分リマセヌガ、若シ斯様ナ事實ガゴザイマシタ

シウゴザイマスカ
○達澤委員長 今井サン、モウ宜シウゴザイマスカ
○今井(は)委員 大體了承致シマシタガ、一言、只今ノ殺人未遂事件ノ問題ニ付テ申上ゲマスガ、ソレハ捜査ヲ要スル問題デヤナクテ告訴事件ナンデス、ソコヲ御諒承下サイ

化シテ居ル、資源モ缺乏シテ居ル、更ニ生産設備モ破壊サレテ居ル、國民經濟力モ慘メナル破産ノ現狀ニアル、斯ウ云フ深刻ナル敗

御質問デアリマシタガ、端的ナ話ハ、私ハ現在ト云フモノト將來ト云フモノト、ヤハリ二ツニ分ケテ考ヘタイト思ヒマス、ソレデ現在ニ於キマシテハ御承知ノヤウナ國狀デアリマシテ、ドウシテモ増産ヲヤラヌト日本ノ國全體ガ生キル途ガナイ、全體ノ爲ニドウシテモ増産ガ第一デアアル、サウ私ハ考ヘマス、ソレデソレニハ増産ト云フコトト、各人ガ生活ヲシテ行クト云フコトトノ間ニドウ云フ調和「バランス」ヲ求メテ行クカト云フ問題ニナルノデアリマス、ソレ

更ニ警察官ニ對シマシテハ、第一次ニ於テ擴充改善サレマシタ各府縣ノ警察講習所、並ニ第二次的ニハ全國地方的ニ作リマス專門學校程度ノ警察專門學校ニ於キマシテ訓練ヲ施シ、第三次ニハ大學程度ノ内容ヲ持ツテ居リマス警察大學校ト云フヤウナモノヲ中學ニ置キ

致シタイト思ヒマス、御承知ノヤウニ投書、密告ナドニ付キマシテハ、若シ捜査ノ端緒ガアリマシテモ、之ヲ取扱フコトヲ專ラ慎重ニヤツテ居リマスノデ、單ナル投書、密告風評等ニ依ツテ、之ヲ盲信シテ、捜査ニ活動スルト云フヤウナコトハ嚴ニ戒シメテ居ルノデ

午後零時一分休憩
午後一時二十八分開議
○達澤委員長 午前ニ引續キマシテ是カラ會議ヲ始めマス、通告順ニ依リマシテ伊藤卯四郎君ニ之ヲ許シマス——伊藤君

體トシタ經營ヲ以テシテハ到底平和的ニ再建復興スルコトハ出来得ナイデアラウヘ思フ、更ニ又資本主義的、營利追求主義的ニ産業經營ヲヤルトスルナラバ、勞資間ニ於テ自ラ深刻ナル社會問題ガ惹キ起シテ來ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、又サウ云フヤリ方デハ到底日本ノ全勤勞勞働者ヲシテ希望ヲ持チ、其ノ再建ニ熱意ヲ感じ、其ノ事業ニ自ラ責任ヲ感じテ起チ上ツテ、此ノ國ヲ平和的ニ復興再建スルコトハ出来得ナイ、私ハ根本的ナ點ヲ深ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ産業經濟ニ對スル一ツノ思想、觀念ヲ明確ニ先

御質問デアリマシタガ、端的ナ話ハ、私ハ現在ト云フモノト將來ト云フモノト、ヤハリ二ツニ分ケテ考ヘタイト思ヒマス、ソレデ現在ニ於キマシテハ御承知ノヤウナ國狀デアリマシテ、ドウシテモ増産ヲヤラヌト日本ノ國全體ガ生キル途ガナイ、全體ノ爲ニドウシテモ増産ガ第一デアアル、サウ私ハ考ヘマス、ソレデソレニハ増産ト云フコトト、各人ガ生活ヲシテ行クト云フコトトノ間ニドウ云フ調和「バランス」ヲ求メテ行クカト云フ問題ニナルノデアリマス、ソレ

更ニ警察官ニ對シマシテハ、第一次ニ於テ擴充改善サレマシタ各府縣ノ警察講習所、並ニ第二次的ニハ全國地方的ニ作リマス專門學校程度ノ警察專門學校ニ於キマシテ訓練ヲ施シ、第三次ニハ大學程度ノ内容ヲ持ツテ居リマス警察大學校ト云フヤウナモノヲ中學ニ置キ

致シタイト思ヒマス、御承知ノヤウニ投書、密告ナドニ付キマシテハ、若シ捜査ノ端緒ガアリマシテモ、之ヲ取扱フコトヲ專ラ慎重ニヤツテ居リマスノデ、單ナル投書、密告風評等ニ依ツテ、之ヲ盲信シテ、捜査ニ活動スルト云フヤウナコトハ嚴ニ戒シメテ居ルノデ

午後零時一分休憩
午後一時二十八分開議
○達澤委員長 午前ニ引續キマシテ是カラ會議ヲ始めマス、通告順ニ依リマシテ伊藤卯四郎君ニ之ヲ許シマス——伊藤君

體トシタ經營ヲ以テシテハ到底平和的ニ再建復興スルコトハ出来得ナイデアラウヘ思フ、更ニ又資本主義的、營利追求主義的ニ産業經營ヲヤルトスルナラバ、勞資間ニ於テ自ラ深刻ナル社會問題ガ惹キ起シテ來ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、又サウ云フヤリ方デハ到底日本ノ全勤勞勞働者ヲシテ希望ヲ持チ、其ノ再建ニ熱意ヲ感じ、其ノ事業ニ自ラ責任ヲ感じテ起チ上ツテ、此ノ國ヲ平和的ニ復興再建スルコトハ出来得ナイ、私ハ根本的ナ點ヲ深ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ産業經濟ニ對スル一ツノ思想、觀念ヲ明確ニ先

御質問デアリマシタガ、端的ナ話ハ、私ハ現在ト云フモノト將來ト云フモノト、ヤハリ二ツニ分ケテ考ヘタイト思ヒマス、ソレデ現在ニ於キマシテハ御承知ノヤウナ國狀デアリマシテ、ドウシテモ増産ヲヤラヌト日本ノ國全體ガ生キル途ガナイ、全體ノ爲ニドウシテモ増産ガ第一デアアル、サウ私ハ考ヘマス、ソレデソレニハ増産ト云フコトト、各人ガ生活ヲシテ行クト云フコトトノ間ニドウ云フ調和「バランス」ヲ求メテ行クカト云フ問題ニナルノデアリマス、ソレ

第六期第十一號 勞働關係調整法案委員會議 第九回 昭和二十一年八月五日

體トシタ經營ヲ以テシテハ到底平和的ニ再建復興スルコトハ出来得ナイデアラウヘ思フ、更ニ又資本主義的、營利追求主義的ニ産業經營ヲヤルトスルナラバ、勞資間ニ於テ自ラ深刻ナル社會問題ガ惹キ起シテ來ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、又サウ云フヤリ方デハ到底日本ノ全勤勞勞働者ヲシテ希望ヲ持チ、其ノ再建ニ熱意ヲ感じ、其ノ事業ニ自ラ責任ヲ感じテ起チ上ツテ、此ノ國ヲ平和的ニ復興再建スルコトハ出来得ナイ、私ハ根本的ナ點ヲ深ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ産業經濟ニ對スル一ツノ思想、觀念ヲ明確ニ先

體トシタ經營ヲ以テシテハ到底平和的ニ再建復興スルコトハ出来得ナイデアラウヘ思フ、更ニ又資本主義的、營利追求主義的ニ産業經營ヲヤルトスルナラバ、勞資間ニ於テ自ラ深刻ナル社會問題ガ惹キ起シテ來ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、又サウ云フヤリ方デハ到底日本ノ全勤勞勞働者ヲシテ希望ヲ持チ、其ノ再建ニ熱意ヲ感じ、其ノ事業ニ自ラ責任ヲ感じテ起チ上ツテ、此ノ國ヲ平和的ニ復興再建スルコトハ出来得ナイ、私ハ根本的ナ點ヲ深ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ産業經濟ニ對スル一ツノ思想、觀念ヲ明確ニ先

體トシタ經營ヲ以テシテハ到底平和的ニ再建復興スルコトハ出来得ナイデアラウヘ思フ、更ニ又資本主義的、營利追求主義的ニ産業經營ヲヤルトスルナラバ、勞資間ニ於テ自ラ深刻ナル社會問題ガ惹キ起シテ來ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、又サウ云フヤリ方デハ到底日本ノ全勤勞勞働者ヲシテ希望ヲ持チ、其ノ再建ニ熱意ヲ感じ、其ノ事業ニ自ラ責任ヲ感じテ起チ上ツテ、此ノ國ヲ平和的ニ復興再建スルコトハ出来得ナイ、私ハ根本的ナ點ヲ深ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ産業經濟ニ對スル一ツノ思想、觀念ヲ明確ニ先

體トシタ經營ヲ以テシテハ到底平和的ニ再建復興スルコトハ出来得ナイデアラウヘ思フ、更ニ又資本主義的、營利追求主義的ニ産業經營ヲヤルトスルナラバ、勞資間ニ於テ自ラ深刻ナル社會問題ガ惹キ起シテ來ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、又サウ云フヤリ方デハ到底日本ノ全勤勞勞働者ヲシテ希望ヲ持チ、其ノ再建ニ熱意ヲ感じ、其ノ事業ニ自ラ責任ヲ感じテ起チ上ツテ、此ノ國ヲ平和的ニ復興再建スルコトハ出来得ナイ、私ハ根本的ナ點ヲ深ク考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル厚生大臣ノ産業經濟ニ對スル一ツノ思想、觀念ヲ明確ニ先

於テ、今日相當ニ物ガ足りヌ、物價ガ段々高クナル、生活ハ困難ニナルト云フ現狀ニ於キマシテ、度度申シマシタヤウニ、一枚ノ布團ヲ引張り合ヒシテ居ルト云フノガ現在ノ狀態デ、是ハ動カスベカラザルコトデアリマス、隨ツテ之ヲ餘リ無理シテ引張りマスト國全體ガ立ツテ行カヌノデアリマス、ソコニ物ノ困難ガアリマス、勿論是ハ一面ニ於テ此ノ時局ハ勞働者ノ力ヲ解決シナクテハナリマセヌ、勞働者ノ力ト云フコトニナリマス、勞働ニ從事スル人ノ氣持、生活等、總テ明朗ナ氣持ヲ持テ、今日々ノ生活ヲ暮サシテヤラナクテハナリマセヌ、ヤラナクテハナラヌノハ尤モ至極デアリマスガ、ソコマデ行クモノガナイトナレバ、出來ルダケ是ハヤハリ忍ブ所ハ忍ビテ貰ツテ、サウシテ國民全體ノ一ツノ再建ト云フコトヲヤツテ貰ハナケレバナラヌト云フ所ニ、自ラ又ソコニ制限ト申シマスカ、調和ト申シマスカ、オヒヒノ謙遜互譲ト云フモノガ一ツ出來テ來テ、ソコニ國ガ立直ルノデハナカラウカト云フ氣持ヲ持ツテ居リマス、私ハ決シテ資本家ヲ擁護スルト云フ大ソレヲ考ヘデモ何デモアリマセヌ、國家ノ現狀トシテソレ以外ニ途ガナイト云フコトガ私ノ現狀ニ對スル考ヘデアリマス、將來ノ問題ニ付キマシテハ稍々私ハ遠ツタ見方ヲシテ居ル、ソレハ

ナゼカト言ヒマス、日本ノ國ト云フモノノ狀態ガ變ツテ來マス、日本ノ産業ト云フモノノ將來ガ變ツテ來マス、一面ニ於キマシテハ「マスプロ」ト云フモノガ御承知ノ通り餘程制限サレマス、サウスルト「マスプロ」中心ノ勞働問題ニ於ケル地位ニ變革ヲ生ジマス、一面ニ於キマシテ中小工、即チ纖維工業ナリ或ハ見返リ物資ヲ中心ニシタ工業ガ餘程展開サレマス、又展開サレナクテハ國ガ立チマセヌ、サウ云フ二ツノ工業上ノ特質ヲ持ツタコトヲ將來ニ眺メナクテハナラヌ、サウ云フ問題、ソコデ農業ガ御承知ノ通り餘程大キナ分野ニ於テ加ハツテ來マス、農業ニ伴ツテ恐ラク食糧ノ世界ノ過剩ト云フ現象モ起リマセウカラ、一面ニ於テ農業ハ非常ニ「インテンシブ」ノ深度ヲ持タセルト同時ニ、又彈力ヲ持タセナケレバナラヌ、結局農村工業ガ非常ニ大キナ分野ヲ持ツテ來ル、サウ云フヤウナ我々ノ行ク將來ヲ頭ニ描イテ考ヘマスル時ニ、勞働問題ノサウ云フ構圖ノ下ニ於ケル地位如何ト云フコトヲ考ヘテ來ナクテハナラヌ、サウ致シマス、今マデノ日本ノ戰爭中若シハ戰前ニ於ケル勞働問題ト大分新シイ變ツタ性格ヲ持ツテ來ルト云フコトガ考ヘラレマス、殊ニ中小工ナリ農業ナリト云フモノニハ餘程協同組合的ノ思想ガ入ツテ來ル、併シナガラ大

體ハ「デモクラシー」デアリ、ヤハリ自由思想ガ根本ニナリマセウ、サウスルト契約ノ自由ノ尊重ト云フコトモアリマス、或ル程度ノ計畫性モ入ツテ來マス、サウ云フヤウナ問題ト絡ミ合ツテ問題ヲ考ヘテ行カナクテハナラヌ、私ハ將來ノ問題ニ對シテハ相當進歩的ニ考ヘタイト思ツテ居リマス、結局勞働問題ト勞資問題ハ多クノ場合ニ於テ立體的ニ考ヘテ、サウシテ編上ガ合ヒ、總レ合ツテ一ツノ日本ノ發展ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニ御諒承願ヒマス

○伊藤(卯)委員 私ハ冒頭ニ中上デマシタヤウニ將來ノコトヲ論ジテハ居リマセヌ、將來ノコトニ付テハ厚生大臣ト自ラ私ハ違フ點ガアルダラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ私ハ論ジヨウトハ思ツテ居リマセヌ、私ノ質問ノ根本ハ、此ノ廢墟ノ日本ノ産業經濟ノ現狀ヲ如何ニシテ回復スルカト云フ、極メテ緊急當面ノ問題ニ付テノミデアリマス、今厚生大臣ノ答辯ヲ伺ツタノデアリマスガ、ドウモ私ニハ何ダカ抽象的デハツキリシナイノデアリマス、私ガ漸次質問ヲ進メテ行キタイト思ヒマスコトハ、資本主義ノ營利主義經營ト云フモノハ、良イ言葉デ言ヘバ優勝劣敗トモ言ヘマセウシ、卒直ニ言ヘバ弱肉強食デアリマス、サウ云フヤウナコトヲ以テシテ此ノ廢墟

ト申シマスルカ、推進的、獨創的ナ考ヘハ斯ウ云フ時代ニ於テモ勿論必要デアル、サウ云フ線ニ沿ウナコトモヤツテ行カナケレバナラタト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今ノヤウナ非常ナ變革期ニ於キマシテハ、擯取のナコトハ勿論ヤリ得ルコトデモナイシ、又今ノ實態ニ於テ殆ドナイ、殊ニ工業ト云フモノヲ中心ニシテハナイ、商業ノ分野ニハ、御承知ノ通り斯ウ云フ時代デスカラ色々ナコトガアリマセウケレドモ、工業的ニハソレヲ高ク取上ゲテ言フ程ノコトハナイト考ヘテ居リマス、併シ勿論是ハ全體ニ於テ斯ウ云フ過渡的ナ時デアリマスカラ、相當計畫性ヲ以テヤラナクテヤナラヌコトハ疑ヒナイコトデアリマス、最近出マスル物資調整法ノ如キモ其ノ趣旨ニ依ツテ、經濟安定本部ノ如キモ其ノ趣旨デ出來テ居リマス、唯之ヲ「イズム」ノ問題ニ分ケテハツキリ解決スルト云フコトハドウウカト考ヘマスノデ、其ノ點ニ對スル私ハハツキリシタ御答辯ヲ此處デハ遠慮シタイト思ツテ居リマス

○伊藤(卯)委員 今日果シテ其ノ經營體ガ擯取ヲヤリ得ルダケノ餘力ガアルカドウカト云フ問題ニ付テハ、ソレハ厚生大臣ノ言ハレルヤウニ、尙ホ今日ノ經營體ニ於テ利潤ヲ思フヤウニ擧ゲテ行クト云フコトハ、是ハアリ得ナイデアラ

ウ、併シナガラ其ノ經營體自體ガ所謂利潤追求ノ經營體デアリ、搾取ヲ巧妙ニヤレル所ノ企業經營ノ構成ガ其ノ儘殘ツテ居ルト云フコトニナレバ、ヤハリ勞働者階級ニ、其ノ經營體ヲシテ協同的ナモノデアアル、協同責任ヲ感ジテ復興再建ヲシナケレバナラス、少クトモ半分以上ハ自分等ニモ其ノ責任ガアルノダト云フ、サウ云フ觀念ヲ喚ビ起スコトガ出來ナイデアラウト私ハ思フノデアリマス、其ノ點ヲ今後ノ企業經營體ノ上ニ於テドウ云フ企業經營體ヲ作ラスカ、サウシテ勤勞者、勞働者ニシテ、從來ノ如キ資本主義的搾取のナ經營體デハナイ、自分等モ其ノ經營ニ對シテ參畫シテ居ルノダ、隨テ企業ニ責任ガアルノダ、復興ニ對シテ責任ガアルノダ、サウ云フ考ヘ方ヲ起サスヤウナ經營體ノ機構ガ生レテ來ナイ限りニハ、勞働者ノ責任的協力ヲ發揮サスコトハ出來ナイノデアラウ、斯ウ云フ點デアリマス、斯ウ云フ點ニ對シテ其ノ企業體ノ構成單位ニ對シテ、厚生大臣ハ從來ノ如ク其ノ情性、依然タル其ノ儘デ宜シイト御考ヘニナツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ明カニシタイト思フテ居ルノデアリマス、ソレカラ厚生大臣ノ言ハレルヤウナ考ヘ方デアルト、資本主義ト云フモノヲ強化シテ行ク爲ニハ、當然今度今茲ニ上程サレテアリマスヤウニ、勞働爭議ヲ

防止スルヤウナ、或ハ又彈壓ニナルヤウナ、凡ソサウ云フ勞働取締ニ對スル強權ト云フモノガ作ラレテ來ルデアラウト思フノデアリマス、ヤハリサウ云フヤウナモノニ保護サレテ行カナケレバ、苦シイ産業經濟界ト云フモノハヤツテ行ケナイ、ドウシテモ苦シケレバ苦シクナルニ從ツテ、法律強權ノ、或ハ政治力ノ保護ヲ受ケテヤツテ行カウト云フコトニナルデアラウト思フコトハ、當然ノ歴史デアリマス、サウ云フヤウナコトデアルトスルナラバ、到底日本ノ敗戦ノ現狀ニ於テヤハリ勞資ガ理解スルコトハ出來ズシテ、對立ヲスル、一方ハ餘力ノナイモノヲ飽クマデソコカラ利潤ヲ上ゲテ行カウトスル一方ハ、生活ガ苦シクナルカラシテ、之ニ對立ヲシテ行ク、勞働組合ガナカク當時デアアルナラバ、過去ニ於テ行ハレマシタヤウナ「ソシアルダンピング」ト云フヤウナ、ア、云フ長時間、低賃金ト云フヤウナモノモヤレタデアラウト思ヒマスケレドモ、併シ現在民主主義日本ニ於テ勞働組合ガ設立強化サレタ今日ニ於テ、從來ノヤウナ賃本家の觀念ヲ以テ經營ヤツテ行カウトスルナラバ、ソコニハ強力ナル勞働ノ反抗闘争ガ起ツテ來ルコトハ當然デアリマス、サウ云フコトデ經濟力ハ破綻ノ現狀ニアリ、ソコニ資本主義的ニ依然トシタサウ云フ機構デ經營體ヲ續ケテ

行カウトスル、一面ニ於テ勞働組合ニ對シテ強力ナモノガ出來テ居ルト云フコトニナレバ、勞働組合ノ組織力ノ反抗ノ上カラ見デモ、ヤツテ行ケナイデアラウ、隨テイ濟力自體ガ貧困デアルカラ、其ノ餘裕ガナイデアラウ、ソコニ無理ヲシテ其ノ資本主義的ナ機構經營ヲ以テ飽クマデヤラウトスルナラバ、必然ニ重大ナル社會問題ガ起ツテ來ルコトハ言フマデモナイ、サウナレバ所謂治安ノ維持ヲヤツテ行クト云フコトモ出來ナクナルノデヤナイカ、私ハ今日我が國ノ治安ノ維持ト云フモノハ、日本ノ法律ノ權威ニ依ツテ維持サレテ居ルト思フテ居ラス、占領軍ノ占領下ノ力ニ依ツテ今日日本ノ平靜ヲ維持サレテ居ルノデヤナイカ、所謂日本ノ國民大衆ト云フモノハ、日本ノ法律ノ權威ト云フモノニ依ツテハ安寧ヲ維持シテ居ルノデハナイ、平和ヲ維持シテ居ルノデヤナイ、是ハ全ク占領軍ノ其ノ力ニ依ルモノデアアル、サウ云フヤウニ日本ノ現狀ト云フモノハ、日本ノ國威、日本ノ法律力ヲ以テシテハ治安ヲ維持シテ行クトコトガ出來ナイ現狀ニナツテ居ル、ソレ程日本ノ經濟力、日本ノ國民生活、日本ノ思想狀態ト云フモノハ、自ラ拾收スルコトノ出來ナイ現狀ニアル、サウ云フ現狀ニアル場合ニ事業經營體ト云フモノハ舊態依然タル經營體デヤツテ行カウトス

ル、ソコデ困難ヲ感ズルト、法律ヲ作ツテソレ等ヲ禁止シヤウ、取締ラウト云フヤウナ法律萬能的ナコトデ、舊態依然トシテヤツテ行クト云フヤウナコトデ、果シテ日本ノ復興再建ガ出來ルカト云フコトニ對シテ、私ハ出來得ナイト私自ラ信ジテ居ル、サウ云フ點ニ對シテ厚生大臣ハドウ云フ御考ヘラ持ツテ居ラレルカト云フコトヲモツト率直ニ私ハ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○河合國務大臣 只今ノ伊藤君ノ大體ノ考ヘ方ニ對シマシテハ、私共モ大體同ジ線ニ考ヘテ居リマス、唯今此ノ際ニ「イズム」ノ問題デ物ハ解決シテ行クトハ思フテ居リマセヌノデ、機構ヲ變ヘタリナンカシテ是ガ巧ク行クモノノダトハ考ヘテ居リマセヌ、斯ウ云フ戰爭ノ後ノヤウナ混亂時代ニハ、ヤハリ現在ノ狀態ニ於テ、ソレヲ出來ルダケ改善シマシテ、サウシテ勞働者モ氣持好ク出來ルダケ働イテ貰フト云フヤウナ、意味ニ於テヤツテ行ク、勿論今マデノ勞働問題ノ中心ハ、主トシテ現在ニ於テモヤハリ生活問題デアアル、ソレハ「イズム」ノ問題ヲ絕無デナイカモ知レマセヌガ、大體ニ於テハ生活問題デアルト思フテ居リマス、此ノ問題ノ解決ト云フコトガ問題ノ中心デアアル、ソレニハヤハリドウシテモ「ウェー」トナルベキ「フアンド」ト云フモノヲ増加サセナケレバオ五ヒノ分ケ分モ少イカラ、國ヲ舉ゲテ増産ニ邁進スルト云フコトハオ五ヒニ我慢シテ行クモノデアルト云フヤウナ見地ニ立ツテ物ヲ眺メマスノデ、機構ノ問題トノ關係ハ比較的少イノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、勿論是ハ絶無ト云フ譯デアリマセヌノデ、政府ノ方針ト致シマシテモ、經營協議會其ノ他ニ於テ問題ノ調和ヲ求メツ、アル次第デアリマスシ、又勞資双方ノ合意ニ依ツテ協同的ナ立場ヲ執ツテ行クト云フコトモ段々多カラウト思フテ居リマス、ト云フコトデ政府ノ方針ニ於テモ完全ナル調和ヲ求メテ行クトハ期待ハシテ居リマスケレドモ、根本ハ機構全體ニ付テドウト云フ考ヘ方ハ致シテ居リマセヌ

○伊藤委員 物ガナイカラト云フコトデアリマスガ、其ノ點私ノ先程カラ質問シテ居ルコトヲ認メテ居ラレルト思ヒマスガ、物ノナイ場合ニ依然トシテ資本主義的ナ從來ノ經營體デ宜シイノカト云フ點デアリマス、ソコデソレヲ強行シテ戴イテ勞資ノ間ノ爭ヒト云フモノガ收マツテ行クト御考ヘニナツテ居ラレルカドウカト云フコトナデス、收マツテ行カナイトスルナラバ、ドウ云フヤウニ其ノ經營態勢ヲ更正シタナラバ、勞資間ガ此ノ最近ノ産業經濟復興再建ニ盛上ガルト御考ヘニナツテ居ル

カ、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

行キタイ、サウシテ現状ヲ出來ルダケ改善シマシテ、ソコニ協調シ調和ヲ求メテ行キタイノダト云フヤウニ考ヘテ居リマス

フヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、サウシテ逆ニ申シマスレバ機構ヲ根本的ニ改ヘテ、端的ニ言ヘバ、資本主義經濟ヲ社會主義經濟ニ振變ヘマシテモ、物ハ殖エルモノデナイ、私ハサウ考ヘテ居リマス

意味シテ居ル、例ヘバ食糧問題ガ解決サレルトスレバ物ハズツ増産サレテ來マス、物價問題ガ解決サレレバ物ハ増産シテ來マス、假ニ「アメリカ」ノ「ドル」トデモ「リンク」シテ貰ヘバ日本ハスツカリ安定シテ來ル、色々教育ノ面デヤツテ貰ツテモ變ツテ參リマス、治安ノ面デヤツテ貰ツテモ變ツテ參リマス、是ハ百般ノ事情デ行クノデアリマシテ、其ノ中ノ一部デ機構ト云フ問題ハ考ヘ得ルト思ヒマス、考ヘ得マスケレドモ其ノ機構ト云フモノヲドウ云フ風ニ變ヘル、機構ヲ變ヘルカ變ヘヌカト云フ一言ヲ以テ御答辯スル譯ニハ行キマセヌ、私ハ先程モ申シマシタ如ク、將來ニ向ツテハ日本ノ産業ニ對スル一ツノ理想ヲ持ツテ居リマス、私共ハヤハリ人間トシテノ理想ニ近付キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、ソレダカラ一歩一歩ハ、或ハ機構ト云フ問題ニ觸レテ行クカモ知レマセヌガ、機構ノ問題ニ觸レルガ故ニ、機構ヲ變ヘタト云フ理論ハ適當デナイト云フ風ニ考ヘマスノデ、非常ニ廣範ナ中ノ機構ト云フモノハ、勿論其ノ中ノ一ツウヲ考ヘマスガ、其ノ機構ヲ變ヘルニシテモ、ドウ云フ風ニ變ヘルカ、ソレヲ變ヘル方法、時ト云フモノニ付テ、ドウ云フ刻ミ方ヲシテ行クカト云フ問題ガ色々ゴザイマスカラ、是ハ平

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○伊藤(卯)委員 物ヲ殖ヤスト云フコトニ付テ從來ノ經營體、經營機構其ノ儘物ガ殖エルト御考ヘニナツテ居ラレルカドウカ、其ノ點ニ於テハ物ハ殖エナイ、其ノ證據ニハ御承知ノヤウニ何レノ生産現場ヲ見テモ一向産業復興ニ對スル熱意ガ起ツテ來テ居ナイ、爭議ハ依然トシテ激増スル現状デアアルガ、唯漠然トシテサウ云フ神頼ミノヤウナコトデ物ガ殖エルト御考ヘニナツテ居ラレルカドウカ、サウ云フ點ニ對シテ、私ニ對スル答辯ダケデナク此ノ委員會開カレテ以來、厚生大臣ノ答辯ト云フモノハ、何ダカドウモ一向ニ要領ヲ得ナイノデアアルガ、此ノ點ニ對シテハツキリシタ答辯ヲ伺ハナケレバ、私ハ何時マデモ此ノ問題ヲ續ケナケレバナリマセヌ

○伊藤(卯)委員 改善努力ト云フコトハ其ノ機構ニ於テノ改善努力ト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ラレルカドウカ、例ヘバ労働協約上カラ結バレテ來ルコトヲ、之ヲサウ云フコトニ進メテ行カウト御考ヘニナツテ居ラレルカドウカ、或ハ經營協議會ナドト云フヤウナモノヲ以テ、サウ云フ機構上ノ問題ニ對シテ労働組合ト云フモノモ、其ノ經營ニ參加シ、經營ニ責任ヲ持ツト云フヤウナコトニ改善努力ヲサレルト云フ具體的ナ御考ヘデアアルカドウカト云フコトヲ明カニ伺ハナイト、唯改善努力ヲスレバ物ガ殖エルデアラウト云フコトハ厚生大臣ノ希望デアツテ、現實ハ希望デナク極メテ物ガ殖エナイデ、爭議ガ激増シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ダカラ厚生大臣ノ希望ハ今日正ニ裏切ラレテ居ルト云フコトダガ、政治ト云フモノハ希望デナク具體的ニヤルノガ忠實ナコトデアアルカラ、サウ云フ點ヲ具體的ニ御答辯願ヒタイ

○伊藤(卯)委員 何レノ工場鑛山デモ、ソレト並行シテ經營協議會ト云フヤウナモノヲ締結シテ居リマス、更ニ經營參加ト云フヤウナモノモ、現場ニ於テ締結シテヤラウトシテ居リマスガ、政府ノ方カラサウ云フコトニ付テ具體的ナ指示サレルモノガナイト云フノデ、思ヒ思ヒニ作り、又政府カラ何レ何トカアルダラウト云フヤウナコトヲ求メテ、延期ヲシテ居ルト云フヤウナ所モアル、サウ云フ爲ニサウ云フコトガ具體的ニ現場ニ締結サレナイデ、勞資ノ間ニ、此ノ産業復興ニ盛上ル態勢ガ其ノ爲ニ出來ナイデ居ルトカ、ソレガ長引イテ居ル爲ニ、其ノ間ニ勞働爭議ガ起ツテ來テ居ルト云フヤウナコトガ屢ミアチラコチアルノデスガ、斯ウ云フ點ニ對シテハヤハリ労働協約、經營協議會ナリ經營參加ナリニ對シテ、現場ノ方デ事實上必要ヲ感ジテ、サウ云フコトガ盛上リツ、アルノデスカラ、是等ヲ政府トシテハ採上ゲテ、ソレヲ次代ノ日本ノ産業、労働體制ノ大道ニ乗セルト云フコトガ、極メテ私ハ日本ノ勞資關係ヲ調整、發展サセル上カラ見テモ、或ハ産業ノ復興再建ヲスル上カラ見テモ、或

○河合國務大臣 物ガナイト云フコトニ付テハ勿論私共モサウ考ヘテ居リマスガ、ソレダカラ取締方針ヲ強權一方デ行クカト云フ御考ヘデアリマススケレドモ、サウ云フ氣持ハ一ツモ持ツテ居リマセヌ、物ガナイ中デ成ベク仲好クヤツテ行カウデヤナイカト云フ考ヘデ居リマス、併シナガラ物ガナイカラト云ツテ機構ヲ今根本的ニ變ヘテ、ソレデ物ガ出テ來ルカト云フト私共ハサウハ考ヘナイ、物ハナイガナイ中デ、オ互ヒニ我慢シテ譲リ合ツテ、サウシテ物ヲ殖ヤサウデヤナイカト云フヤウニヤツテ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

力、モウソソナコトハ考ヘル必要ハナイ、物ガナイノダカラハ仕様ガナイデヤナイカ、ソコデ労働者ヲ取締ルニハ労働關係調整法ノヤウナモノデヤツテ行クノダ、ソレデイケナカツタラモットアレハ強權化シテ行クノダト云フヤウニ御考ヘニナルノカ、物ガナイノデアルカラ、ナイ所ヲ再建スル爲ニハ從來ノ利潤追求或ハ搾取經營機構體デハイケナイ、其ノ經營機構ヲソレナラドウ變ヘタラ労働者ヲ奮起サセ盛上ガラスコトガ出來ルノカ、共同責任ヲ以テ起上ガラスコトガ出來ルノカ、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソソナコトヲ考ヘル必要ハナイ、強權一方デ行カレルト云フ御考ヘデアアルカドウカ、其ノ點ヲ明カニシテ貰ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ機構ヲ以テシマシテ、ソレニ改善シ努力シテ行キマスレバ、物ハ殖エルト私ハ考ヘテ居リマス、併シ御承知ノ通りニ終戦後ノ國民ノ虛脱狀態カラ或ハ最近ノ將ニ起キントスル補償打切ノヤウナ問題ナド、色々ナアルガ、漸次國民ハ元ノ國民ノ氣力ヲ恢復シツツアル、サウシテ生産意欲モ段々是カラ出テ來ルト云

○河合國務大臣 是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、改善努力ト云フコトハ非常ニ廣汎ナコトヲ

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

トカ、機構ヲ變ヘルトカ變ヘヌトカ云フコトヲ、一言デ御答ヘスレバ、或ハ誤解ヲ招クト考ヘマスノデ、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス

ハ産業労働ノ新シイ平和ヲ作ルノ意
味カラ見テモ、極メテ緊急重要ナ
コトガ差迫ツテ居ルと思ツテ居ル
ノダガ、斯ウ云フ點ニ對シテ厚生
大臣ハ、サウ云フコトヲ採上ゲヨ
ウト御感ジニナツテ居ルノデセウ
カドウカ、或ハ又サウ云フコトガ
現場ニ盛上リツ、アルノデアルカ
ラ、ソレヲ育成シヨウ、發展サセ
ヨウト御考ヘニナツテ居ルカドウ
カ、サウ云フコトハドウモ資本主
義的「ブルジョアジ」主義カラ

考ヘテ、面白クナイ例ガ澤山出テ
來ルコトダカラ、ソレ等ハ一ツ放
ツテ置イテ、サウシテ自然ニサウ
云フコトハ何トカ、今度ノヤウ
ナ、斯ウ云フ調整法ナリ、其ノ他
労働者ノ行動ヲ壓迫スルヤウナ法
律デモ作ツテ、漸次抑ヘ付ケテ行
カウト云フ御考ヘデアアルカドウ
ト云フ點ヲ、一ツ明確ニ御答辯願
ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ御質問ノ
先ノ方ニ御述ベニナリマシタ線ニ
沿ウテ大體私共モ同感デアリマ
ス、サウシテ契約ノ原則ニ基キマ
シタ經營協議會ノ如キハ勿論結構
デアリマス、ソレニ依ツテ労働意
欲ガ非常ニ昂進シテ來ルト云フコ
トニナレバ、勿論是ハ結構ナコト
ダト思ツテ居リマス、ソシテ此ノ
經營協議會ノ案ニ付キマシテモ、
色々モハ法律其ノ他決メルカト
云フ說モアリマシタガ、ヤハリ勞
働組合ノ健全ナル發達ヲ期スル意

味ニ於テハ、自然ノ展開ニ俟ツタ
方ガ宜カラウト云フ趣旨デ、餘リ
箱ニ入レタヤウナ取極メハヤリマ
セヌガ、過日モ中央労働委員會
デ、參考案ヲ向フデ作ツテ貰ヒマ
シテ、只今出來テ向フカラ其ノ線
ニ大體沿フコトヲ御示シ下サイマ
シタ、斯ウ云フ中央労働委員會ナ
ドノ案モ一ツデアラウト云フコト
ヲ、參考ニ各位ニ知ラセルヤウニ
進ンデ居リマス

○伊藤(卯)委員 其ノ案ヲ一ツ私
共委員ニモ知ラセテ貰ヒタイト云
フコトヲ御願ヒ申上ゲテ置キタイ
ト思ヒマス、ソレデ其ノ點ハ大體
私共一應ドウ云フ風ニ御考ヘニナ
ツテ進マレツ、アルカト云フコト
ハ分ツタノデアリマスガ、更ニ爭
議ハ漸次少クナルノカト思ツタト
コロガ、事實ハ工場礦山等ニ付テ
見テモ少クナイ、段々激増スルト
云フ傾向ガ、相當大キイ所ニ起ツ
テ來ツ、アリマス、サウ云フ點カ
ラ、例ヘバ石炭ナドモ一ツモ増産
ニナラナイ、或ハ其ノ他ノ工場礦
山等ヲ見マシテモ、大キイ所ナド
ニ於テモ一向復興再建ト云フヤウ
ナコトヲ生産ノ上デ我々ハ見ルコ
トノ出來ナイヤウナ現狀デアアル、
ソコデ私ハサウ云フヤウニ爭議ガ
激増シテ來ル現狀ト云フモノハ、
是ハ一體誰ニ責任ガアルモノカ、
厚生大臣ハ此ノ點爭議ノ責任ヲ
「パーセンテージ」ニ分ケテスレ
バ、資本主義的經營體其ノモノニ

アルノカ、或ハ此ノ急激ニ作ラレ
タ労働組合ニ多クノ爭議ノ責任ガ
アルノカ、或ハ政府ガサウ云フモ
ノニ對シテ無策デアリ、消極的デ
アル、サウ云フ點カラ政府ノ責任
ナノカ、此ノ責任ハ誰ガ負ハナケ
レバナラヌノカ、斯ウ云フ點ニ對
シテドウ云フ見解ヲ持ツテ居ラレ
ルカラ伺ヒタイ

○河合國務大臣 ドウモ一寸爭議
ノ責任ト云フコトニ對シマシテハ
私ハハツキリ分リマセヌ、殊ニ
「パーセンテージ」ニ分ケルト云
フヤウナコトハ到底出來マセヌ、
人間ハヤハリ母親カラ生レタカ父
親カラ生レタカ一寸分ラナイヤウ
ナモノデ、中々此ノ社會現象ヲ捕
ヘテ、斯ウ云フ御尋ネテ下サイマ
シテモ一寸私ニハ――甚ダ不敏デ
アリマスルガ、斯ウ云フ社會狀態
全體ガ原因トシカ私ニハ思ヘマ
セヌ

○伊藤(卯)委員 其ノ點ガ或ル程
度分ラナイト、此ノ激増シテ來ツ
ツアル爭議ヲ、何處ヲドウシタラ
之ヲ少クシテ、復興再建ノ生産意
慾ニ燃エ上ラスコトガ出來ルノ
カ、政治ノ打チドコロノ手ガ私ハ
分ラナクナルト思フノデアリマ
ス、此ノ點ドウ御考ヘニナツテ居
ルガ、私ガソレヲ「パーセンテー
ジ」ト言フノハ、數字デ出セト云
フ意味デヤナイノデアリマス、政
治ヲヤル上ニ對シテ大體ニ於テ其
ノ目星ヲ付ケナイト、政策ヲ立テ

ル上ニ於テモ、法律ヲ作ルニ當ツ
テモ、ドウ云フ風ニ政治ヲヤツタ
ラ宜イノカト云フ私ハ「ボイン
ト」ガ得ラレナクナルト思フノデ
アリマス、サウ云フ意味ニ於テ厚
生大臣ガドウモ今ノ譬語ノヤウナ
コトデ御考ヘニナツテ居ラレルト
云フコトニナルト、此ノ爭議ヲド
ウシテ少クスルカ、出來ルコトナ
ラバ爭議ヲナクスコトガ出來ル
カ、サウ云フモノニ對シテ一體眞
劍ニ御考ヘニナツタコトガアルカ
ドウカ、眞劍ニ御考ヘニナレバ、
自ラ政治トシテハ斯ウ云フ手ヲ打
タナケレバナラヌ、斯ウ云フ施策
ヲ以テシナケレバナラヌト云フコ
トガ、自然ニ私ハ出テ來ルト思
フ、是ガ分ラヌト云フコトニナル
ト、政治ノ建テ方モ分ラヌト云フ
コトニナルガ、是コソ全ク私ガ前
ニ言ツタ無策、消極的デアルト斷
ジナケレバナラヌガ、サウ云フヤ
ウニ私共ガ斷ジテ差支アリマセヌ
カ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○河合國務大臣 サウ云フ風ニ斷
定ヲサレテハ實ハ困リマス、ソレ
ハ責任ト御尋ネニナルカラ私ハ分
ラヌト申上ゲタ、併シ原因ハ略見
當ガ付イテ居リマス、ドウシテ爭
議ヲ起スカ、ソレニ對シテ何處ガ
ドウ云フ責任ヲ負フカト云フ問題
ニナルト、政府トシテ其ノ責任ノ
所在ガ何處ト云フコトヲ、私カラ
答辯申上ゲルノヲ控ヘル譯デアリ
マス、併シナガラ原因ハ何處ニア

ルカト云フコトニ對シテハ、大體
ノ見當ハ付イテ居リマス、サウ云
フ意味ニ於テ、例ヘバ物價問題ナ
リ、生活問題ナリ、或ハ食糧問題
デヌガ、或ハ組合ノ態度ニモ善ク
ナイノモアリマス

〔古賀委員長代理退席、委員
長着席〕
善イノモアリマス、色々ソコニ問
題ガアリマシテ、ソレニ對シテ
具體的ナ方法ハ執リツ、アリマ
ス、又將來モ執ル積リデアリマ
ス、サウ云フ風ニドウゾ御諒承ヲ
願ヒマス

○伊藤(卯)委員 ドウモ一番重大
ナ點ガハツキリシヤイノデ、私ハ
甚ダ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマ
ス、是ガ分ラヌト云フコトニナル
ト、政治ノ建テ方モ分ラヌト云フ
コトニナルガ、是コソ全ク私ガ前
ニ言ツタ無策、消極的デアルト斷
ジナケレバナラヌガ、サウ云フヤ
ウニ私共ガ斷ジテ差支アリマセヌ
カ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

共ハ政府ガサウ云フヤウナ方針デ
アルトスルナラバ、自ラ此ノ法案
ノ取扱ノ上ニ於テモ、私共ハ非常
ナ疑惑ヲ以テ此ノ法案ヲ取上ゲナ
キヤナラナイト云フコトヲ茲ニ一
言シテ置キマス、更ニソレト關聯
モ致シマスガ、私ハ最近ニ於ケル
労働爭議ノ激増シテ來ルコトヲ單
ニ私共ガ生活ノ面カラ取上ゲタト
致シマス、今日使用者側ハ斯ウ
云フコトヲ言ツテ居ル、非常ニ月
給賃金ト云フモノガ高クナツタ、

給賃金ト云フモノガ高クナツタ、

何倍ニナソクト云ウコトノミヲ言
ツテ居ルノデアリマス、月給賃金
サハ拂ツテ行ケバ、又増額ヲシテ
行ケバ、モウソレゾ自分ノ所ノ使
用人ニ對スル責任ハ萬事終レリト
云フヤウナ考ヘ方ガ非常ニ多イ、
月給賃金ヲ拂ツテ居ルケレドモ、
併シコンナニ物價ガ高クナツテ來
ルノデ、一體ウチノ従業員、ウチ
ノ職員ハドウ云フヤウニ物ヲ買ツ
テ生活ヲシテ居ルガラウカ、果シ
テ此ノ仕事ニ専心スルヤウナ生活
ヲシテ居ルガラウカドウガラウ
カ、サウ云フヤウナ點ニ對シテ、
全ク無關心デアルト云フヤウナコ
トガ、私ハ非常ニ多イコトヲ遺憾
ニ屢ニ感じテ居ル、使用主側デ今
日言ツテ居リマスノハ、物ノ高イ
ト云フコトハ、オヒヒニ話サヘ出
レバ、ソレヲ攻撃シテ居ル、併シ
ナガラ労働者職員ガ月給賃金サヘ
上ツタラバ、ドウ云フ生活ヲシテ
居ルカト云フコトニ對シテハ、極
メテ無關心ナコトガ多イノデアリ
マス、斯ウ云フコトガ私ハ爭議ノ
惹起ツテ來ル一ツノ大キナ原因デ
アルト云フコトモ考ヘテ居ル、サ
ウ云フ點カラ此ノ職員デモ労働者
デモ其ノ雇主ニ對シテ生活上ノ信
頼ト尊敬ヲシテ居ラナイ、サウ云
フ點カラ此ノ労働者爭議ト云フモ
ガ次カラ次ニ起ツテ來テ居ルコト
ヲ、私共ハ甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル
ノデアルガ、今日私ハ月給賃金ヲ
拂フト云フコトバカリデヤナク

テ、ドウ云フ生活ヲシテ居ルカト
云フコトニ對シテ、例ヘバ官廳ノ
職員ニシマシテモ、工場鑛山ノ職
員、従業員ニシテモ、サウ云フコ
トヲ相當責任ヲ持つテ考慮ヲシテ
行カケレバナラヌゾト云フヤウ
ナコトニ對シテ、經營者側ニサウ
云フコトヲ指示スルト云フヤウナ
コトニ付テノ御考ヘヲ持つテ居ラ
レルカドウカト云フコトニ付テ伺
ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ御意見ハ
御尤モデアリマシテ、經營者側ナ
リ、使用者側ニ於テ其ノ點マデ勿
論思ヒヲ致スベキモノデアルト云
フコトニ付テハ全ク御同感デアリ
マス、唯政府トシテソレニ對シ
ウ云フ方法ヲ執ツテ居ルカト云フ
御尋ネデアリマスルガ、只今具體
的ニサウ云フ點ニマデ注意ヲセヨ
ト云フヤウナ意味ノ指令ハ出シタ
コトハナイト思ツテ居リマスル
ガ、大體ノ精神ニ於テ、併シ勞資
ト云フモノハサウ云フ態度ニ出ベ
キモノダト云フ考ヘハ持つテ居リ
マス、全般的ニハサウ云フ一ツノ
考ヘヲ持つテ居リマスケレドモ、
勞資問題ニ對シテ特ニ經營者側ニ
對シテ、サウ云フ具體的ナコトヲ
特定のニ指示シタト云フコトハナ
イト思ツテ居リマス

○伊藤(卯)委員 マダ指示サレテ
ナイト云フコトデ、厚生大臣モ極
メテ同感デアルトサレルナラバ、
直チニサウ云フコトニ對シテ具體
的ナ指示事項ヲ作ラレマシテ、ソ
レデ月給賃金ヲ拂ツテ居ルダケデ
ハイカヌシ、其ノドウ云フ生活ヲ
シテ居ルカト云フコトニ對シテ本
當ニ責任ヲ持つテ、斯クシテ安定
感ヲ與ヘテ事業ニ専心出來ルヤウ
ニヤレト云フコトノ指示ヲ下サレ
ルコトヲ此ノ際希望申上ゲテ置キ
マス、其ノ點ハ其ノ程度ガ宜イト
致シマシテハ次ハ労働委員會ノ問
題デアリマスガ、労働委員會ガ勞
働法ノ精神ヲ完全ニ活カス爲ニ
ハ、此ノ委員會ヲ掌ツテ居リマス
所ノ中央地方ノ労働委員會ノ事務
局ガドウ云フ機構構成ニナツテ居
ルカト云フコトガ、是ガ私ハ非常
ニ重大ナ關係ヲ持つモノデヤナイ
カト思ツテ居リマスガ、此ノ事務
局ガ現在完全ニ労働法ノ民主主義
ヲ活シ得テ居ルト思ツテ居ラレル
カドウカ、アノ中央地方ヲ通ジテ
ノ事務局程度デ労働法ノ精神ヲ完
全ニ民主化シテ活カスガノ機能
ヲ持つテ居ルカドウカト云フコト
ニ付テノ御考ヘヲ先ニ伺ヒマス

○吉武政府委員 只今伊藤サンカ
ラノ事務局ニ付テノ御尋ネデゴザ
イマスガ、御話ノ如ク中央地方ヲ
通ジマシテ事務局ガ完全ナ域ニ達
シテ居ナイト私モ存ジテ居リマ
ス、此ノ點ニ付キマシテハ、今後
トモ漸次改善ヲ圖ツテ行キタイト
考ヘテ居リマス

○伊藤(卯)委員 現在ノ事務局ハ
洵ニ官僚機構其ノモノデアリマ
ス、例ヘバ事務局ノ中ニ專任トシ
テ民間カラ採上ゲラレテ事務局ノ
責任者トナツテ居ル人ガ果シテア
ルカドウカ、現在中央地方ヲ通
ジテ其ノ事務局ノ構成人員ヲ見
ルト、殆ド官僚ノ兼務デアリマ
ス、地方ノ如キニ行ケバ、殆ド
警察官ガ特高ヲヤツテ居ツタカ
ナントカ云フ、サウ云フ警察官ガ
此ノ労働事務局ノ總テヤツテ居
ル、ソレカラ中央地方ヲ通ジテ皆
兼務デアリマス、此ノ官吏ガ兼務
ヲシテ居ルト云フコトハ、其ノ時
ノ政府ノ意圖ニ依ツテ絶エズ息
ヲ窺ツテ居ル、サウ云フ所カラ眞
ニ労働法ノ民主主義的精神ニ立
ツテ其ノ事務局ガ此ノ事務ヲ掌ツ
テヤルト云フコトハ出來ナイ、サ
ウ云フコトデハ、例ヘバ中央地方
ヲ見マシテモ、其ノ事務局ノ労働
委員會ノ會長ニナルト云フヤウナ
人モナイ、皆官吏ガナツテ居ル、
或ハ又其ノ豫算ガナイノデ、皆兼
務ヲシテ居ルト云フヤウナコト
デ、労働法自體ハ民主主義的ナ法
律デアリガ、其ノ申核トナツテ之
ヲ運営シ、掌ツテ行ク所ノ、而モ
企畫ヲシ、指導ヲシテ行ク所ノ其
ノ事務局ガ、皆官吏ノ兼務デ、警
察官ノ古手デアリ、サウ云フヤウ
ナコトデ一體此ノ事務局ガ完全ニ
此ノ労働法ノ精神ヲ活カシテ、此
ノ指導企畫ヲシテヤツテ行クコト
ガ出來ルト御考ヘニナツテ居ルカ
此ノ兼務ノ儘デ宜シイト御考ヘニ

ナツテ居ルカドウカ、斯ウ云フ點
ニ對シテ先ニ一ツ御伺ヒシテ置キ
タイ

○河合國務大臣 只今ノ御質問ハ
御尤モデアリマシテ、此ノ労働委
員會ノ構成ハ近イ機會ニ於テ改善
サレルト思ヒマスガ、其ノ機會ニ
出來ルダケ事務局モ獨立ノ專任ノ
人ヲ置カナクチヤナラヌト云フ風
ニ考ヘテ居リマス、或ハ其ノ改正
前ニ於テモサウ云フ機會ガアレバ
シタイト思ヒマスガ、少クトモ改
善ノ機會ニハ出來ルダケ今御質問
ノ趣旨ノヤウナ風ニ變ヘタイト思
ツテ居リマス、變ヘタイト云フコ
トモ是モ政府ノ方デヤルノガサウ
デスカラ早速致シマス

○伊藤(卯)委員 大體私ハ是ハ自
分ノ調査研究ガ足ラヌノカ知レマ
セヌガ、大體私ノ知り得ル範圍デ
ハ全日本ヲ通ジテ專任者ハ民間人
ガ一人シカナイノデヤナイカト思
ツテ居ルガ、マダアリマスカ

○吉武政府委員 實ハ事務局ノ機
構ハ所謂労働委員會ト云フ民主的
ナ機構ノ「スタッフ」トシテノ事
務局デアリマス、隨テ民主的ニ構
成サルベキハ勿論ダト思ヒマスル
ガ、併シ其ノ職員ハ身分トシテハ
ヤハリ官吏、若シクハ囑託デ入ル
譯デアリマス、隨テ民間人ヲ登用
致シマシテモ、ソレハ囑託デアレ
バ囑託ノ身分デアリマスガ、官吏
ノ身分ヲ取得シマス、官吏ニナ
ルノデアリマス、要ハ形式的ナ官

ナツテ居ルカドウカ、斯ウ云フ點
ニ對シテ先ニ一ツ御伺ヒシテ置キ
タイ

○河合國務大臣 只今ノ御質問ハ
御尤モデアリマシテ、此ノ労働委
員會ノ構成ハ近イ機會ニ於テ改善
サレルト思ヒマスガ、其ノ機會ニ
出來ルダケ事務局モ獨立ノ專任ノ
人ヲ置カナクチヤナラヌト云フ風
ニ考ヘテ居リマス、或ハ其ノ改正
前ニ於テモサウ云フ機會ガアレバ
シタイト思ヒマスガ、少クトモ改
善ノ機會ニハ出來ルダケ今御質問
ノ趣旨ノヤウナ風ニ變ヘタイト思
ツテ居リマス、變ヘタイト云フコ
トモ是モ政府ノ方デヤルノガサウ
デスカラ早速致シマス

○伊藤(卯)委員 大體私ハ是ハ自
分ノ調査研究ガ足ラヌノカ知レマ
セヌガ、大體私ノ知り得ル範圍デ
ハ全日本ヲ通ジテ專任者ハ民間人
ガ一人シカナイノデヤナイカト思
ツテ居ルガ、マダアリマスカ

○吉武政府委員 實ハ事務局ノ機
構ハ所謂労働委員會ト云フ民主的
ナ機構ノ「スタッフ」トシテノ事
務局デアリマス、隨テ民主的ニ構
成サルベキハ勿論ダト思ヒマスル
ガ、併シ其ノ職員ハ身分トシテハ
ヤハリ官吏、若シクハ囑託デ入ル
譯デアリマス、隨テ民間人ヲ登用
致シマシテモ、ソレハ囑託デアレ
バ囑託ノ身分デアリマスガ、官吏
ノ身分ヲ取得シマス、官吏ニナ
ルノデアリマス、要ハ形式的ナ官

ナツテ居ルカドウカ、斯ウ云フ點
ニ對シテ先ニ一ツ御伺ヒシテ置キ
タイ

○河合國務大臣 只今ノ御質問ハ
御尤モデアリマシテ、此ノ労働委
員會ノ構成ハ近イ機會ニ於テ改善
サレルト思ヒマスガ、其ノ機會ニ
出來ルダケ事務局モ獨立ノ專任ノ
人ヲ置カナクチヤナラヌト云フ風
ニ考ヘテ居リマス、或ハ其ノ改正
前ニ於テモサウ云フ機會ガアレバ
シタイト思ヒマスガ、少クトモ改
善ノ機會ニハ出來ルダケ今御質問
ノ趣旨ノヤウナ風ニ變ヘタイト思
ツテ居リマス、變ヘタイト云フコ
トモ是モ政府ノ方デヤルノガサウ
デスカラ早速致シマス

○伊藤(卯)委員 大體私ハ是ハ自
分ノ調査研究ガ足ラヌノカ知レマ
セヌガ、大體私ノ知り得ル範圍デ
ハ全日本ヲ通ジテ專任者ハ民間人
ガ一人シカナイノデヤナイカト思
ツテ居ルガ、マダアリマスカ

○吉武政府委員 實ハ事務局ノ機
構ハ所謂労働委員會ト云フ民主的
ナ機構ノ「スタッフ」トシテノ事
務局デアリマス、隨テ民主的ニ構
成サルベキハ勿論ダト思ヒマスル
ガ、併シ其ノ職員ハ身分トシテハ
ヤハリ官吏、若シクハ囑託デ入ル
譯デアリマス、隨テ民間人ヲ登用
致シマシテモ、ソレハ囑託デアレ
バ囑託ノ身分デアリマスガ、官吏
ノ身分ヲ取得シマス、官吏ニナ
ルノデアリマス、要ハ形式的ナ官

吏デアルカドウカト云フコトヨリ
モ、其ノ人ニ眞ニ民主的ナ人ヲ得
ルト云フ御質問ノ趣旨デヤナイカ
ト思ツテ居リマス、我々モ勿論サ
ウ云フ線ニ沿ウテ人選ヲ進メテ居
リマス、隨テ民間人ヲ登用シナガ
ラソレヲ官吏ニ登用シテ置ク場合
モゴザイマスシ、又ソレヲ囑託ノ
身分デ、官吏デハ所謂俸給其ノ他
ノ關係ヲ拘束ヲ受ケル場合ニハ、
囑託ヲ置クト云フ風ナ方法ヲ講ジ
テ居ル譯デアリマス、御説ノヤウ
ニ兼務者ガ非常ニ多ウゴザイマ
ス、是ハ御承知ト思ヒマスケレド
モ、豫算面ニ非常ニ括ラレマシ
テ、豫算ガ非常ニ少イモノデスカ
ラ、片ツ方俸給モサウ云フ安イ俸
給デハ人ヲ得ラレマセヌノデ、勢
ヒ役所ノ人ガ手傳フト云フ形式ヲ
執ツテ居ルノデアリマス、決シテ
役所ノ者ガ手傳フカラ役所ノヤウ
ニスルト云フ趣旨デハゴザイマセ
ヌ、委員會ハ總テ委員長及ビ夫員
ノ合議ノ上デ運用サレテ居ル譯デ
アリマシテ、事務局ハ何等ノ權限
ヲ持チマセヌ、唯其ノ委員會ノ命
ニ依リ調査ヲシ或ハ下働キヲスル
ト云フ狀況デアリマス、而モ是モ
御話ノヤウニ民主的ナ機構ニ作リ
直スゴトハハ至極當然ノコトデ
ゴザイマスルノデ、我々モ努力致
ス考ヘデ居リマス

○伊藤(卯)委員 勞働委員會事務
局其ノモノニ豫算ガ取レナイト云
フコトハモウ御承知ノ通りデアリ

マス、中央勞働事務局ノ豫算ヲ私
共ソレトナシニ調査シテ見マス
給仕一人一年間ノ豫算ガ五圓、小
使一人十二圓ト云フ豫算ヲ組ンデ
居ル、一體一年間五圓デ給仕ニナ
リテモナカラウシ、一年間十二圓
デ小使ガ儲ヘルト云フ道理モナカ
ラウ、ト云フ譯デ、アノ豫算ヲ見
テ私ハ洵ニ馬鹿々々シイ名稱ト金
額ヲクツ付ケタモノダト云フコト
ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、段
段調査ヲシテ見ルト云フト、例ヘ
バ會長ニ二千圓、非常ニ忙ガシイ
ノニ、一年間ニ二千圓位デハ是モ
ナリテガナイ、サウ云フコトデ豫
算ガナイカラシテ、會長ヲ輔佐ス
ル智能ノ「スタッフ」ト云フカ、
「ブレン」ト云フモノガ置ケヌ
ト云フヤウナコトデ、本當ニ官吏
ノ警察官上リト云フカ、サウ云フ
人達ガ唯兼務デ片手間ニヤツテ居
ルト云フヤウナコトダケデ、ソコ
ニハ何等ノ新シイ企業性ト云フモ
ノモ、ソレカラ創造指導性ト云フ
モノモアリ得ル道理ハナイ譯デア
ル、斯ウ云フ點ヲ私ハ眞劍ニ御考
ヘニナツテ御取上ゲニナラヌト云
フト、此ノ勞働組合法ニ基ク所ノ
勞働協約ナリ、或ハ勞働委員會ナ
リ、或ハ更ニ經營協議會ナリ、斯
ウ云フ問題ニ對シテソレ／＼回答
ヲ與ヘ、自ラ積極的ニ企畫ト指導
ヲ以テヤウテ行ク所ニ此ノ勞働事
務局、勞働委員會ノ使命ガアルト
思ツテ居ル、唯爭議ガ起ツテ來タ

カラ之ヲドウスルカ、或ハ訴ヘテ
來タカラ之ヲドウスルカト云フ、
サウ云フ受身ノ立場デナクテ、私
ハ寧ロ勞働法ノ精神ヲ體シテ、事
務局ヲ中心ニシテ勞働委員會ト云
フモノハ積極的ナ企畫ト創造ト指
導性ヲ以テヤウテ行ク所ニ、勞働
法ヲ中心ニスル新シイ勞資關係ノ
態勢ガ確立スルト、私ハ斯ウ思ツ
テ居ルノデアリマスガ、サウ云フ
重大ナル使命ヲ持タサレテ居ル、
所ガ今申シタヤウナモノニ貧弱諸ル
ニ足ラヌト云フヤウナ狀態ヲ見テ
私ハ一體本氣デ其ノ勞働法ヲ中心
ニシテ勞働委員會ナリ或ハ勞働協
約ナリ、經營協議會ナリ、新シイ
態勢ノ指導ト云フモノヲ確立シヨ
ウト云フ御考ヘガアルノカドウカ
ト云フコトニ、私甚ダ疑惑ヲ持ツ
テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ
點ニ對シテ私ハ現在ハサウ云フ狀
態デアツテモ、今後斯ウシテ行ク
ノダト云フコトヲモウ少シ具體的
ニ厚生省トシテソレニ對スル方
針ヲ私ハ明確ニシテ貰ヒタイト思
ヒマス

○河合國務大臣 只今御指摘ノ通
リデアリマシテ、私モ實ハ勞働委
員會ニ於ケル豫算關係ヲ聽イテ驚
イタ次第ナンデアリマス、ソレデ
出來ルダケ近イ機會ニ於テ、ドウ
云フ方法デソレヲ填補スルカハ、
是ハ財政當局トノ交渉ニモ依リマ
スノデ分リマセヌガ、或ハ豫備金
デモ取レルモノカ——此ノ豫算ニ

ハ今週ツテ末端ノ細カイ問題ヲ組
替ヘル譯ニハ行キマセヌガ、豫備
金デモ取レルモノカ、或ハ出來ル
ダケ近イ機會ニ於ケル追加豫算ニ
デモ計上スベキモノカ、何等カノ
方法ヲ以テ、モツト勞働委員會ト
云フモノガ十分ニ運営出來ルト云
フ風ニ豫算の措置ヲ講ジナクテハ
ナラヌト云フコトニ付テハ御同感
デアリマスノデ、出來ルダケノコ
トヲ致ス積リデ居リス

○伊藤(卯)委員 厚生省ニ五十萬
圓ト云フ何カ調査豫算カ何カガ
ルラシイガ、其ノ豫算ノ中カラ此
ノ中央勞働事務局若シハ地方府
縣ニ對シテモソレヲ幾ラカヅ、雀
ノ涙程割イテヤウテ居ルト云フコ
トニナツテ居ルノデスガ、ドウナ
ンデスカ

○吉武政府委員 アノ五十萬圓ノ
調査費ハ、中央勞働委員會ノ調査
ニ使フト云フコトデ取ツタ豫算デ
アリマスカラ、地方ヘ分ケル譯ニ
ハ行カナイカト思ツテ居リマス

○伊藤(卯)委員 地方ノ勞働事務
局ニハ政府カラノ經濟的ナ補助ト
云フモノハ現在ヤウテ居ラヌカ
ドウカト云フコトヲ併セテ伺ヒタ
イノデアリマスガ、更ニ延長シマ
シテ、勞働委員會ト云フモノガ、
此ノ中央勞働事務局ト云フモノヲ
ドウシテモ地方ニ延長サセネバナ
ラヌト云フヤウナコトガ現實ノ問
題トシテ私ハ起ツテ居ルヤウニ思
フノデスガ、其ノ理由ハ例ヘバ一
ツノ會社ガ幾縣カニ互ツテ同一事
業場ヲ持ツテ居ル、或ハ礦山ヲ持
ツテ居ルトカ或ハ紡績業ヲ持ツテ
居ルトカ、サウ云フコトデ幾縣ニ
モ互ツテ其ノ事業場ヲ持ツテ居
ル、サウスルト其ノ事業場ノ勞働
組合ハ、ソレ／＼其ノ事業場ニ勞
働組合ノ聯合會ノ組織ヲ持ツテ居
ル、サウスルト其ノ勞働組合ノ聯
合會ト其ノ會社ノ本社ト勞働協約
ヲ締結スル、爭議ガ起ツテ來タ場
合ニ、要求書ヲ一體何處ニ訴ヘテ
宜イノカ、何處ガ主體ニナツテソ
レヲ取上ゲテ解決スル權能ヲ持ツ
ノカ、此ノ點ガドウモ一府縣ノ勞
働委員會ガケデハソレヲ處理スル
コトガ出來ナイト云フ現狀ニナツ
テ來テ居ルト私ハ思フノデスガ、
其ノ點カラ中央勞働事務局トシテ
ソレ／＼ノ區域ニ互ツテ出張所ノ
ヤウナモノデモ作ルト云フカ若シ
クハ又ソレ等ヲ本社ヲ中心ニシ、
其處デドウ云フ風ニ之ヲ解決シテ
ヤルト云フコトニ付テノ何カ御考
ヘガアラレルカドウカ、此ノ點ヲ
先ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○吉武政府委員 中央勞働委員會
ト地方勞働委員會ハヤハリ管轄ヲ
別ニ致シマセヌト、ソコニ權限ノ
重ナリ合ヒガアリマスト、解決其
ノ他ノ點デ面倒ナコトガ起ル、隨
テ地方的ニ起ツタ勞働問題ハ地方
ノ勞働委員會ガ解決スル、ソレカ
ラ二府縣以上ニ互リマシタ場合ニ
ハ、何處カノ縣ヲ指定シテ決メル

カ、或ハ中央勞働委員會デ決メルト云フ風ニシテ居リマス、隨テ中央勞働委員會事務局ノ支部ヲ地方ニ置クト云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、併シナガラ御話ノヤウニ中央ト地方トハ非常ニ關聯ガ消イモノガゴザイマス、隨ヒマシテ中央勞働委員會デ決議ニナリマシタ事項或ハ決議サレタ事項等ハ、逐一地方委員會ニ速報シテ連絡ヲ取ツテ居ル譯デアリマス

○伊藤(卯)委員 其ノ點ガマダハツキリセズ、又敏速ニ行カナイ爲ニ幾縣カニ跨ツテ居ル爭議ノ解決ヲ徒ラニ長引カシテ居ル、ソレカラ勞働委員會ノ取上ゲル其ノ主観性ニ付テ、勞働委員會デモ間誤ノイテ居ルト云フヤウナコトモ聞クノデアルガ、此ノ點ニ對シテハツキリ、又敏速ニ指示シテ貰ヒタイ此ノ點ハ希望トシテ申上ゲテ置キマス

ソレカラ私ハ更ニ新シク最後ニ質問致シタイと思ヒマスコトハ、御承知ノヤウニ敗戦日本ヲ再建スル爲ニハ日本ハ戰爭ヲ拋棄シタ、自衛權モ持タナイト云フ未ダ世界ニ類例ノナイ憲法ヲ此ノ度制定スル譯デアリマス、其ノ點カラ今後ノ日本ハ平和國家、文化國民トシテ茲ニ新シク再出發スルコトニナツタ、今後我々ガ平和的ニ文化的ニ優秀ナル日本國民トシテ成長發展スルカ否カ此ノ國ノ運命ヲ決定スルノデアラウト云フ極メテ重

大ナル現狀ニ立タサレテ居ルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、憲法ニ於テモ戰爭ヲ拋棄シ、自衛權ヲ持タナイト云フコトヲ世界ニ發表シテ、文化國ヲ以テ誇ル私共ハドウモ國內ニ於テ社會問題、勞働爭議等ノ問題ガ頻發シテ、絶エズ國內ニ物情騷然タルモノガアル、斯ク云フコトヲ世界ニ見セルヤウデハ、何ダ日本ハ憲法ヲ作ツテ平和國家、文化國家ト言ツテ居ルケレドモ、國內ヲ見ルトサウ云フ香ヒモシナイデヤナイカト云フコトニナツテ、自ラ日本ノ重大ナルアノ憲法ヲシテ、又新シイ平和國家、文化國家ヲシテ彼等ニ納得セルコトガ出來ナイデハナイカ、納得サスコトガ出來ヌナラバ日本ノ將來ノ凡ユル發展ノ上ニ非常ニ影響スル所ガ重大デハナイカ、斯ク云フヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ對シテ私ハ厚生大臣ノ根本的ナ信念ヲ先ニ伺ツテ置キタイと思フノデアリマス

○河合國務大臣 憲法ノ戰爭拋棄ニ關スル規定ト關聯シテ、國內ノ爭議ヲ成ベク起ラヌヤウニスルコトガ宜イノデハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、全く同感デアリマシテ、出來ルダケ爭議ヲ未然ニ防止スル、防止ヲシマスニハ其ノ原因タルベキ事項ヲ成ベク排除シナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、食糧問題ノ解決ナリ、經濟ノ

回復ナリ、人心ノ安定ナリ、又勞働者ノ文化生活ノ潤澤化ト云フヤウナ所ニ伺ツテ主力ヲ注イデ行カナクテハナラヌコトハ御同感デアリマス、唯今斯ウ云フ終戦後ノ混亂時代ト云フヤウナモンデスカラ、意餘ツテドウモソコマデ全國ノ力ノ及バヌノハ甚ダ遺憾トスル次第デアリマスガ、政府モ出來ルダケノ努力ヲシマシテサウ云フ方針ニ持ツテ行キタイト云フ覺悟デアリマス

○達澤委員長 伊藤君ニ御諮リ致シマスガ、商工大臣ニ對スル御質問ガアリマスカ

○伊藤(卯)委員 厚生大臣ニ對スル質問ハモウ少シデ終リマスカラ、其ノ後ニシタイと思ヒマス

○達澤委員長 ソレデハドウゾ

○伊藤(卯)委員 先般本會議デ遞信大臣ガ、自分ノ所ノ問題ハ勞働協約ト經營協議會デ完全ニ旨クヤツテ行ケル自信ヲ持ツテ居ルト非常ナ大見解ヲ切ツテ答辯サレタノデアリマスガ、遞信大臣ガサウ云フ自信ヲ御持チニナツテ居ルトスルナラ、私ハ農林省ニ於テモ、厚生省ニ於テモ、商工省ニ於テモ政府關係或ハ官廳關係、サウ云フ所ニ於テモ恐ラク遞信大臣ノ自信ト同ジヤウナ自信ヲ各大臣トモ持ツテ居ラレダラウ、政府モサウ云フ自信ヲ持ツテ居ラウト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ點ニ對シテ遞信大臣ガ言ハレタヤウ

ナコトヲ政府トシテ何カ協議デ話合ヒニナツタカドウカ、御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○河合國務大臣 遞信大臣ノ御話ニナツタコトハ私能ク存ジマセヌ、今初メテ承ツタノデアリマスガ、全體ノ國務大臣ガサウ云フ風ニシテ處理シテ行カウト云フヤウナコトヲ閣議デ決メタコトハアリマセヌ

○伊藤(卯)委員 今私共ガ審議ヲ致シテ居リマス勞働關係調整法デアリマスガ、是ハ官吏、公益事業ニ從事スル人々ノ罷業ヲ防止スルコトハ、國家國民ニ極メテ重大ナ影響ガアルト云フ所カラ、此ノ勞働關係調整法ヲ提案サレタルノデアリマス、所ガ罷業ト云フモノガソレ程國家國民ニ重大ナル影響ガアリトスルナラ、又アルノデアリカラ、サウスレバ當然此ノ官吏及ビ公益事業ニ從事サレル總テノ人々ノ生活權ト云フモノニ對シテ國家國民ハ責任ヲ持タナケレバナラヌダラウト私ハ思フノデス、例ヘドウ云フヤウナ待遇ヲ受ケテ居ルカ、ドウ云フヤウナ生活ヲシテ居ルカト云フヤウナコト、私ハソレハ國家國民ガソレニ對シテ責任ヲ持タナケレバナラヌノデハナイカト思ツテ居リマス、唯一片ノ爭議ヲヤルコトヲ時間的ニ抑ヘル法律ヲ作ツタケデハ相濟マス、斯ウ私ハ思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ對シテ厚生大臣ハドウ云

フヤウニ御考ヘニナツテ居ラレマスカ

○河合國務大臣 是ハ現業員以外ノ官吏ト云フ問題ト、ソレカラ法律ニ決メマシタ公益事業ニ從事シテ居ル人々ニ對スル問題トノ二ツハ、ヤハリ自カラ性質ガ違フノデハナイカト思ヒマス、一ツハ爭議ヲヤツテハナラヌト云フ問題ニナツテ居リマスガ、一ツハ豫告ヲ與ヘテト云フ問題ニナツテ居リマスカラ、自カラ其ノ性質ガ違フト云フコトヲ先ツ前提ト致シマシテ、生活ヲ保障シテ行カナクテハナラヌト云フ問題ハ、此ノ度ノ憲法ニ於キマシテ、國民全體ニ對シテ政府ノ與ヘラレタ責任ニナツテ居ルコトデアリマスカラ、廣ク國民全體ニ責任ヲ持ツテ行クベキコトハ、是ハ言フマデモナイコトデアリマスガ、特ニ官吏ニ付テハ爭議權ト云フ勞働條件ガ制限サレテ居ルカラ、其ノ意味ニ於テ官吏ノ生活權ト云フモノニ對シテハ、特ニ重大ナ關心ヲ拂ツテ行カナクテハナラヌト云フコトハ、疑ヒナイコトダト私ハ考ヘテ居リマス

○達澤委員長 伊藤君ニ一寸御諮リ致シマスガ、午前中ノ委員長ノ要望ニ致シテ、今文部當局ト厚生大臣カラ發言ヲ求メテ居ラレマスカラ、大變御迷惑デアリマスガ

○伊藤(卯)委員 一寸待つテ居リマス

○長野政府委員 日本ノ再建ニ付

テハ、究極スル所國民ノ勞働ガナケレバナラス、就テハ教科書ノ中ニ勞働ノコトニ付テ特ニ内容ヲ差込ム必要ガアルデハナイカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、全ク御同感デアリマシテ、是カラノ日本再建ニハ、國民ガ精神的ニモ、肉體的ニモ勞働スルコト、即チ國民ノ勤勞ノ結果コソ最モ大事ナ、根本的ナモノト存ジマス、隨ヒマシテ實ハ文部省ト致シマシテモ是カラノ教育ハ行學一體、學ブト云フコトハ單ニ知識ヲ取入レルコトデナクテ勤勞スルコトデアル、此ノ趣旨ニ依ツテ推進メタイト存ジテ居リマス、加フルニ最近ノ傾向ト致シマシテ、子弟ノ修學ニハ巨額ノ經費ヲ要スルコトニナリマシタ、國民ノ産業的、財政的、經濟的生活ノ現狀カラ見マシテ、非常ナ茲ニ困難ヲ迎ヘテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ付テハヤハリ學生生徒ガ自ラ働キ、以テ學ブト云フ氣風モ相當加味シナケレバナラナイト存ジテ居リマス、斯様ナ次第カラ致シマシテ、御質問ノ御趣旨ノ如ク、行學一體、勤勞ヲ尊重スルコト云フ建前デ進マナケレバナラスト存ジマスガ、殊ニ教育上大切ナ教科書ノ中ニ、是等ニ關聯スル内容ヲ盛り込ムコトハ申スマデモナク大切ナコトニナツテ來ルノデアリマス、御質問ノ要點トシマシテ、勞働ノ重要性及ビ其ノ意欲ノ昂揚ヲ圖ル文章、實例ト云フモノ

ヲ御指摘ニナツテ居ラレマスガ、全ク左様ニ致シタイト存ジテ居リマス、更ニ道義ノ昂揚ヲ此ノ點ニ結付ケル必要ハナイカト云フ御趣旨デゴザイマスガ、是レ亦全ク御同感デアリマシテ、今後ノ教育ハ社會ノ何等カノ部分ヲ分擔シ、之ニ全身全靈ヲ傾倒スルコトヲ以テ職業ヲ果スモノデアアル、此ノ個人ノ職責ノ原理ニ從ヒマシテ至誠其ノ職務ニ邁進スル所ニ、自ラ眞ノ道義ガ生レ出テ來ルコトヲ考ヘテ居リマスノデ、斯様ナ意味ニ於テ精々御趣旨ニ副ヒマシテ、有效ナル内容ヲ教科書ノ中ニ盛りマスコトヲ茲ニ御誓ヒ申上ゲル次第デアリマス（拍手）

○河合國務大臣 先程委員長カラ委員會全體ノ御意見トシテ勤勞ノ重要性ト云フコトニ付テ要望ガアリマシテ、政府ニ於テモ至極御尤モ、同感至極ニ存スル譯デアリマス、ソレデ只今ノ日本ノ現狀ハ、資源地帯ガナクナツタ關係上、ドウシテモ或ハ農業ノ面ニ或ハ工業ノ面ニ、鑛山業ノ面ニ、凡ユル面ニ深く入ツテ行キマシテ、所謂委員長ノ言葉ヲ其ノ儘申シマスレバ、無カラ有ラ生ズルト云フコトニ精進シテ行カナケレバ是ガ打開ノ途ガナイノデアリマス、一方サウ云フ風ニシテ、多數ノ人口ヲ狹イ領土内ニ於テ之ヲ安定サセテ行クト云フコトニナツテ來マス、自然ソコニ南洋方面ナリ或ハ大陸

方面ナリニ對スル纖維雜貨其ノ他ノ貿易品モ其ノ必要ニ應ジテ出來テ來ルデハナイカ、サウスレバソレニ應ジテ資材モ原料モ外國カラ仰グコトガ出來ル、ソレニ依ツテ再建スル以外ニ途ガナイコトハ明瞭デアリマシテ、全ク國民ノ勤勞意欲其ノモノデ國ヲ再建シテ行クト云フコトニ前進シタイト思ヒマス、委員長ノ御發言ニ對シテハ喜ンデ政府モ之ヲ容レマシテ、之ニ對シテ努力致スコトラ御誓ヒ申上ゲル次第デアリマス

ソレカラ尙ホモウ一ツ世界勞働組合ニ對シテ日本ノ勞働組合ガ參加シテハドウカト云フ御話デアリマシタ、此ノ點モ御尤モデアリマシテ、出來ルデケ近イ機會ニ於テサウ云フ時期ノ到來スルコトヲ希望シテ已マヌ次第デアリマス、其ノ時期ノ問題ニ付キマシテハ是ハ勿論先方ノ意向ガ中心ニナルコトデアリマシテ、明瞭ニハ勿論分ラヌガ、少クトモ講和條約前後ヲ以テ是非加入サシテ戴ケレバ非常ニ結構デアルト政府ハ考ヘテ居リマス、但シ是ハ主トシテ勞働組合ノ自發的ノ問題ガ重點ヲ占メテ居リマシテ、勞働組合ガ健全ナル發達ヲ遂ゲマシテ、世界ノ勞働組合ニ入ツテモ宜シイト云フ風ニ向フカラ言ウテ來ルヤウナ機運ガ早ク到達センコトラ、朝野トモ期待シテ已マヌ次第デアリマス（拍手）

○伊藤卯委員 私ハ最後ニ之ヲ

結論的ニ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、今厚生大臣ガ言ハレタヤウニ、官吏ハ爭議ヲヤツテハイカス、ソレカラ公益事業ニ從事スル者ハ此ノ法案ニアリマスヤウニ制限サレテアル、ソコデ私ハ先ニモ申シマシタヤウニ、官吏、公益事業ニ從事スル人々ハ爭議ヲヤツテナラス程國家國民ニ重大ナル關係ノアル所ニ其ノ職務ヲ奉ジテ居ルノデアリマス、ソレダケニ又國家國民モ此ノ人々ニ生活ノ不安ナカラシメテ、其ノ職務ニ忠實ニ勤クコトノ出來ルヤウニ、ヤハリ當然ノ責任ト義務ヲ我々モ亦負ハナケレバナラスト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ官吏ト同時ニ公益事業ニ從事スル人々ガドウ云フ生活ヲシテ居ルカ、ドウ云フ待遇ヲ受ケテ居ルカト云フヤウナコトヲ調査ラシ、審議ラシ、決定ラスルヤウナ、特別ノ國家ニサウ云フ機關ヲ作ラレルト云フ御意思ガアルカドウカ、例ヘバ官吏ノ職員組合或ハ公益事業ニ從事スル諸君ノ勞働組合、サウ云フ代表者ヲ參加セシメ、或ハ雇主側デアアル所ノ政府、或ハ公益事業ノ事業主、更ニソレニ民間ノ專門ノ權威者、サウ云フヤウナ人々ヲ以テ、此ノ人々ノ生活ヲ不安ナカラシメテ行クヤウニ解決ラシテヤル、絶エズ國民ノ標準生活ノ待遇ヲ受ケテ居ルカドウカト云フコトヲ、此ノ機關ガ調査ラシ、審議決定ラスルト云フヤ

ウナモノヲ作ソテヤルト云フコトハ、國家國民ノ當然ノ義務デアリ責任デハナイカト考ヘテ居リマス、唯爭議ヲヤツテハナラス、或ハ公益事業ノ爭議ハ兎ニ角斯ウ云フ風ニ抑ヘテ居ルト云フコトダケデハ、私ハ到底此ノ安定ヲ維持スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、是ハヤハリサウ云フ大事ナ所ニ働イテ居ツテモ窮鼠猫ヲ嚙ムト云フコトモアリマス、昔御承知ノヤウニ判檢事デサヘモ、ヤハリ生活苦ノ時ニハ「ストライキ」ヲヤツタ、全國的ニ連絡ヲ取ツテヤクコトナドモアルノデアリマス、ガカラ國家ノ爲ニ大事ナ諸君デアリマスカラ、ソレニ對シテハ、生活待遇ヲアレニ託シテ置ケバ宜シイト云フ機關ヲ構成シテ、此ノ機關ニ依ツテヤルノダカラト云フ一ツノ安心感ヲ與ヘルト云フコトハ當然政治ノ上ニ於テ我々ガ執ラナケレバナラヌ責任デハナイカト思ヒマスガ、此ノ點ニ對シテ厚生大臣ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ伺ヒタイ

○河合國務大臣 只今ノ御質問ノ趣旨ハ御尤モデアリマシテ、私モ全ク同感至極デアリマス、早速サウ云フ風ナ制度ヲ立デマスコトニ付テ具體的ニ考ヘタイト思ヒマス、何レ勞働問題ニ對スル官廳ノ機構ガ變ハルコトモ成ベク早ク決定シタイト思ツテ居リマス、或ハソレニ關聯シマスガ、ソレト離レ

第六類第十一號 勞働關係調整法案委員會議錄 第九回 昭和二十一年八月五日

一三九

テカ、兎角サウ云フ線ニ沿ウテ具體的ノ研究ヲ進メルコトニ致シマス（拍手）

○遠澤委員長 伊藤君、大分時間が経過シテ居リマスノデ、河合厚生大臣ハ豫算委員會ノ方カラ、大分前カラ要求ガアリマスカラ：

○伊藤（卯）委員 モウ一點ダケデ終リマス、今ノ人的ナ構成ノ問題ニ付テデアリマスガ、其ノ場合ニ勞働組合ノ、例ヘバ職員組合ナリ、公益事業ノ勞働組合ナリ、サウ云フ諸君モ参加ヲサセテ構成スルモノデアルト云フ御考ヘデアルカドウカ、イマ一應御伺ヒ致シマス

○河合國務大臣 ソレハ當然加ヘマス

○伊藤（卯）委員 ソレデハ厚生大臣ニ對スル質問ハ以上ヲ以テ打切ルコトニ致シマス、石炭廳ノ方ハ：

○遠澤委員長 石炭廳ノ方モ商工政務次官モ見エテ居リマスカラ、成ベク簡單ニ要旨ヲ御尋ネ下サイ

○伊藤（卯）委員 ソレデハ要點ダケヲ一ツ御伺ヒ致スコトニ致シマス、石炭ノ増産ノ問題ニ付テデアリマスガ、實ハ先般カラ「アメリカ」側ノ方カラモ特ニ石炭ノ重要性ニ鑑ミマシテ、輸入放出米ヲ賣ツテ居ル、サウ云フコトデ食糧ノ問題ハ可成リ解決ヲサレツ、アルノデアリマスガ、石炭ガ一向増産ニナラナイ、ノミナラズ爭議ハ依

然トシテ大キナ爭議ガ増加シテ行クノデアリマス、斯ウ云フ現狀デアレバ石炭ノ増産ハ何時ニナツテ望メルカ、國民ハ此ノ點ニ對シテ不安ヲ持ツデアラウト私ハ思ツテ居ルノデアリマスガ、石炭ノ増産ハ斯クシテ必ズ増産ガ出來ル、斯ウ云フ點ニ對シテ石炭廳ノ方デ具體的ナ、國民ヲ納得サセルコトノ出來ル案ガアルナラバ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡松政府委員 石炭ノ生産ニ付キマシテハ世間デ中シマス所謂隘路ト稱スルモノガ色々アルノデゴザイマス、其ノ中ニ於キマシテモ、一番石炭ノ生産ヲ阻ンデ居リマシタノガ食糧ノ不足、食糧ノ不安ト申スモノデアツタノデハナイカト私共ハ考ヘルノデアリマス、所謂勞働爭議等ニ於キマシテ待遇改善ノ叫バレマスノモ畢竟スルニ食糧ヲ取得スル爲ノ必要ナル資金ヲ獲得スルト云フコトガ大キナ目的デアツタ、是ハ勞働爭議ノ實際ノ要永ノ面ニモ掲ゲラレテ居ツタヤウナ次第デアツタノデゴザイマス

海道、九州方面ノ食糧ノ問題モ解決ヲ見マシテ、私共ノ見込ミニ於キマシテハ此ノ八月以降ニ於テ漸次出炭數量ヲ増シ、九月、十月以降ニ於テハ完全ニ當初ノ目標ノ線ニ到達スル、ソレ以後ニ於テハ逐月増産ノ歩調ヲ進リマシテ、本年度内ニ當初ノ目標デアアル二千三百萬「トン」ヲ確保致スト云フ所ヲ第一ノ目安トシテ進ンデ參ツタノデゴザイマス、尤モ此ノ外ニ大イナル石炭増産ヲ阻ム隘路トシテ所謂資金ノ問題、石炭ノ買上價格ノ問題、ソレカラ新圓ノ獲得ノ問題等モゴザイマシタノデアリマスガ、是モ略々近ク議會ニ提案ニナリマス、追加豫算ヲ以テ解決ヲ見ルト云フコトガ考ヘラレマスノデ、大體從來考ヘラレマシタ隘路ト云フモノハ打開ヲサレテ居ル、勿論其ノ地方々々ノ事情、各炭礦ノ事情等ニ依リマシテ爭議ガ起ルト云フコトハ、是ハ私共モ勿論希望ハ致サナイ點デアリマスガ、事實問題トシテ現在モ爭議ハ起ツテ居ルノデアリマス、關係方面ト協力致シマシテ、是ガ解決ヲ圖ツテ居リマスノデ、非常ニ困難ナ、長引クヤウナ爭議ニ發展シテ行クコトハナインノデハナイカト考ヘテ居リ、又ソレニ向ツテ關係方面ト協力合ハセテ努力ヲシテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ風デ、結局ハ色ンハ不明確ナ點ヲ綜合シテ見透シデハゴザイマスルガ、從來石炭ノ生

産ヲ阻ンデ居リマシタ大キナ隘路ハ解決ヲ見テ居リマスノデ、九月位ヲ轉期トシマシテ目標ノ線ニ達シ、尙ホソレヲ凌駕スルヤウナ方向ニ進ムモノト我々ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○伊藤（卯）委員 資金ノ問題等ハ分リマシタ、最モ今炭礦ノ生産隘路、減産ノ大キナ理由ノ一ツニナツテ居ルノハ、ヤハリ資材ノ問題デアリマス、例ヘバ炭礦關係ナド私共ガ調べテ見ルト「モーター」デアルトカ「ポンプ」デアルトカ、其ノ他色々サウ云フ機械類ト云フモノハ、三分ノ二位ハ其ノ部分品ガナイ爲ニ修理ガ效カナイデ、兩隣シカ倉庫ノ中ニ詰メテアルト云フ狀態デアリマス、サウ云フ所カラ炭礦災害ニ對應スル設備ハナイ譯デアリマス、持ツテ居ルケレドモ、ソレハ部分品ガナイカラ兎ニ角ドウスルコトモ出來ナイト云フコトデアリマス、ダカラ私ハ此ノ機械器具ノ解決ヲヤルコトガ極メテ重大ナ一ツデアルト思ツテ居ルノデスガ、之ニ對シテハ炭礦其ノモノニハナイノデアリマスカラ、從來ノ軍需工關關係ト云フカ、戰爭中サウ云フ工場ニ相當是等ヲ修理シ得ル部分品ト云フカ機械類ノアルコトヲ知ツテ居ルノデアリマス、所ガ是ガ商工省內ニ於テモ各局別ニ割據サレテ居リマシテ、是デハ到底石炭廳ノ方デモ、他ノ方面ノコトハ分ラナイシ、如

何トモ手ノ付ケヤウモナイト云フノデ其ノ儘放置シテアルト言ハザルヲ得ナイノデアアルガ、商工省トシテ省議ト云フカ、綜合企畫ト云フコトニ依ツテ炭礦資材ノ不足ノ解決ヲヤラレヨウトスルナラバ、自ラ解決ノ途ガソコニ出テ來ルト思フノデス、サウ云フ點ニ對シテ、此ノ不足ノモノヲ解決スル爲ニ綜合企畫ヲ樹テ、商工省管下ニ於テ何處々々ニドウ云フモノガ幾ラアル、是等ノモノヲ全部舉ゲテ、炭礦ノ足ラザルモノノ部分品ナリ其ノ他ノモノヲ之ニ依ツテ解決ヲシテヤル、サウ云フ省議ヲ開イデ、綜合企畫ニ依ツテ解決シテヤルト云フ御考ヘガアルカドウカト云フコトヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○岡松政府委員 只今資材ノコトニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタガ、洵ニ御尤モナ次第デゴザイマシテ、現在以上ノ生産ヲ擧ゲテ行クト云フコトニナリマスレバ次ニ問題ニナツテ來ル、所謂隘路ハ資材デゴザイマス、殊ニ其ノ中ノ只今御指摘ナリマシタ機械類ハ豫メ能ク手配ヲ致シテ置キマセヌト、愈々足リナクナツタカラ云ト云テ急ニ之ヲ賄フコトガ出來ナイモノデゴザイマスノデ、商工省ト致シマシテモ是ガ爲ニ計畫的ニ資材ヲ用意スル案ヲ以テマシテ――所謂我々ノ用語デマル炭ト呼ンデ居リマスガ、炭礦ノ生産維持並ニ計畫的増産遂行ノ爲ニ必要ナ資材

何トモ手ノ付ケヤウモナイト云フノデ其ノ儘放置シテアルト言ハザルヲ得ナイノデアアルガ、商工省トシテ省議ト云フカ、綜合企畫ト云フコトニ依ツテ炭礦資材ノ不足ノ解決ヲヤラレヨウトスルナラバ、自ラ解決ノ途ガソコニ出テ來ルト思フノデス、サウ云フ點ニ對シテ、此ノ不足ノモノヲ解決スル爲ニ綜合企畫ヲ樹テ、商工省管下ニ於テ何處々々ニドウ云フモノガ幾ラアル、是等ノモノヲ全部舉ゲテ、炭礦ノ足ラザルモノノ部分品ナリ其ノ他ノモノヲ之ニ依ツテ解決ヲシテヤル、サウ云フ省議ヲ開イデ、綜合企畫ニ依ツテ解決シテヤルト云フ御考ヘガアルカドウカト云フコトヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○岡松政府委員 只今資材ノコトニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタガ、洵ニ御尤モナ次第デゴザイマシテ、現在以上ノ生産ヲ擧ゲテ行クト云フコトニナリマスレバ次ニ問題ニナツテ來ル、所謂隘路ハ資材デゴザイマス、殊ニ其ノ中ノ只今御指摘ナリマシタ機械類ハ豫メ能ク手配ヲ致シテ置キマセヌト、愈々足リナクナツタカラ云ト云テ急ニ之ヲ賄フコトガ出來ナイモノデゴザイマスノデ、商工省ト致シマシテモ是ガ爲ニ計畫的ニ資材ヲ用意スル案ヲ以テマシテ――所謂我々ノ用語デマル炭ト呼ンデ居リマスガ、炭礦ノ生産維持並ニ計畫的増産遂行ノ爲ニ必要ナ資材

何トモ手ノ付ケヤウモナイト云フノデ其ノ儘放置シテアルト言ハザルヲ得ナイノデアアルガ、商工省トシテ省議ト云フカ、綜合企畫ト云フコトニ依ツテ炭礦資材ノ不足ノ解決ヲヤラレヨウトスルナラバ、自ラ解決ノ途ガソコニ出テ來ルト思フノデス、サウ云フ點ニ對シテ、此ノ不足ノモノヲ解決スル爲ニ綜合企畫ヲ樹テ、商工省管下ニ於テ何處々々ニドウ云フモノガ幾ラアル、是等ノモノヲ全部舉ゲテ、炭礦ノ足ラザルモノノ部分品ナリ其ノ他ノモノヲ之ニ依ツテ解決ヲシテヤル、サウ云フ省議ヲ開イデ、綜合企畫ニ依ツテ解決シテヤルト云フ御考ヘガアルカドウカト云フコトヲ一ツ御伺ヒ致シマス

ヲ製造セシムル爲ニ必要ナ石炭ハ、之ヲ優先的ニ配給セシメルト云フ制度ヲ設ケマシテ、此ノ年度ニ入りマシテ以來計畫生産ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯併シナガラ只今ノ御質疑ノ中デ機械類ノ三分ノ二ハ破損シテ居ルト云フ御言葉ガアリマシテ、私モ大要觀察ヲ致セバサウ云フヤウナコトニ相成ルカト思ヒマスガ、此ノ多ク破損シテ居リマス機械類ヲ本當ニ修理スル爲ニ必要ナ材料ノ中ノ眞ニ足ラナイト中スモノハ比較的少イノデアリマス、其ノ少イ所ノ資材ニ付キマシテハ或ハ進駐軍方面ノ要求ヲ受ケテ居リマス用途、或ハ其ノ他ノ肥料トカ、鐵道ノ修理用トカ色々他ノ方面ノ緊急ナル用途トモ競合ヲ致シテ居ルヤウナモノモゴザイマス、又原料トシテ我國ニ比較的乏シイト云フ「ゴム」ノヤウナモノモゴザイマス、又或ルモノハ其ノ設備ガ非常ニ足リナイ、戰災ノ結果非常ニ製造設備能力ガ落ちテ居ルト云フヤウナモノモゴザイマシテ、是ガ計畫量ノ達成ヲ致シマス爲ニハ商工部内ノ各局ハ勿論ノコト、之ニ關係ヲ持チマス各省各局間ノ連繫ヲ餘程密ニシテ行キマセヌ限リハ十分ナル計畫ヲ遂行ハ期シ得ラレナイノデゴザイマス、從來トモ商工省ト致シマシテハ、石炭廳ガ中心ニナリマシテ、能ク關係局トモ連繫ヲ執ツテ參ツタ積リデゴザイ

マスガ、實際ニヤツテ見マシタ所ノ結果ヲ振返ツテ見マスルナラバ、只今伊藤委員ノ御指摘ノ通り尙ホ吾々ノ努力ニ於テ足リナイ所ガアツクト反省ヲ致ス次第デゴザイマス、況シテヤ商工省外ノ他省トノ連繫ノ點ニ於テハ中々思フヤウニ行カナカツタ、又實際ニ連繫ヲ執ツタ積リデモ商工省内ノ各局ニシロ或ハ他ノ省ニシロ、戰後間モナイ時分ニハ實際ノ製造工場ノ能力等ニ付テの確ナ事實ヲ把握ガ出來ナカツタ、此ノ位ノモノハ出來ル積リデソコニ註文ヲ割當テテ居ツタ所ガ現實ニハソレダケノ能力ガナカツタト云フ工合ニ、現實ニ中央ニ於テ地方ノ末端ノ事實ヲ把握スルト云フ面ニ於テ足リナカツタ點モ逐次發見セラレテ參ツタノデアリマス、現在ニ於キマシテハ地方ノ各「メーカ」ノ製造工場ノ實情等モ殆ド之ヲ明確ニスルコトガ出來マシタシ、又所謂軍ノ拂下物資ト致シマシテ民間ニ委讓ヲシテ居リマシタ所ノ特殊物件ノ所在等ニ付キマシテモ十分ニ之ヲ把握スルコトガ出來テ參リマシタ、隨テ之ヲ振同ケルト云フコトニ付キマシテモ、所謂紙上計畫、机上計畫デナク、現實ニ即シタ計畫ヲ樹テ得ルヤウニナツテ參リマシタノデ、今後ハ只今御指摘ノ御趣旨ノ通りニ、十分商工省省議ハ勿論ノコト、必要ガアレバ閣議ニ於テモ之ヲ決定シテ戴キマシテ、

政府ノ全能力ヲ擧ゲテ石炭ノ生産ノ確保、資材面カラ是ガ阻害ヲ爲サヌヤウニ努力ヲ致シタイト存ジテ居ル次第デゴザイマス
○伊藤(卯)委員 資材ノ面ハソレデ分リマシタガ、モウ一點石炭ニ關スル點デアリマスガ、大體今日幾ラ焦ツテモ中々石炭ノ増産ガ上昇シナイノハ、抑ミ廻レバ戰爭中ニ新坑ト云フ新ラシイ坑口ヲ開ケテヤル開發ヲ許サナカツタト云フコトガ大キナ原因ノ一ツデアリマス、戰爭中長年ノ間許サナカツタモノダカラ、新ラシイ若々シイ礦山ト云フモノハ今ハナイ、皆シナ段々時間ト共ニ坑内ガ深クナリ「コンディション」ハ悪クナツテ來マシテ、段々老朽老廢ラシテ來テ、サウ云フ點カラ資材ト人トヲ多ク使ツテモ石炭ガ出ナイト云フノハ、是ハ大キナ原因ノ一ツハソコニアル、ソコデ私ハ今後ノ新タナ問題トシテ、増産スル爲ニハドウシテモ新タナル開發ニ積極的ニ石炭廳ガ乘出シテヤラナカツタナラバ、恐ラクヨリ以上ノ増産ヲ圖ツテ行クコトハ困難デアラウト思フ、ナゼカト言ヘバ、老朽老廢デアルダケニ、非常ニ色々ナ災害ガ多クナツテ居ル、サウ云フ點デドウシテモ私ハ新坑ノ問題ヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思フ、更ニ又筑豊炭田ナリ佐賀、長崎ノ方ヲ歩キマスト、今日礦區ハナイナイト云フコトヲ言ツテ居ルケレド

モ、財閥ノ礦區ニ於テハ何千萬坪ト云フ、或ハヨリ以上ノ龐大ナル所ノ豐富ナル礦區ト云フモノヲ睡眠サセテ、之ヲ三十年先ニ掘ルトカ、五十年先ニ掘ルトカ云フヤウニ、ソレヲ死藏シテ居ル、今日國家ガ殆ド皆破産ラシテ、戰災保險モ取レナイ、或ハ政府ノ債務證券モ取レナイ、財産モ皆シナ投ゲ出シテシマハナケレバナラヌト云フ今日ニ於テ、天然自然ニアツタ其ノ礦區ヲ、一個ノ自分ガ登銀ヲシテ居ルト云フダケデ、其ノ礦區ヲ三十年五十年先ノ分ダト言ツテ睡眠死藏サセテ、之ヲ掘ラセナイト云フヤウナコトハ、私ハ是ハ今日ノ我が國ノ再建復興ノ上カラ許スコトノ出來ナイ問題デアルト思フノデアルガ、斯ウ云フ點ニ對シテ、サウ云フヤウナ睡眠死藏サセテ私有物トシテ之ヲ開發サセナイ、サウ云フモノニ對シテ政府ハソレ等ヲ或ハ整理スルトカ、或ハ統合スルトカ、或ハ是等ヲ解放スルトカ、サウ云フ新タナル礦區ニ對シテ新坑ヲ造ラセテ増産ヲ圖ルト云フヤウナ積極的ナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、一ツ伺ヒタイノデアリマス
○達澤委員長 成ベク簡單明瞭ニ御説明ヲ願ヒマス
○岡松政府委員 政府ト致シマシテハ、只今御指摘ノ點ニ付キマシテハ、新坑開發助成ト云フ方法ヲ以テ望マウトシテ居ル次第デゴザ

イマス、是ハ前々カラ第一次、第二次ト繼續ヲ致シマシテ、昭和二十一年度以降第三次新坑開發助成ヲ致シテ行キタイ、三箇年ノ繼續事業デヤツテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、ソレニ關スル豫算ヲ計上致シテ居ル次第デゴザイマス
○伊藤(卯)委員 今ノ財閥ガ持ツテ依然トシテ私有財産ニシテ居ル睡眠死藏礦區ヲ今日ノ場合解放スルコトニ付テノ御考ヘハ如何デスカ
○岡松政府委員 財閥ト言ハレテ居リマス大礦業會社等ガ持ツテ居ル礦區ニ付キマシテ、是ガ開發ヲ必要トスル所ハ、政府ヨリ指示ヲ致シマシテ、其處ノ開發ヲ促シ、且ツソレヲ致シマス爲ニ必要ナ助成金ヲ、只今申シマシタ新坑開發助成金トシテ交付致シテ、之ヲ勸獎ニ依ツテ進メテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス
○伊藤(卯)委員 本人ガヤラナイデ、其ノ儘放置シテ居ルモノハ、他ニヤレル適格者ガアルナラバ、其ノ者ニ對シテ増産ノ見地カラソレ等ヲ許シテヤルコトノ積極的ナ方策ニ付テ御考ヘガアリマスカ
○岡松政府委員 現在持ツテ居ル鑛業權者ガソレヲ開發スルニ不適當デアル、且ツ他ニ是ガ開發ニ當ルノニ適當ナル者ガアル、サウシテ其ノ適當ナル者ヲシテ開發セシメナケレバ之ヲ開發シテ行クコト

ガ出来ヌト云フ場合ニハ、現在政府ト致シマシテハ重要礦物増産法ト云フ法律ノ根據ニ依リマシテ、其ノ開發セシメル者ニ礦區ノ使用權ヲ設定セシメテ、之ヲヤツテ參ルコトガ出來ル制度ヲ持ツテ居リマス、是等ノ運用ニ依ツテ只今仰シヤツタヤウナ場合ニハ臨ンデ參リタイト思フテ居ル次第デアリマス

○伊藤(卯)委員 其ノ點ヲ今一點ダケハツキリ伺ツテ置キタイ、今ノ御答辯デ大體ニ於テ分リマシタガ、併シドウモマダ實際問題ニナツテ來ルト可ナリ躊躇サレルト云フコトデ、オヤリニナルコトガ結局何カ反對ガアルト出來ナイト云フ弱サヲ私ハ感ズルノデアルガ、ソレニ對スルサウ云フ反對ガアツテモ、政府ハ増産ノ見地カラ斯ウ云フ方針ヲ以テ斷乎トシテヤルノダト云フコトニ付テノ強サガアルナラ、ソレヲ一ツハツキリ伺ヒタイト云フコトト、モウ一ツハ例ヘバ御承知デアルト思フガ、隣リ同土掘ツテ居ル、サウスルト片方ハモウ掘ツテシマツタ、所ガ、片方カラ掘ルノニハマダ十年モ二十年モ掛ラナケレバ掘ツテ來ナイ、コツチノ方ハ掘ツテシマツタノデ、其ノ儘延長スレバ資材ハ要ラス、或ハサウ費用モ使ハナイデ炭モ出ルト云フヤウナ所ガ礦山ニハ澤山アルノデアルガ、サウ云フ場合ニ對スル礦區ノ分割ト云フカ、或ハ

進掘延長ト云フカ、サウ云フモノニ付テ具體的ニ、サウ云フ所ハ取上ゲテ直チニ増産ノ爲ニ許スト云フヤウナコトニ付テノ命令ヲ發スルカ、何カ増産ノ爲ニヤラレル御意思ガアルカドウカ伺ヒタイ

○岡松政府委員 最後ノ點デゴザイマスガ、法規ノ建前ハ先ツ當事者ノ間ニ協議ヲナサシメル、協議ガ調ハナイ時ニハ、公平ナル第三者等ヲ加ヘタ委員會ニ諮ツテ、其ノ委員會ノ決議ヲ以テ其ノ協議ニ依ツテ決定マツタモノト認定シテ其ノ價格條件等ニ依ツテ使用權ノ設定ヲ認メルト云フコトデアリマスノデ、決シテ甚ダシク使用權ヲ侵害スルト云フ方法デモナシ、決シテサウ所謂「ドラスティック」ナ、亂暴ナ法制デモアリマセヌノデ、現實ノ必要ガ起リマシタナラバ政府トシテモ十分ヤツテ行ケルト私ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○伊藤(卯)委員 其ノ點ハ今度委員會ヲ作ツテサウ云フ委員會ヲ構成サレルノデアリマスガ、從來私共ハサウ云フコトヲ耳ニシタコトハナイガ、今御答辯ニナリマシタヤウナ委員會ト云フモノハ公正ニサウ云フ問題ヲ解決スル爲ニ、或ハサウ云フ不振ノ礦區ノ分割ト云フカ、睡眠死藏礦區ヲ適者ニ開發サス、サウ云フ問題ヲ解決スル爲ニサウ云フ委員會ヲ今度御作りニナルノカ、御作りニナルノハ今度

御作りニナルノカ、御作りニナルノナラバドウ云フ法制デ御作りニナルノカ最後ニ伺ヒタイ

○岡松政府委員 此ノ法制ハ大分前カラ、昭和十四、五年カラデスカ、一寸今ハツキリ記憶シテ居リマセヌガ、戰時中カラアリマシタノデ、現實ニ適應スル時ニハ地方ノ商工局ガ中心トナリマシテ、其ノ商工局ニ委員會ノ設定ヲ致シマシテ、其ノ委員會ニ掛ケテ決定スルト云フコトニナツテ居リマス、石炭ニ付キマシテハ現實ニ此ノ委員會ヲ作ツタ例ハナイト私モ存ジテ居リマス、戰爭中ニ於キマシテハ所謂他ノ閣議決定其ノ他ノ決定ニ依リマシテ整理統合ト云フヤウナコト、所謂戰時的方法デアリマシタノデ、之ニ俟タズヤツタ次第デアリマス

○伊藤(卯)委員 石炭ノ問題ハ其ノ程度デ打切ルコトニ致シマス次ハ賠償代價ノ問題等ニ付テ先般本會議ニ於テ商工大臣カラ大マカナ、本當ニ一言御答辯ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ賠償代價ノ問題ハ可ナリ國民モ此ノ點ハ關心ヲ持ツテ居ルト思フ、ソレハノ工場ニ居ル労働者ノ方デハ非常ナ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、仍テ賠償代價トサレル所ガ最早今日工場別ニ大約御分リニナツテ居ルカドウカ、又發表サレテ差支ナイコトニナツテ居ルノナラバ御發表願ヒタイ、ソレカラ賠償

代價ニ取ラレルモノハ先般商工大臣ガ一千百萬「トン」カ二百萬「トン」ト仰シヤツタヤウデアリマスガ、其ノ賠償代價ニ取ラレル品物ノ大體ノ種類ヲ大體把握シシノデアリマスガ、サウ云フコトガ種別ニ發表ガ願ヘルナラバ御發表願ヒタイ、ソレカラ其ノ賠償代價ニ取ラレル工場カラ工場別ニ大體ドノ位ノ失業者ガ出ルノカト云フ點ヲ御伺ヒシタイ、併セテハ厚生省ニ關聯シマスガ、其ノ出ル所ノ失業者ノ數モ相當ノモノデアラウト思フガ、ソレ等ノ失業者ニ對シテハドウ云フ風ナ手當其ノ他ノ待遇ヲシテ、是等ノ失業者カラ重大ナル社會問題ヲ惹起サセナイヤウニスル保護の御考ヘガアルカドウカ、斯ウ云フ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○小林政府委員 賠償ノ範圍デアリマスガ、是ハマダ確實ニナツタ譯デハアリマセヌケレドモ「ボーレー」大使ノ聲明、ソレカラ極東委員會ノ發表ナドニ依リマシテ、大體ノ所ヲ考慮シテ中上ゲマス、鐵鋼デアリマスガ、鐵鋼ハ鋼塊生産三百五十萬「トン」鉄鐵ガ二百萬「トン」超ヤル部分全部ガ撤去、ソレカラ接觸法硫酸ハ年産三百五十萬「トン」ノ生産能力ヲ超ユル能力全部ノ撤去、ソレカラ鹽素ハ年産約七萬五千「トン」以上ノ生産施設全部撤去、苛性曹達年産八萬二千五百「トン」ノ生

産能力ヲ超ユル能力全部撤去、曹達年産六十三萬「トン」ノ生産能力ヲ超ユル能力全部撤去、ソレカラ工作機械年産二萬七千臺ノ生産能力ヲ超ユル能力全部撤去、軸受年産二千二百五十萬圓ノ生産能力ヲ超ユル能力全部撤去、ソレカラ輕金屬再融解ノモノヲ除キ全部撤去、ソレカラ輕金屬壓延年産一萬五千「トン」ノ生産能力ヲ超ユル能力全部撤去、火力發電二百十萬「キロワット」ノ能力ヲ超ユルモノ全部撤去、航空機全部撤去、ソレカラ是ハ大體商工省所管ノ業種別ノミヲ舉ゲタノデアリマスガ、他省所管トシテ陸海軍工廠全部撤去、ソレカラ造船二十造船所ヲ撤去、是ハ年産十五萬「トン」ノ商船ノ建造能力及三百萬「トン」ノ商船修繕維持ニ要スル施設ヲ超過スルモノ全部撤去、尙ホ以上ノ管理工場トシテ指定サレテ居ルモノガ、航空機其ノ他四百五十二工場、陸海軍工廠ガ八十五工場、研究所ガ四十五工場ニナツテ居リマス

ソコデ是等ノ賠償ノ爲ニ生ズル失業者ガドウ位アルカト云フコトデアリマスガ、賠償指定産業ニ屬スル勞務者ハ約二十萬人位デアリマシテ、其ノ内工場撤去ニ依ツテ失業スルモノト考ヘラレルモノガ約十萬人位デアリマス、併シ是等ノ失業者ガ如何ナル工場ニ、ドレダケト云フコトハ未ダ決定シテ居リ

マセヌ、又具體的工場ニ付テハ明
示サレテ居リマセヌ、賠償設備ノ
見積ハ大約千二百萬「トン」位ト
云フコトガ大概ノ概數ニナツテ居
リマス、失業者ニ對スル對策ナド
ニ付キマシテハ、厚生省カラ御答
ヘガアルト思ヒマス

○吉武政府委員 目下研究中デゴ
ザイマシテ、茲デ申上ゲルコトハ
出来マセヌ

○小林政府委員 コチラデ分ツテ
居ル分ダケヲ御答ヘ申上ゲマス、
賠償關係工場ノ勞務者ニ對スル所
謂失業ニ對スル對策ト致シマシテ
ハ、大概次ノヤウニ處置シタイト
云フ風ニ考ヘテ居リマス、第一
ハ、賠償指定ト同時ニ生産ヲ停止
スル工場、之ニ屬スル勞務者ノ措
置ト致シマシテハ、會社工場等カ
ラ支給スル退職手當ノ外ニ、慰勞
金ヲ支給スルノデアリマスガ、是
ハ國庫デ負擔ラシテ行カウト云フ
ノデアリマス、サウシテ更ニ是等
ノ人々ニ對シテハ、同種ノ産業及
ビ他ノ産業ヘノ就職ヲ一ツ出來ル
ダケ斡旋シテ上ゲヨウ、ソレカラ
第二ニハ、賠償指定工場ノ中デ撤
去マデ生産ノ繼續ヲ要スル工場、
是ハ相當重要ナモノデアリマス
ガ、之ニ屬スル勞務者ノ措置ト致
シマシテハ、勞務者ニ對シテハ、
撤去マデ特ニ保留スル必要ガアル
爲ニ、前ニ申シマシタ慰勞金ノ外
ニ特別報償金ヲ國庫負擔デ支給ス
ルト共ニ、併シテ優先的ニ同種ノ

産業及ビ他ノ産業ノ方面ヘ就職ヲ
出來ルダケ斡旋確保シテ、サウシ
テ是等ニ依ツテ生ズル不幸ヲ出來
ルダケ救ツテ参リタイ、斯ウ考ヘ
テ居リマス

○伊藤(卯)委員 此ノ點モ本會議
デ商工大臣カラ一言漏ラサレタ意
見デアリマスガ、此ノ賠償代償ニ
取ラレル所ノ工場ト云フカ、ソレ
等ニ關スル賠償委員會ト云フモノ
ヲ作ツテ、而モ其ノ賠償委員會ニ
ハ必ズ賠償ニ掛ツテ撤去サセラレ
ル所ノ勞働組合ノ代表モ参加ヲサ
セテ、ソレデ其ノ問題ヲ平和ニ解
決ヲ圖ルヤウニシタイ、斯ウ云フ
ヤウニ私伺ツテ居ツタノデアリマ
スガ、此ノ賠償委員會ト云フモノ
ハ中央ニノミ御作りニナルノデア
ルカドウカ、サウスレバ、其ノ作
ラレル所ノ賠償委員會ト云フモノ
ハ、ドウ云フ人々ヲ以テ参加サセ
テ構成サレルノデアアルカ、或ハ中
央ニ一箇所所作ラレルノデアアルカ、
或ハ地方ノ其ノ賠償撤去ヲサレル
ト云フ地域ニ於テモ、サウ云フモ
ノヲ御作りニナルノカドウカト云
フコトデ、勞働組合代表ヲ参加サ
セルト云フコトト併セテ、サウ云
フコトニ付テノ人的ナ方針ニ付テ
一ツ御伺ヒシタイノデアリマス

○小林政府委員 只今賠償委員會
ニ付テノ御話ガアリマシタガ、御
承知ノ如ク賠償ト云フコトハ、我
國ガ敗戦ノ結果聯合國カラ課セ
ラレタ一方の義務デアリマシテ、

對等ノ立場ニ於テ契約ヲスルト云
フヤウナ性質ノモノデアナイノデ
アリマス、隨テコチラガ賠償委員
會ヲ作ツテ此レト聯合國ニ對シ
テ色々ナ意見ヲ述べルト云フヤウ
ナコトハ、全然許サレナイコトデ
アリマシテ、我々トシテハ聯合國
ヨリ課セラレタル此ノ賠償ニ對ス
ル命令ヲ、誠實ニ且迅速ニ之ヲ
履行シ、完成シテ行クト云フコト
ガ今日ニ於ケル我々ノ義務デアリ
マス、隨テ大臣ガサウ云フ意味ノ
コトヲ言ハレタ譯ハナイト思ヒマ
スガ、何カ言葉ノ上ノ誤解ガアツ
タノデアナイカト考ヘルノデアニ
マス、併シナガラ此ノ賠償物ノ撤
去及ビ輸送ト云フヤウナコトハ、
是ハ固ヨリ金額國庫負擔トシマシ
テ、迅速ニヤラナケレバナラス、
此ノ點ニ付キマシテハ我々方ニ於
テ之ヲ完全ニ撤去輸送ラシテ行ク
ト云フコトガ、我々ノ仕事ニナル
ノデアリマスカラ、此ノ撤去若シ
タハ輸送ト云フコトヲ圓滑ニ行フ
ト云フコトニ付キマシテハ、官民
ノ間ニオモヒニ相談ラシ會ツテ、
サウシテ一日モ早く、又確實ニ履
行シテ参リタイ、此ノ意味ニ於テ
撤去、輸送ト云フヤウナコトニ對
シマシテハ、官民ノ間ニ何等カノ
委員會ヲ設置シテ、サウシテ民主
的ニ立派ニ此ノ義務ヲ履行シテ参
リタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリ
マス、其ノ委員會ナドニ對シマシ
テハ、伊藤サンノ仰シヤイマシタ

ヤウナコトハ出來ルダケ一ツ考慮
致シマシテ 民意ヲ暢達シテ出來
ルダケ勞働者各位ノ意見モ入レテ
参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○伊藤(卯)委員 今私御意見ヲ伺
ツテ、戰勝國ト戰敗國トノ關係ニ
於テ、國際的ナ關係カラ私共ガ考
ヘテモ、今ノ御答辯ガ正シイト思
フノデアアルガ、商工大臣ハドウ云
フ意味デ言ハレタノカ知ラヌガ、
本會議デハ、賠償委員會ガ出來ル
カラ、ソレニハ勞働者ノ代表モ參
加サセテヤラウト云フヤウナコト
ヲ確カニハツキリ申サレテ居リマ
ス、ソレヲ私今イザコザヲ、舉足
ヲ取ラウトハ思ヒマセヌガ、今ノ
御答辯デ大概内容モ能ク分リマシ
タ、問題ハ今數字のニ示サレタサ
ウ云フ工場ニ働イテ居ル所ノ職
員、從業員ト云フモノハ、賠償ノ
結果カラ來ル失業ノ不安、生活ノ
脅威ト云フモノニ對シテ、全般的
ニ非常ニ取越苦勞ヲヤツテ居ルノ
デアリマス、サウ云フ點カラヤハ
リ此ノ扱ヒ方ト云フモノハ、政府
ナリ其ノ所有者ノ間デ妥協的ニ勝
手ナコトヲシテシマツテ、自分等
ハ唯失業ノミガアツタノダト云フ
ヤウナコトヲ感ジサセナイヤウニ
ヤラナイト云フト、誤解ノ上カラ
來ル問題ト云フモノハ、私ハヨリ
以上ノ紛争ガアルデアラウト云フ
コトモ想像サレルノデアリマス、
斯ウ云フ點ニ對シテハ、今御話ニ
ナツタ戰敗國トシテノ戰勝國カラ

示サレル絕對的ナモノ、或ハソレ
以外ノ國內ニ於テ處理スルコトニ
付テ、勞働組合ノ代表ト云フモノ
モ必ズ參加サシテ、極メテ明瞭
ニ、一點ノ疑惑ト云フモノモナイ
ヤウニシテ、斯ウシテヤルト云フ
ヤウナコトヲ、特ニ留意ヲ此ノ際
希望シテ置キタイト思ツテ居リ
マス

ソレカラ最後ニ一ツ御伺ヒシテ
置キタイノハ、敗戦日本ノ産業復
興ノ運動ノ問題デアリマス、是ハ
私共ノ所屬ヲ致シテ居リマス、日
本勞働組合總同盟ニ於キマシテ
モ、或ハ又其ノ他ノ組合、鑛山ナ
ドニ於キマシテモ、如何ニシテ増
産ヲ圖リ復興ヲスルカ、産業再
開ヲスルカト云フコトハ、ソレ

ノ決議ヲ致シテ居ルノデアリマ
スケレドモ、具體的ニ此ノ運動ヲ
採リ上ゲテヤル方法ニ付テ、マダ
着手ラシテ居ラヌノデアリマス、
サウ云フ點カラ工場デモ鑛山デモ
具體的ニ是ガ採リ上ゲラレテ燃エ
上ルト云フモノガマダ現場々々ニ
起キテ居ラヌノデアリマス、之ヲ
勞働組合ノミデ一ツ生産再開、産
業復興運動ヲヤラウデヤナイカト
云フコトヲ言ツテモ事業家ノ方ナ
リ、政府ノ方ナリガ之ニ積極的ニ
乘氣ニナツテ協力ト云フカ、ソレ
ガヨリ宜クヤレルヤウニ協力シテ
貫ハナイト、中々具體的ニ此ノ運
動自體ガ採上ゲラレテ積極的ニ起
ツテ來ナイノデアナイカト思ツテ

一四三

居リマスガ、ドウモ労働組合側カ
ラサウ云フコトヲヤツテモ事業家
ナリ政府ガ一向サウ云フ點ヲ具體
的ニ採上ゲラレテ積極的ニヤラレ
ヨウト云フコトガ示サレテナイヤ
ウデアリマス、商工省トシテ斯ウ
云フコトハ多分新聞其ノ他で見ラ
モ居ラレラウシ、労働者側
カラ斯ウ云フ問題ヲ採上ゲテ來ル
コトハ如何ニ喜ブベキコトデア
カ、待ツテマシタトバカリニ是等
ヲ採上ゲテ、ヤハリ一ツノ方針ヲ
持タス、經營者側モ大イニ積極的
ニヤラスヤウニ鞭撻ヲスル、尙ホ
ソレデモヤリナイデサボツテ居ル
モノ、今再開シテヤルヨリモ後デ
再開シタ方ガ宜イトカ、能ク言ハ
レル資料デアルトカ、サウ云フモ
ノヲ生産スルヨリ其ノ儘賣ツタ方
ガ宜イトカ、是ハ正ニ私ハ生産
「サボ」デアルト思フ、斯ウ云フ
者ニ對シテハ嚴重ニ處置ヲスルコ
トモ大事デアラウト思フガ、商工
省トシテ産業復興ニ對スル何カ積
極的ナリ具體的計畫案ガアルカド
ウカ、此ノコトヲ伺ヒタイ

運ガ起リツ、アルト云フコトハ洵
ニ喜バシイコトデゴザイマス、凡
ユル階級ノモノガ本當ニ民主日本
ヲ再建スルコト云フ希望ヲ持ツテ熱
上ツテ、互ヒニ手ヲ繋ギ合ツテ協
力シテ行クト云フコトノミニ依ツ
テ、今日ノ我が國ノ窮境ハ打開シ
得ルコトダト思フノデアリマス、
商工省ニ於キマシテバ、何ヲ言ヒ
マシテモ中小商工業ノ再建、是ハ
労働者各位ノ熱烈ナル協力ニ依ツ
テノミニ本當ニ再建ガ實現出來ルト
考ヘテ居リマス、隨テ御示シノ如
キ御意見ハ將來十分體シマシテ、
労働者各位ノ中カラノ燃上ル意見
ヲ能ク參酌シ、商工行政ノ立場カ
ラモ十分ニ其鳴シ、手ヲ取り合
ツテ行クヤウナ方法ヲ講ジテ參リ
タイト思ツテ居リマス、近來特ニ
サウ云フ労働者各位ノ意見ヲ尊重
シ、之ヲ力トシテ再建シテ參リタ
イト云フ所ニ我々ハ考ヘテ持ツテ
居ル次第デアリマス、サウ云フ譯
デアリマニカラ、ドウカ伊藤サン
其ノ他各位ニ於カレマシメサウ
云フ具體的問題ガアリマシタナラ
バドシ、我々ノ所ニ御通知ヲ願
ヒマシテ、我々ガサウ云フ燃上ル
熱情ヲ知ラズニ無ニスルコトノナ
イヤウニ御鞭撻ガ願ヒタイト思フ
次第モリマス

等ヲドウ云フヤウニシテ起チ上ラ
スカト云フコトニ付テノ案ヲ今尙
ホ御持合セニナラス、其ノ爲ニ凡
ユル産業ガ再開サレズニ依然タル
狀態デアルト云フコトハ、洵ニ當
然ナコトデバナイカト遺憾ニ思ツ
テ居リマス、仍ツテ民間側、而モ
労働者ノ方カラ生産再開、産業復
興運動ヲ起サウト云ツテ起チ上ツ
テ居ル時ニ、商工省ガ今尙ホサウ
云フ具體的安モ御持チニナラチデ
居ルト云フコトハ、私ハ洵ニ遺憾
千萬ダト思フノデアリマス、ソ
ナ怠慢ナ狀態デドウシテ此ノ廢墟
ノ現狀ヲシテ復興再建スルコトガ
出來ルデアラウカ、此ノ點ニ對シ
テハ大臣初メ次官ナドモ本當ニ血
眼ニナツテ生産責任者、關係者ヲ
起チ上ラス氣魄ヲ以テ生産廳トシ
テノ方策ヲ立テラレンコトヲ私ハ
強く要望致シテ置キマス

取締ル委員會ハドウ云フ人的構成
デ御作りニナル御考ヘデアルカ、
其ノ委員會ハ最早出來タノデア
カドウカ、其ノ委員會ノ構成等ニ
付テ一ツ具體的ニ御示シテ願ヒタ
イト思ヒマス

○小林政府委員 労働組合ノ協力
ヲ可及的速カニ商工行政ノ上ニ活
用シテ參リタイト云フコトハ我々
ガ深く考ヘテ居ルコトデアリマ
ス、又先程御尋ネニナリマシタ生
産「サボ」ナドニ付キマシテハ、
此ノ前大臣カラ申上ゲマシタヤウ
ニ、生産監査委員會ト云フモノヲ
作りマシテ、ソコニ労働組合ノ代
表者ナドニモ入ツテ戴キマシテ、
サウシテ生産「サボ」ニ一ツノ認
識ヲ與ヘテ貰ヒタイト考ヘテ居リ
マス、生産監査委員會ノ案ト致シ
マシテハ、大體配置ハ地方商工局
毎ニ一ツツツノ生産監査委員會ヲ
設ケタイ、構成デアリマスガ、勞
働組合ノ代表、ソレカラ統制團體
ノ代表、其ノ他學識經驗者ト云フ
ヤウナモノニ依ツテ組織致シテ參
リタイト思ヒマス、發動ノ手續ト
シマシテハ職權ニ依ツテスル場
合、ソレカラ労働組合ノ請求ニ依
ル場合、又統制團體カラノ講求ニ
依ル場合、斯ウ云フ場合ニ一々ノ
具體的事案ニ付テ其ノ認定ヲシテ
參リタイ、審査ヲシテ參リタイト
云フコトニナツテ居リマス、其ノ
效果ト致シマシテハ、生産命令ヲ
スル、或ハ經營委託ノ勸奨ヲスル

ト云フヤウナ途ヲ取ツテ參リタイ
ノデアリマスガ、生産命令ニ當ツ
テハ近ク上程サレマス物資需給調
整法ノ適用ノ下ニ參リタイ、大體
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○達澤委員長 伊藤君ニ一寸御注
意シマスガ、非常ニ重需ヲ御尋ネ
デアリマスカラ、默認致シテ居リ
マスガ、非常ニ時間ガ經過シテ居
リマスカラ、簡單ニ……

○伊藤(卯)委員 モウ一點デ打切
リマス、今ノ問題ハ非常ニ具體的
ニ能ク分ツタノデアリマスガ、此
ノ委員會ハソレヲドウ處置スルト
云フ決定權ヲ持ツモノデアリマス
カ、或ハ商工大臣カ或ハ地方ニ於
ケル商工局長トフ云カ、サウ云フ
者ノ諮問機關デアルカ、ソレヲ處
置スル決定權ヲ持ツモノデアルカ
ト云フコトヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○小林政府委員 是ハ諮問機關デ
アリマス

○伊藤(卯)委員 諮問機關ト云フ
コトニナルト、ソレヲ處置スル最
高ノ權能者ハ誰デアリマスカ

○小林政府委員 執行命令ヲ出ス
責任アル行政官ハ大臣又ハ局長ニ
ナリマス、併シ權威ノアル監査委
員會決定サレルコトデアリマス
カラ、假令建前ハ諮問機關ニナツ
テ居リマシテモ、特殊ノ事情ノナ
イ限りハ其ノ事務方實行サレテ參
ラナケレバナラスト考ヘマスカ
ラ、伊藤サンノ御心配ニナルヤウ
ナコトハアルマイト考ヘテ居リマ

ス

○伊藤(卯)委員 其ノ委員ハ單ナル諮問ノ委員トシテ依囑サレルダケデアリマス、何カ法律上カラ來ル權能ヲ持ツ構成委員デアリマス

○小林政府委員 是ハ官制上設ケラレルモノデアリマス、固ヨリ法規上ノ根據ノアル諮問委員デアリマス

○伊藤(卯)委員 之ヲ以テ打切りマス

○邊澤委員 通告順ニ依ツテ橋直治君ニ質問ヲ許シマス

○橋委員 先般來主トシテ同僚各位カラ陸上勤務者、陸上労働者ノ諸問題ニ關シマシテ續々御質問ガアツタノデアリマスガ、私ハ主トシテ海上從業労働者各位ノ問題ニ質疑ヲ集中致シタイト思フテ居リマス、我が國ノ船員問題ハ今後トモ極メテ重要ト問題デアルト云マ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、戰前六百萬「トン」ヲ有シテ居リマシ我々國ノ海運界ガ今日僅カニ百二十萬「トン」ノ船腹ヲ擁シ、而モ戰時中全海員ノ四割ノ數ヲ戰爭ノ犠牲トシテ失ツタ我々船員各位ニ對シテハ、衷心カラ同情ヲ捧ゲテ居ル次第デアリマス、而モ今後ノ我が國ノ海運界ノ狀勢ハ船舶運賃會ノ解體問題乃至バL.S.T.、「リバティ」型ノ返船問題等ヨリ見マシテ、前途極メテ悲觀スベキ狀況ニアルト見テ居ル

ノデアリマス、政府ニ於カレマシテハ特ニ此ノ船舶運賃會ノ解體以後ニ於キマスル是等船舶ノ運航制ノ再編成ニ伴フ失業船員ニ對スル御處置、並ニ外國ヨリノ借入船ヲ返還スルコトニ依ツテ生ジマスル失業船員ノ救済問題、是等ノ諸點ニ關シマシテ先ツ失業對策以下ノ諸點ニ對スル當局ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大久保政府委員 只今御尋ネノ失業船員ハ凡ソ四萬三千名ト存ジテ居リマス、只今御話ノ通り船員ハ戰爭中非常ナル努力ヲ致シ、又其ノ犧牲率ニ於キマシテモ四三％ト云フヤウナ、實ニ陸海軍ヲ遙カニ凌駕シタル非常ナル犧牲ヲ拂ツテ居リマス、ソコデ今後ニ於ケル船員ノ已ムヲ得ザル失業ニ對シマシテハ、國トシマシテ凡ユル手ヲ差伸ベシマシテ、此ノ船員ノ救済ニ最大ノ努力ヲ傾注致シタイト考ヘテ居リマス、何ト申シマシテモ御承知ノ通り船員ハ、ヤハリ船ニ乘ツテ居タイト云フノガ、船員ノ衷情デアリマス、何トカシテ彼等ノ此ノ海ニ生キントスル衷情ヲ生カシテヤリタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ云リマス、第一段ノ政策ト致シマシテハ何トカシテ船員ヲシテヤハリ船ニ乗ル機會ヲ擱マセテヤリタイト云フ點ニアリマシテ、日本ニ船ガナイ場合ニ於テハ日本ノ優秀ナル船員ノ技術ヲ以テ、何トカシテ他國ノ船ニモ日本

ノ船員ガ進出スル面ハナイカト云フ點、更ニ同ジ船員ノ關係デアリマスル所ノ漁船ノ方面ニ轉換サセラル途ハナイカ、更ニ沈没船ノ引揚げトカ、水先人トカ、或ハ官廳船方面ニ更ニ船員ヲ採用スル面ハナイカ、斯ウ云フ點ニ先ツ第一段トシテ努力ヲ傾注致シタイト存ジテ居リマス

第二段ト致シマシテハ、ヤハリ海ニ關聯ノアル産業、例ヘバ船舶ノ造船、或ハ港灣荷役、或ハ船用品ノ製作、或ハ海岸無線局デアリマス、トカ、或ハ倉庫關係ノ仕事デアリマス、トカ、サウ云フ彼等ガ從來訓練シテ居タ仕事ノ方面ニ廻ハシテ行ク、斯ウ云フ方策ヲ第二段階トシテハ考ヘテ居リマス

第三ニハ現在ノ學校ニ於ケル教育ノ中ニ更ニ船員ヲ收容致シマシテ、船員ノ再教育ヲスル、斯ウ云フ方面ニ船員ヲ向ケテ行キタイト思フテ居リマス、ドウシテモソレデ吸收出來ナイモノハ厚生省ヤ經濟安定本部トモ十分連絡ヲ取りマシテ、陸上産業ニ轉換ノ途ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○橋委員 只今御示シナリマシタ三ツノ案ノ中デ、特ニ第一點ノ船員デアアルカラ船ニ乗セル機會ヲ極力考慮シタイト云フ案ハ、極メテ私モ同感ニ存スル次第デアリマスガ、第二ノ船舶關係ヘノ進出或ハ倉庫、港灣其ノ他ノ關聯性ノアル職場ヘノ轉出ヲ圖ルト云フ問題

ハ、既ニ此ノ職場ニ於キマシテハ八十二分ノ人員ガ居ル筈デアリマス、カラ、是ト摩擦ヲ生ジナイヤウニ當局ニ於テ御注意ガ必要デアルト存ズルノデアリマス、第三ノ再教育ノ問題デアリマスガ、之ニ關シマシテ今少シク詳細ニ承リタイノデアリマスガ、時間ノ關係モアリマス、ドウカ一ツ是非此ノ失思ヒマス、

業船員ノ待遇ニ關シマシテ、今御示シナリマシタ如ク熱意ヲ以テ善處アラントラ要望致シタイノデアリマス、殊ニ運輸省ト致サレマシテハ、鐵道從業員關係ハ直接自分ノ子供デアルト云フヤウナ後考ヘガアルヤウデアリマスガ、船員ハ寧ろ他所ノ預リ子デアルト云フ風ヲ御考ヘガナイヤウニ、是ハ等シク自分ノ子供デアアル、實子デアルト云フ御考ヘデ、大臣以下十二分ノ御對策ヲ願ツテ戴キタイト考ヘルノデアリマス

次ハ海員組合ニ關聯致シマシタ問題デアリマスガ、海員組合ハ現在機帆船乘組員ヲモ傘下ニ收メテ居ルノデアリマス、此ノ機帆船關係デアリマスガ、此ノ機帆船乘組員ヲ傘下ニ收メ或ハ大手筋十四社ノ大型船ハ別ト致シマシテ、地區機帆船、五「トン」十「トン」殊ニ船主船長ト云フヤウナ乘組員ヲ海員組合ノ傘下ニ收メルト云フコトハ不都合千萬デハナイカ、親爺ガ船長、兄貴ガ機關長、次男ノ方

ハ「ウォーク・マスタート」オ袋ガ「コック」ヲヤツテ居ルト云ツタヤウナ此ノ船員マデモ海員組合ヘ參加サセルコトハ意義ガナイノデアリマス、是ハ一ニ勞務物資ノ配給機關ガ海員組合ニ握ラレテ居ルト云フ此ノ一事ニ依ツテ連二無二參加セシメラレテ居ルノデアリマス、地區機帆船海員組合ガ所屬機帆船全部ヲ纏メマシテ、此ノ乘組員ト海員組合ト團體協約ヲ結ンデ居ルト云フノガ現狀デアリマス、サウシテ地區機帆船海員組合ガ海員組合カラ是等ノ勞務物資ノ配給ヲ受ケテ、組合員ニ流ス、洵ニ無駄ナ「コース」ヲ取ツテ居ルノデアリマス、之ニ依リマシテ機帆船乘組員ハ拂ハナクテモ宜シイ海員組合ノ經費ヲ負擔サセラレテ居ルコトハ洵ニ遺憾ニ存スル次第デアリマス、是等勞務物資、特ニ地區機帆船ノ乘組員ニ對スル勞務物資ハ須ク地區機帆船海員組合ニ流シマスレバ斯様ナ無駄ト完費ハ省ケリマスガ、當局ノ此ノ點ニ對シマスル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大久保政府委員 只今御尋ネノ機帆船、主トシテ船主船長ノ御話ト考ヘマスガ、御尋ネノ物資ヲ流ス道ハ是ハ海員組合ガヤツテ居ルノデハゴザイマセヌノデ、是ハ日本海員財團ト云フノガヤツテ居ル、此ノ日本海員財團ト申シマス

ノハ使用者ト海員トノ共同機關デ
アリマス、唯日本海員財團ガ生レ
マシタ際ニ於キマシテ地方機關ガ
ゴザイマセヌデシタノデ、ソレデ
海員組合ノ支部ガ手足トシテ擔當
致シテ居ル譯デアリマス、ソコデ
今申シマスヤウニ、中性ノ機關デ
ゴザイマスノデ、物資ノ配給ハ固
ヨリ公正ニ配給スルコトヲ以テ建
前ト致サナクテハナリマセヌ、ソ
コデ物資ノ配給ヲ見返リニ之ヲ組
合運動ト關聯セシメルト云フヤウ
ナコトハ是ハ望マシクナイト考ヘ
テ居リマス、ソコデ船主船長ガ現
在組合ニ入ッテ居リマス、其ノ一
ツノ問題ト致シマシテハ、組合ノ
方デハ是ハ一ツノ經濟的ノ弱者デ
アル、謂ハバ一臺ノ車ヲ持ツタ車
曳デアル、ソコデ僅カナ船主船長
デアルカラ、此ノ經濟的ノ弱者ヲ
同士トシテ救ヒタイ、ソレニ依ッ
テ組合ノ實勢ハ害サレナイカラト
云フヤウナ現在意見ガゴザイマ
ス、尙ホ今ノ物資ノ配給問題ニ絡
ンダ點ニ付キマシテハ十分政府ト
シマシテモ公正ヲ期スルヤウニ今
後努力ヲ致シタイト思ヒマス

○橋委員 今ノ大久保政府委員ノ
御説明ニ依リマシテ多少私ノ考ヘ
違ヒヲ致シタ點モ明カニナツタノ
デアリマス、兎ニ角仰セラレマシ
タ通り、地方ニ於キマシテハ海員
組合ト海員救濟會、ソレ等ノ區別
ガ全然ナイノデアリマス、須ク是
ハ海員組合デアルト云フコトデ律
シテ居リマス、殊ニ或ル地區ニ於
キマシテハ機帆船海員組合ガ其ノ
地方ノ海員組合ト團體協約ヲシナ
イト云フコトデ、三月カラ六月ノ
間全然物資ノ配給ヲヤラナカッ
タ、已ムヲ得ズ地區機帆船海員組
合ガ全部ノ船主船長ヲ納得ヲ致サ
セマシテ、涙ヲ吞ンデ加入ヲシタ
ト云フ實例モアルノデアリマス、
デスカラ海員組合側ノ御主張バカ
リヲ御聽キニナツテ問題ヲ律セラ
レルコトハ甚ダ迷惑千萬ダト思ッ
テ居リマス、須ク地區機帆船海員
組合ノ代表者ノ御意向モ十分御聽
取ニナツテ、此ノ問題ノ善處方ヲ
御願ヒスル次第デアリマス

次ハ監理局長ニ御質問致シタイ
ノデアリマスガ、先日モ此ノ委員
會ノ同僚委員カラ鐵道總局ノ今度
ノ大幅十二萬人ニ及ブ整理ノ件ニ
關シマシテ、マダ鐵道總局ト
シテハ人員整理以外ニ考慮スベキ
方法ハナイノカ、或ハ工事、工作
ノ部面、或ハ電氣等ノ部面ニ於テ
マダ餘計ナ存在ガ澤山ブラド
ウテ居ル、在來ノ官廳ト業者トノ
抱合セト云フヤウナ面ニ於ケル甚
ダシク不純ナル存在ガ相當ニアル
（委員長退席、江崎委員長代
理着席）

是等ヲナゼ早く整理シナイカト
云フ意見ガアツタノデアリマス、
之ニ關聯致シマシテハハリサウ云
ツタヤウナ面ヲ十二分ニ御考慮ヲ
ナサウテ戴キタイ、一々ノ事例モ
申上ゲタイノデアリマスガ、時間
ノ關係上省キマシテ、唯日通ノ問
題デアリマス、日本運送ハ是ハ私
ハ極メテ奇怪ナル存在デアルト考
ヘルノデアリマス、御承知ノ通り
戰前カラ全國各地ニアリマシタ中
小運送業者ヲ、鐵道ノ大輸送ノ附
帶事業デアルト云フ性格ト、今一
ツハ戰時中陸上小運搬力ノ輸送力
隘路打開ト云フヤウナ名目ヲ以テ
マシテ、殆ドト言ツテ宜イ位全國
ノ小運送業者ヲ日通ノ傘下ヘ集約
統合致シタノデアリマス、其ノ結
果土地ノ人情、風俗ニ通ゼザル支
店長ガ赴任致サレマシテ、サウシ
テ所謂獨占事業ノ弊ヲ盛ニ發揮
致シタノデアリマス、恐ラク全國
民ノ聲ハ、此ノ日通ノ獨占力排除
ヲ要望致シテ居ルト私ハ考ヘテ居
リマス、而モ戰時中壓力ヲ以テ父
祖傳來ノ家業ヲ奪ハレマシタ中小
運送業者ハ未ダ泣イテ居ルノデ
アリマス、政府ハ須ク、特ニ鐵道
當局ハ此ノ戰時中壓力ヲ以テ民衆
ノ手カラ奪ヒ取ツタ各地ノ小運送
業者今日モツト民主主義的ナ機構
ノ下ニ之ヲ解放シテ然ルベキデア
ル、私ハ斯様ニ斷ジタイノデアリ
マス、政府ノ本件ニ對スル御所見
ヲ承リタイト思ヒマス

○滿尾政府委員 日通ノ問題ニ付
キマシテハ、御話ノヤウナ批判ガ
相當行ハレテ居ルコトヲ能ク存ジ
テ居リマス、ソレカラ又ソレヲ裏
書スルヤウナ遺憾ナ事實モ時々ア
ル、運輸省ト致シマシテハ、戰爭
ガ濟ミマシタ時ニ、日本ノ小運送
ノ體系ヲドウスルカト云フコトニ
付キマシテ、相當考慮ヲ重ネマシ
テ、ソシテ其ノ結果ドウシテモ再
編成シナケレバイカスト云フコト
ヲ色々考ヘテ見タノデアリマス、
殊ニ一番最初ニ日通ガ「スタート」
致シマシタ時ニハ、總括會社トシ
テノ性格デ生マレタ、ソレカラ途
中デ現業ニ手ヲ出シマシテ、御話
ノヤウナ工合ニ大體全國ノ九割位
ヲ總括出來タト思ヒマス、今ハヤ
ハリ三百五十人バカリ日通ニアラ
ザル小運送業者モアリマスガ、大
體實力ニ於キマシテ九十「パーセ
ント」位ハ收メテ居ル、隨テ餘リ
規模ガ大キナリマシテ、大男總
身ニ智慧ガ廻リ兼ネト云フ嫌ヒモ
色々出テ來タ、ドウスレバ世ノ中
ノ實情ニ合フカト云フコトモ色々
考ヘテ見タ、併シナガラ、成程具
體的ナ一ツノ事例ニ於テ色々
世間ノ御不滿ヲ招キマシタケレド
モ、戰爭遂行ト云フ大キナ變動ニ
際シマシテ、陸海軍ノ荷物ヲ一手
ニ元請致シマシテ、大キク働キマ
シタコト、又只今農林省關係ノ生
活必需品ニ付キマシテ大キク元
請ヲ致シマシテ、全國的ニ有機的
ナ活動ヲ致シテ居リマスコト等ニ
付キマシテハ、相當此ノ制度ノ長
所モ亦アル譯デアリマス、又長所
ト短所ヲ併セ比較致シマシテ、色
色研究致シマシタ、私共ノ研究ノ

要點ト致シマシテハ、全國一本ト
云フコトヲ多少考ヘテ變ヘテ「ブ
ロック」別ノ幾ツカノ複數制ニシ
タラドウデアラウト云フコトモ、
要點トシテ採上ゲテ見タノデアリ
マスガ、結局一利一害デアリマシ
テ、是ハ全國的體制ハ崩サヌ方ガ
宜イ、併シ戰爭中ニ色々起キマシ
タ弊モアリマスシ、營業ヲ刷新ス
ベシト云フコトニ付テ見解ガ一致
シマシタ、社長及ビ副社長ノ最高
人事ノ更迭及ビ内部ノ重役陣ヲス
ツカリ切替ヘマシテ、新シク「ス
タート」ヲ切り直ス、殊ニ今後ノ
運送ニ付キマシテハ、餘リ中央集
權的ニ、東京デ全國ニ號令スルト
云フ建前ハ、仕事ノ性質カラ言ツ
テ「サーヴィス」デ本旨旨トシナ
ケレバナラスノデアルカラ、ドウ
シテモ御話ノヤウナ地方ノ特色ヲ
活カスヤウニ、各支店長ニ權限ヲ
分割致シマシテ、其ノ地方々々ノ
實情ニ合フヤウナ經營ニ精進スル
ヤウニ内部機構ニ對シマシテ幾多
ノ改善命令ヲ出シタ譯デアリマ
ス、大體此ノ二月ノ總會デ左様ナ
人事ノ刷新等ヲ全部行ヒマシテ、
只今切替ヘマシテカラ約數箇月經
ツテ居リマス、其ノ結果ヲ私共モ
非常ニ注目致シテ居ルノデアリマ
スガ、若シ此ノ方式デドウシテモ
所期ノ目的ガ達成セラレスト云フ
コトデアレバ、是ハ又第二段トシ
テ、次ノ「ステップ」ヲ考ヘナケ
レバナラス、斯ウ云フ考ヘデ居リ

マス、極ク最近私共ノ得マスル情報ニ依レバ、一、二荷物ノ事故等モアリマシタガ、是ハ單リ日通バカリノ問題デハナク、國有鐵道トモ關聯シテ居ルノデアリマスガ、大分其ノ面ニ於キマシテハ改善ノ實ガ擧ツテ居ルカノヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス

○橘委員 色々ト御話ガアリマシタガ、運輸省トシテハ複數制ニ還元スル意思ガナイト云フノガ結論デアツタト思ヒマス、私ハ甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマス、御承知ノ通り港灣作業等統制令モ撤廢致サレマシテ、全國ノ港灣會社ニ對スルGHQノ批判モアツタ筈デアリマス、恐ラク此ノ批判ハ陸上小運送ノ獨占經營者デアリ日通ニモ私ハ執ラレキデアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、特ニ政府委員ニ能ク研究シテ戴キタイコトハ、先程ノ御話ニアリマシタ通り唯中央集權ヲ排除シテ、各地ノ支店長ニ大幅ノ權限ヲ委譲スル、之ニ依ツテ民主化シテ行ツタノダ、是ハ全クアナタノ方ノ「カムフラージュ」デアル、斷ジテ斯ウ云フコトハ行ヒ得ナイ、適切ナ一例ヲ申シマセウ、各地ノ支店長ガ今如何ナルコトヲヤツテ居ルカ、先刻私ガ申シマシタ通り、土地ノ風俗人情ニ合致セザル餘所者ノ支店長ガヤツテ來テ、而モヤツテ居ルコトハ全ク閑屋デアリマス、小運送ノ獨占ヲ好機トシテ、勿論役得ハ

アリマセウ、詳シクハ申シマセヌガ、上役ヘノ賄賂ハ言フモ更ナリ是等ノ支店長ノ宅ヘ行ツテ見マスト凡ユル物資ガ山積シテ居ルト云〇ノガ全國ノ支店長——偶ニハ例外ハアリマセウガ——大部分ノ支店長ノ是ハ實情デアリマス、サウ致シマス、斯ウ云ツタヤウナ惡弊ヲ地方ヘノ權限分譲ニ依ツテ尙更助長スル一途シカナイノデアリマス、之ヲ是正スルニハドウシテ

モ各驛一店主義ヲ即刻複數制ニ改善ナサルヨリ以外ニハ方法ハナイ、特ニ複數制ニ還元スルト云フコトガ先刻申シマシタ通り、先祖傳來ノ小運送業ヲ失ツテ、今日泣キノ涙デ居ル連中ニ對シマシテ、昔ノ業務ヘノ復活ヲモ是ハ意味シテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ關シマシテ、今一應正確ナ御認定ノ上ニ立ツタ監理局長ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○滿尾政府委員 複數制ヲ執レ、獨占ノ排除ト云フコトハ此ノ制度ニ對スル最も有力ナ御考ヘデアリマシテ、我々ト致シマシテモ、其ノ問題ニ付テハ相當考慮ヲ重ネマシタ、現在ノ段階ニ於キマシテハ、併シナガラ先程申上ゲマシタヤウナ方式デ、二月四日ニ省議決定ヲ以テサウ云フ方式ヲ執リマシタ、マダ今日ニ至リマスマデ約半年ノコトデゴザイマスシ、我々ト致シマシテハ此ノ方針デ以テ暫ラク様子ヲ見テ、決シテ獨占ヲ止メ

ナイト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、是ハソレトモ利害得失ガゴザイマシテ、此處デ短時間ニ其ノ利害得失ヲ詳細ニ申上ゲルコトハ出來マセヌノデ、一寸御許シテ願ヒタイノデスガ、具體的ニ運輸省ノ方ニ御連絡ヲ戴キマスレバ、當時研究致シマシタ資料ヲ御手許ニ差上ゲテモ宜シイト思ヒマス

〔江崎委員長代理退席、委員長著席〕

○橘委員 本問題ニ關シマシテ是レ以上論議シテモ結局水掛論ト思ヒマスカラ最後ニ一言申上ゲマスガ、橫濱港ニ於ケル食糧ノ沿岸荷役ノ隘路ノ原因ハ監理局長ニ於テモ御承知デラウト私ハ存ズルノデアリマスガ、日通ノ荷役ノ海上部門ヘノ進出ト云フコトガ最大ノ原因デアラウト私ハ存ジテ居ルノデアリマス、此ノ問題ハ神戸ニ於テモ起キタ問題デアリマスガ、神戸ハ幸ヒニ海陸雙方ノ協力デ以テ妥結シテ居リマスガ、橫濱ニ於テハ依然トシテ是ガ放置サレテ居ル、是等ノ點ニ關シマシテモ、日通ノ陸上小運送制覇ハサラナリ、更ニ海上ヘノ進出ヲ企圖シテ居ルト云フ一種ノ侵略主義ノ現ハレトシテ看過スベカラザル事實デアラウト存ジマス、併シ本問題ニ關シマシテハ以上ヲ以テ打切りタイト存ジマス

次ハ厚生省ヘ御尋ネテ致シタイノデアリマスガ、厚生省ニ御尋ネ

ヲスル前ニ、三日ノ日ニ土井委員カラ質問ガアツタト存ジマスガ、官吏ノ「クロロズド・ショップ」ノ問題デアリマス、官吏ノ組合ガ組合ヲ除名若シクハ脱退シタ官吏ノ罷免ヲ要望シタ場合ハ、官廳ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ルカト云フ質問ニ對シマシテ、是モ御回答ガナカツタヤウニ思ヒマス、此ノ際御答ヘ下サレバ非常ニ幸ヒニ存ジマス

○官廳政府委員 官吏ノ「クロロズド・ショップ」ノ協定ノ效力ノ問題ニ付キマシテ、曩ニ土井委員カラノ御質問ニ付キマシテ、法制局トモ打合セマシタ結果ニ付テ茲ニ御答ヘ申上ゲマス、大體前會申述ベマシタ通りデゴザイマスルガ、其ノ要旨ヲ申上ゲマスルト、一般ニ「クロロズド・ショップ」ノ協定ガ有效デアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、解釋上無効デアルト云フ有力ナ議論モアルノデアリマスルガ、併シ現在ノ民法ノ雇傭契約ノ解釋其ノ他ヨリ致シマシテ、一應民間ニ於キマシテハ其ノヤウナコトハ有效デアルト云フ解釋ニ傾イテ居リマス、併シ是トモ結局ハ、最終決定ハ裁判長ニ於テナス所デゴザイマス、併シナガラ之ニ反シマシテ、官吏ニ付キマシテハ民間ノ場合ト其ノ法律關係ヲ全ク異ニスルノデアリマシテ、所謂公法關係デアリマス、是ガ任免ハ強行法デアリマス所ノ

官吏法ニ依ツテ縛ラレテ居ルノデアリマシテ、其ノ解釋上カラ致シマシテ、「クロロズド・ショップ」ノ協定ハ假ニ締ビマシテモ、單ニ組合ヨリ除名サレタ故ヲ以テ免官スルト云フコトハ出來ナイ、所謂「クロロズド・ショップ」ノ協定ノ履行ハ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ解釋セザルヲ得ナイ、隨ヒマシテ基本的ニ其ノヤウナ「クロロズド・ショップ」ノ協定其ノモノガ妥當ヲ缺ク、斯ウ云フコトニ解サレレ

次第デゴザイマス、ドウゾ左様御諒解願ヒマス

○橘委員 只今ノ御答辯デ明瞭ニナツタコトヲ感謝致シマス、次ハ第八條デアリマス、是モ本會議ニ於テ御質問ガアツタ點デアリマスルガ、其ノ後色々考ヘテ見テモ、腑ニ落チナイ點ガアリマスノデ、改メテ御質問シタイト思フンデアリマスガ、第八條ノ公益事業ヲ中央勞働委員會ニ於テ決定スル決議權ノ問題デアリマス、是ハ當時ノ御答辯ハ、各階層ヲ代表スル委員デアルカラ、何レカノ階層ヲ代表シタ委員ガ全面的ニ反對デアツタ場合ハ之ヲ公益事業トナスニハ忍ビナイト云フ意味ノ御答辯ガアツタヤウニ存ジマスルガ、併シ各々ノ過半数ノ同意ヲ要スルト云フコトハ、實際問題トシテ私ハドウカト思フノデアリマス、恐ラク甲ノ是トスル所ハ乙ノ否トスル所デア

リマス、斯ウ云ツタヤウナ場合、政府ガドウシテモ此ノ事業ハ公益事業ニ指定致シタイト云フ場合ニ、是ノ指定出來ル機關ハ此ノ中央勞働委員會一ツナンデアリマス、是ガ何時マデ甲乙ノ兩者ノ不一致ニ依ツテ、第三者ノ斡旋ガアツタトシテモ、一方ノ絕對過半数ヲ得ラレナカッタナラバ、誰ガ一體之ヲ公益事業ニ指定シテ行クノデアリマスカ、是デハモウ絕對ニ出來ナイト思フノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナ意味カラ致シマシテモ、委員ノ各々ノ過半数ノ同意ト云フ此ノ項目ハ、委員會ノ全部ノ過半数ト云フ風ニ改メテ行クノガ當然デヤナイカト私ハ思フノデアリマス、元來勞働委員會ノ委員ニ選出致サレマシタ方ハ、成程一面ニ於キマシテ各階層ノ利害ヲ代表シテ居ルト云フ一面ハアリマセウガ、更ニ中央勞働委員會ト云フ一ツノ枠ノ中ニ入りマシタ以上、自ツト別個ノ性格ガアル筈デアリマス、此ノ性格ニ基キマシテ民主的ニ此ノ委員會ヲ運営シテ行クト云フ風ナ場合ハ、一向全體ノ過半数デアツテ宜イノデヤナイカ、各々ノ過半数デアルトハ必要ハナイ、斯様ニ私ハ斷ジタイノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ今一應政府ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○吉武政府委員 只今ノ橋サシノ御質問ハ洵ニ御尤モノ點デアルト思ヒマス、唯前ニモ申上ゲタト思ヒマスガ、公益事業ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ本法ニ於キマスルト強制調停ノ外拔打爭議ノ制限ト云フ制限ガゴザイマスルノデ、出來得ベクバ此ノ制限ハ少クアルベキデアリマス、唯併シ一般ノ公共ノ爲ニ已ムヲ得ヌコトデゴザイマスルノデ、強制調停ノ方法ヲ講ジ、又ハ拔打爭議ノ制限等ヲ講ジテ居ルノデゴザイマス、ソレデ第八條デ一應豫想サレルモノハ、一カラ四マデ指定シテ居リマス、今ノ所デハ大體此ノ程度ヲ考ヘテ居リマスルケレドモ、併シ世ノ中デハドウ云フ風ナ困ル事態ガ生ジナイトモ限リマセヌ、此ノ列記致シマシタコト同程度ノ重要性、又ハ是レ以上ノ重要ナ問題ガ出テ來ヌトモ限リマセヌノデ、其ノ際ヲ考慮シテ二項デ追加出來ルヤウナ途ヲ講ジタノデアリマス、隨テ中央勞働委員會ノ委員ニナリマシタ以上ハ、勿論御話ノヤウニ委員ハ恐ラク各立場モアリマセウ、併シ同時ニ又中央勞働委員會トシテノ性格上カラ御考ヘニナルトハ思ヒマスケレドモ併シナガラ一應各立場ヲ代表シテ出マスルノデ、動モスルト此ノ範圍ガ容易ニ擴ガル虞ガナイデモゴザイマセヌノデ、嚴格ナル意味ヲ以チマシテ各代表ノ過半数ト云フ方法ヲ採ツタノデアリマス、勿論只今御話モゴザイマシタヤウニ、各代表ノ委

員ハソレ／＼ノ立場ヲ主張サレルコトモアラウト思ヒマスガ、併シ國家全體、公共全體カラ見テドウシテモ是ハ公益事業トシテ指定ラシナケレバナラヌト云フ、本當ニ客觀的ナ必要性ガゴザイマシタナラバ、各立場ノ過半数トハ言ツテ居ツテモ、サウ云フ場合ニハ恐ラク追加ガ成立スルノデハナカラウカト云フ點ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス

○橋委員 吉武政府委員ノ御答辯ハ、私ハ前會カラノ御答辯ノ幅ヲ出テ居ラナイト思フ、私ノ最モ懸念シテ居ル事項ハ、政府ガ其ノ當時ノ客觀的情勢ニ基イテ、此ノ事業ハ是非トモ公益事業ニ指定ラシナケレバイケナイ、又國民ノ大多數ガ公益事業ニ指定ラシナケレバイケナイト認メタ事業ガ、此ノ委員會ガ繼マラナカッタコトニ依ツテ遂ニ指定ガ出來ナイ結果ヲ生ズル、サウ云ツタヤウナ場合ノ責任ハ一體誰ガ負フカ、此ノ決ヲ或ハ議會ニ於テデモ決定權ガアルナラバ、私ハ何ニモ申シマセヌ、唯勞働委員會ダケシカナイ、サウシタ場合ニハ此ノ委員會ノ決定權ト云フモノハ、今少シ考ヘテ見ル必要ガアルノデハナイカ、私ハ此ノ點ニ付テ今一度政府ハ考ヘ直ス御意思ハナイカ、斯様ニ存ジマス

○吉武政府委員 御質問ノ點ハ洵ニ御尤モデゴザイマスルガ、先程申シマシタヤウナ趣旨デ斯ウ云フ風ニ致シタ次第デアリマス

○橋委員 本問題ニ關シマシテハ、是レ以上論議致シマシテモ今マデノ御答辯ノ範圍ヲ出ナイト思ヒマスル故ニ私ハ打切りマス

最後ニ是モ前會各委員カラ御質問ガアツタノデアリマスガ、運輸事業ノ内容デアリマス、是ガ極メテ不明瞭デアリマス、特ニ私ノ承クタ範圍ニ於キマシテハ厚生大臣ハ廣範圍ニ解釋致シテ居リマス、吉武政府委員ノ御答辯ハ極メテ狹イ御解釋デアツタヤウデアリマスルガ、私ハ運輸事業ト云フモノハ必ズシモ人ノ輸送バカリデナク、公衆ノ日常生活ニ缺クコトノ出來ナイ物資ノ輸送ヲモ含メタモノ此ノ場合ニ於キマシテハドウシテモ廣範圍ニ是ハ解釋スベキデハアルマイカ、斯様ニ存ジテ居リマス、一例ヲ申シマスレバ横濱ノ食糧ノ輸送デアリマス、輸送ト云フモノハ川ノ流レト同様、何處デ是ハ堰止メデモイケナイノデアリマス、本船ノ荷役カラ解ニ取ツテ沿岸ノ荷揚、貨車積ミ、是等ハ一貫シテ水ノ流ル、如クヤラナケレバイケナイ、特ニ昨今ノ情勢カラシテ涉外局カラモ御注意ガアツタヤウデアリマスガ、横濱ノ沿岸作業ガ極メテ不圓滑デアツテ、是ガ日本ノ食糧ノ配給ヲ阻碍シテ居ルト云フ注意ガアツタ位デアリマス、是ナドヲ考ヘタ際ニハ當然是ハ廣範圍ニ解釋スベキデアルマナカ、斯様

ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、狹イ範圍ニ御解釋ニナツタ吉武政府委員ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○吉武政府委員 厚生大臣ノ答辯ト私ノ答辯致シマシタ點ト差異ハナイ積リデアリマスルガ、私ノ申上ゲマシタ點ニハ或ハ缺クル所ガアツタカト存ジマスルガ、此ノ運輸事業ハ決シテ人バカリデハゴザイマセヌ、御話ノ如ク物ノ輸送モ含ム譯デアリマス、要ハ八條ニアリマスヤウニ運輸事業ガ公衆ノ日常生活ニ缺クコトノ出來ナイモノト客觀的ニ決メザルヲ得ヌノデアリマシテ、左様御諒承戴キタイノデアリマス

○淺澤委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ヲ以テ散會致シマス

午後四時三十七分散會

昭和二十一年九月九日印刷

昭和二十一年九月十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局